

六十里越街道でつながる広域連携・交流促進プロジェクト

平成20年度 調査報告書（本編）



平成 21 年 3 月

財団法人 東北産業活性化センター

目次

第1章 背景・目的・対象地域	1
1. 背景	1
2. 六十里越街道地域における広域連携の必要性	1
3. 目的	2
4. 調査対象地域	2
5. 調査体制と調査内容	3
6. 調査フロー	5
第2章 対象地域の現状	6
1. 対象地域の概要	6
2. 六十里越街道の歴史	10
3. 出羽三山信仰と六十里越街道	14
4. 六十里越街道の潜在力	15
5. 六十里越街道の活動状況と可能性	18
6. 六十里越街道に賦存する地域資源の把握	22
7. それぞれの市町の観光の「強み」・「弱み」	33
8. 方策検討のための課題の把握	42
第3章 交流プロモーションの連携施策の検討	45
1. 連携施策の検討	45
2. リーディング事業の検討	47
資料編	49
資料1：自然資源系の地域資源一覧表	50
資料2：社会資源系の地域資源一覧表	52
資料3：域内の主な体験メニュー	55
資料4：委員会・PT会議・事務局会議の開催状況	90

第1章 背景・目的・対象地域

1. 背景

近年、経済や金融、文化等のグローバル化やIT等による情報通信の飛躍的な発達、高速交通インフラの整備等によって、生活圈や経済圏は、県境や市町村界等の既存の行政域を越えて拡大している。

また、少子高齢化の加速、人口減少社会の到来、地方分権化、地方交付税の削減、原油高等による景気の低迷、税収の減少等による財政基盤の脆弱化、さらには、サブプライム問題に端を発する世界的な金融危機等、市町村を取り巻く社会環境が大きく変化し、不安定化しており、持続可能な自立した自治体運営や地域の活力を創出していくためには、市町村の垣根を越え、医療や福祉、教育、観光をはじめ、様々な分野、多様なレベルにおいて連携を図り、役割分担や共通課題に対する連携した取り組み等、より一層の広域連携による施策の推進が求められているものの、なかなか進展しないのが実情である。

2. 六十里越街道地域における広域連携の必要性

出羽三山（月山、湯殿山、羽黒山）への信仰の道、戦国戦乱時代の軍路、庄内と内陸の物流交易の道として多面的な役割を持った六十里越街道は、山形市～鶴岡市間を結び、山形県の中央を横断する中核的な道路であった。古くは、奈良、平安時代から利用され、その街道沿いには宿場や茶屋、市、番所等があり、人、物、情報が有機的に結びつき流れていた。特に、出羽三山は東日本最大の霊場と言われ、西の「お伊勢参り」に匹敵し、江戸時代になると、大衆にとっては出羽三山参りが観光旅行的な意味合いを持つようになっていった。参詣の行者は、東北はもとより関東・北陸及び中部地方からも列をなして賑わい、史実には、湯殿山御縁年の丑年であった享保18年（1733年）には約16万人の道者があったとあり、この時の収入で10年間は寝て暮らせる程だったと言われている。往時の山形県の収入は、紅花、出羽三山信仰、他の商売が三大収入と言われるほど、この街道は隆盛を極めた。

しかしながら、明治時代以降、自動車の普及等により線形が改良され、山岳部間は古道となり、国道の改良や高速道路の整備に伴い、街道としての機能は薄れ、街道による地域の結びつきは希薄になってきた。

こうした中、六十里越街道筋の関係者等により街道を再認識するとともに地域間の連携を深めようとの機運が高まり、古道ルートの調査・発掘・保存整備・活用の取り組みが進められている。とりわけ、鶴岡市（旧朝日村）や西川町が中心となって連絡会議を設置し、広域的な視点で街道の復元や街道をテーマにした活動を行っているが、その活動は限定的で、今後は、山形市から鶴岡市まで、六十里越街道を有する地域が、一体となった地域づくりを進めることが課題となっている。

3. 目的

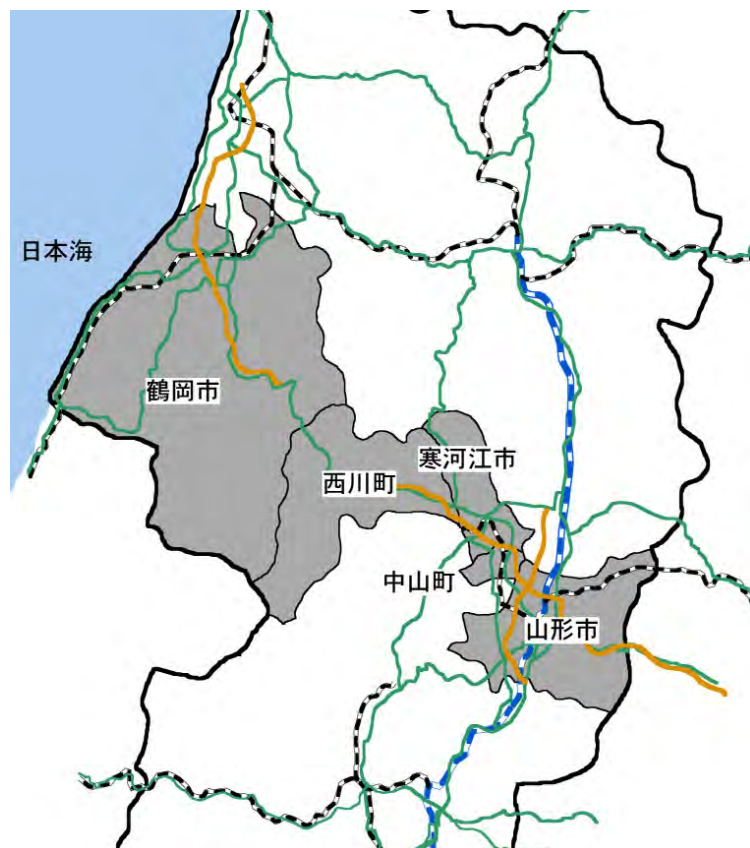
市町村間の連携や広域連携の意義や必要性は理解されてはいるものの、それでもなお自治体が異なることによって、かなりの制約を受け、連携策の推進は困難な状況である。このようなことから、本調査は、「六十里越街道」という歴史的な街道でつながった地域の連携促進のための突破口として、交流や観光促進の観点から、連携ネットワークを構築し、当該地域の魅力向上を目指すとともに、将来的には多様な連携の可能性を期待するものである。

具体的には、下記の2点を図ることを目的として、六十里越街道を共有する3市2町が有する地域資源の把握、関係者に対するヒアリング等によって、対象地域における課題の把握を行うとともに、六十里越街道を共有する沿道関係者が合意形成や連携できる組織のあり方、また、今後の活動指針、具体的なアクションプランを立案するとともに、一部事業を先行実施していく。

- ① 沿道住民の街道文化価値の再認識と交流の活性化
- ② 域外からの交流人口拡大による産業振興、地域活性化

4. 調査対象地域

六十里越街道を有する山形市～中山町～寒河江市～西川町～鶴岡市の3市2町を調査対象地域（以下本地域と記載）とする。



5. 調査体制と調査内容

(1) 調査検討委員会及び戦略プロジェクトチームの設置

本地域の実情に通じ、地域交流や連携に具体的な提案をいただくことが期待される学識経験者・民間有識者・県等で構成する「委員会」を設置するとともに、「戦略プロジェクトチーム（以下戦略PTと記載）」を設置し、方向性を定めつつ、具体的な取り組みを検討していく。

六十里越街道でつながる広域連携・交流促進プロジェクト 委員会及び戦略PT 委員名簿（順不同・敬称略）

【委員会】

	氏 名	所 属
委員長	清 水 慎 一	株式会社ジェイティービー 常務取締役
委 員	伊藤 真知子	東北公益文科大学 副学長
	張 大 石	東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター 准教授
	渋谷 雄 司	株式会社山形新聞社 専務取締役
	新 関 芳 則	株式会社丸八やたら漬 代表取締役副社長
	宇 生 雅 明	庄内映画村株式会社 代表取締役社長
	中 村 稔	山形県商工労働観光部 次長

【戦略PT】

	氏 名	所 属
戦略プロ ジェクト チーム	佐々木 和夫	東日本旅客鉄道株式会社仙台支社 山形駅副駅長
	塩 坂 雅 史	東日本高速道路株式会社東北支社 山形管理事務所長
	阿 部 昌 孝	株式会社JTB東北 交流文化事業部 地域貢献推進部長
	高 橋 浩 三	社団法人山形市観光協会 常務理事
	小 関 祐 二	アルゴディア研究会 会長
	児 玉 崇	寒河江温泉協同組合 事務局長
	柏 倉 健 一	NPO法人柏倉家文化村 代表理事
	志 田 靖 彦	六十里越街道保存推進委員会 委員長
	安 達 正 司	山形県庄内総合支庁 総務企画部部長
	鏡 京 子	山形県村山総合支庁 総務企画部部長

【事務局】

	氏 名	所 属 ・ 役 職 等
事務局	笹 原 信 之	山形市商工観光部 観光物産課 課長
	金 澤 孝 弘	(窓口) // // 課長補佐
	安達 喜代美	鶴岡市企画部 地域振興課 課長
	伊 藤 哲 哉	(窓口) 朝日庁舎 産業課 商工観光主査
	犬 飼 一 好	寒河江市商工観光課 課長
	猪 倉 秀 行	(窓口) // 主査
	森 谷 憲 一	中山町総務企画課 課長
	橋 本 修 一	(窓口) // 企画財政グループ 副統括兼専門員
	伊 藤 幸 廣	西川町総務企画課 課長
	後 藤 忠 勝	(窓口) // 課長補佐
	井 上 朗	財団法人東北産業活性化センター プロジェクト振興部長
	志 賀 秀 一	株式会社東北地域環境研究室 代表
	伊 藤 暁	株式会社東北地域環境研究室 研究主幹

(2) 調査内容

本地域に賦存する地域資源等の現状把握をベースとして、上記委員会を中心に、六十里越街道プロモーションのあり方について、具体的なアクションプランを検討・立案するとともに、一部事業をリーディング事業として企画・実施していく。

6. 調査フロー

調査フローは、次の通りである。

《平成20年度》

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 現状分析 | (1) 六十里越街道の現状把握
(2) 本地域に賦存する地域資源の把握と整理
(3) 方策検討のための課題把握と整理 |
| 2. 方策検討（21年度へ継続） | 交流プロモーションの指針と連携施策の検討 |
| 【中間報告】 | |



《平成21年度》

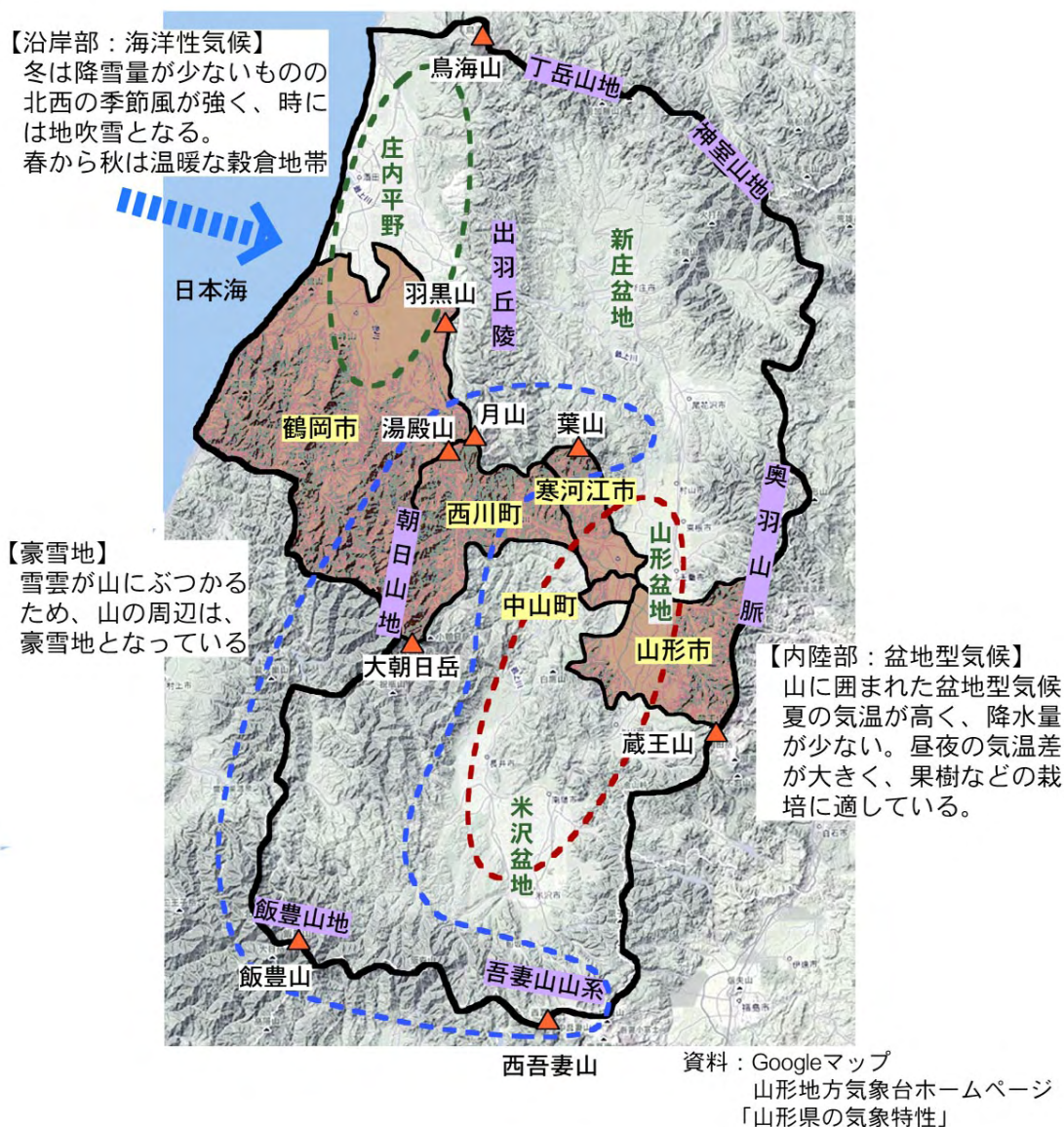
- | | |
|-------------------------|---------------------------------------|
| 4. 方策検討（前年度より継続） | 交流プロモーションの指針と連携施策、アクションプランの検討 |
| 5. 実証実験 | 「六十里越街道地域交流プロモーション」リーディング事業
の企画・実施 |

第2章 対象地域の現状

1. 対象地域の概要

(1) 気候

気候は、庄内地域は海洋性気候で、日本海を北流する対馬海流の影響で、平均気温は比較的高く、桜の開花も内陸部より数日早い。冬は、積雪は比較的少ないものの、北西風が厳しく、時には地吹雪状態となる。一方、山形市を中心とする平野部は、周囲を山に囲まれた盆地的気候で、雨、雪とも比較的少なく、夏は暑く、過去には 40.8℃（1933 年から更新された 2007 年までの日本最高気温）を観測したこともある。また、その中間に位置する西川町の月山、朝日山系の山間部は、大陸から押し寄せるシベリア気団の影響を受け、日本有数の豪雪地帯となっている。



（２）交通

本地域への道路アクセスについては、東北自動車道村田 JCT～酒田みなと I.C を結ぶ山形自動車道（一部国道 112 号月山道路を經由）が、首都圏や仙台圏からの大動脈となっているほか、庄内地域を縦断する国道 7 号、山形と仙台を結ぶ国道 286 号線等が、域外からの主要国道となっている。また山形自動車道とほぼ並行に走る国道 112 号は、庄内地域と山形市を結ぶ幹線道路として重要な役割を果たしている。

鉄道としては、東京～新庄を結ぶ山形新幹線、内陸を縦走する奥羽本線、庄内を縦断する羽越本線、山形～仙台を結ぶ仙山線があるが、本地域内の鶴岡市と山形市を直接結ぶ鉄道は通っていない。

空港は、鶴岡市に庄内空港が立地し、東京（羽田 4 往復）、大阪（伊丹 1 往復）の路線が就航している。また、内陸への来訪者の空の玄関口となる山形空港（対象地域外）が、山形市から車で約 30 分の距離にあり、札幌（1 往復）、東京（羽田 1 往復）、名古屋（小牧 1 往復）、大阪（伊丹 4 往復）の各路線が就航している。

また高速バスとしては、山形～鶴岡・酒田・本荘線（16 往復）、山形～仙台線（平日 72 往復、土日 66 往復）をはじめ、山形～新潟線（2 往復）、山形・南陽～京都・大阪線（夜行 1 往復）、新庄～寒河江・山形～東京線（夜行 1 往復）、寒河江・天童～仙台（7 往復）、酒田・鶴岡～東京線（夜行 1 往復）等が運行されている。



(3) 人口の推移

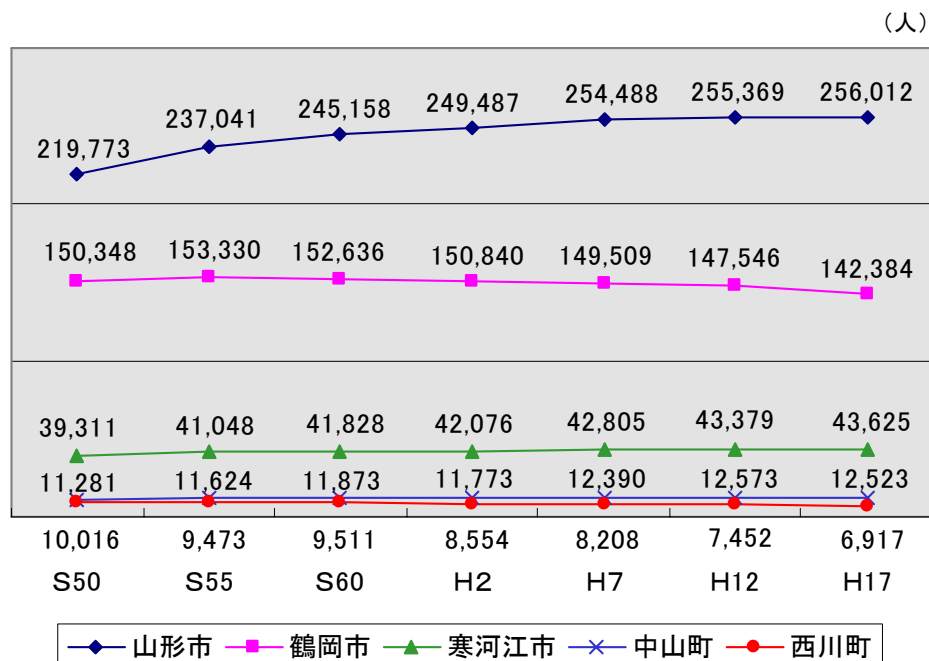
本地域におけるそれぞれの市町の人口の推移をみると、県都である山形市の人口は、昭和 60 年まで右肩上がりに増加してきたが、その後増加率が鈍化し、近年は 25.5 万人前後で横ばい傾向となっている。

合併して県内で 2 番目の規模となった鶴岡市の人口（合併前の人口は旧鶴岡市、旧藤島町、旧羽黒町、旧櫛引町、旧朝日村、旧温海町の合計値）は、高度成長期に減少し、その後一時持ち直したものの、少しずつ減少する傾向にある。これは旧鶴岡市の人口はほぼ横ばいであるものの、それ以外の地域が減少しているためである。

寒河江市の人口は、昭和 45 年の 38,558 人まで微減してきたが、その後増加に転じ、平成 17 年は 43,625 人となっており、僅かずつではあるが増加している。

中山町の人口は、昭和 50 年の 11,281 人までに減少したが、山形市のベッドタウンとして宅地開発が進み、近年は微増する傾向にある。

西川町の人口は、昭和 30 年には 15,260 人であったが、昭和 55 年には 1 万人の大台を割り込み、平成 17 年には 6,917 人まで減少し、過疎化に歯止めがかからない状態となっている。

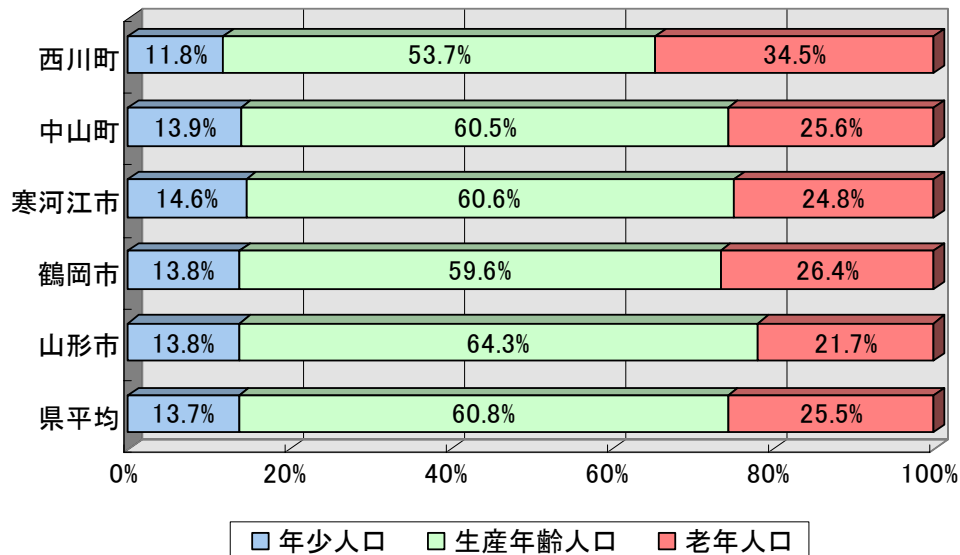


資料：総務省統計局国勢調査

※鶴岡市の平成 12 年までの数値は、旧鶴岡市、旧藤島町、旧羽黒町、旧櫛引町、旧朝日村、旧温海町の合計値

平成 17 年の高齢化率をみると 山形市は 21.7%で、県内 35 市町村中、天童市に次いで 2 番目に低く、鶴岡市が 25 位、寒河江市が 30 位、中山町は 28 位となっている。

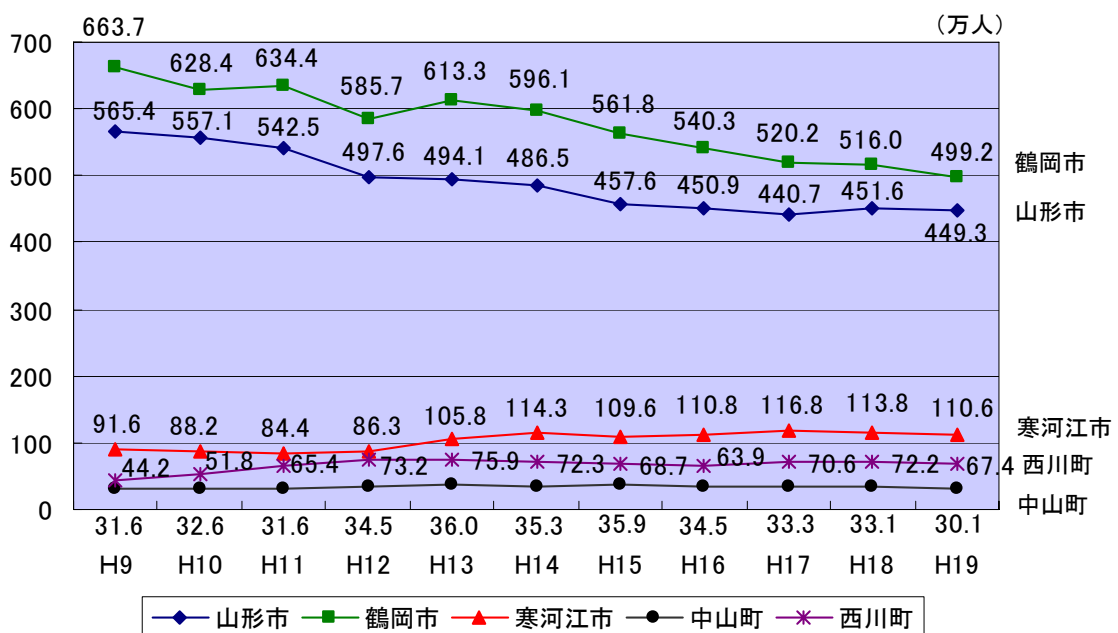
一方、西川町は県内で最も高齢化率が高く、約 3 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者となっている。



資料: 総務省統計局国勢調査

(4) 対象地域の観光客数

本地域の観光客数の推移を見ると、山形市・鶴岡市は減少傾向、寒河江市・中山町・西川町は横ばい傾向となっている。



資料: 山形県統計年鑑、山形県観光者数調査

※鶴岡市の平成 16 年までの数値は、旧鶴岡市、旧藤島町、旧羽黒町、旧櫛引町、旧朝日村、旧温海町の合算値

2. 六十里越街道の歴史

これまで述べてきたように、本プロジェクトは六十里越街道でつながった3市2町が、交流促進を図り連携することによって、域外からの交流人口を増加させ、地域振興を図ることを目的としており、六十里越街道そのものだけに絞って、利活用策や連携策を検討しようとするプロジェクトではないが、本地域の歴史的な背景を踏まえれば、六十里越街道は、欠かすことができない重要なテーマであることに変わりはない。

そのようなことから、ここでは、改めて六十里越街道の歴史や出羽三山との関わり、資源的な価値等の概要について簡単に整理しておく。

(1) 六十里越街道のはじまり

六十里越街道は、山形城下から寒河江・白岩・本道寺を通り、出羽丘陵の大峠^{おおき}峠を越え、庄内の鶴岡に至る街道である。この街道は内陸と日本海側の庄内を結ぶ極めて重要な唯一の陸路で、「山形県歴史の道調査報告書」では、六十里越街道のはじまりを次のようにまとめている。

- ① 古代出羽国府が藤島平形（藤島町平形・藤島城跡の北側）にあった時代、最上・置賜^{ぐんが}の郡衙（郡役所）と国府を結ぶための通路として開かれたとする説
- ② 物資輸送、特に庄内の塩と米を内陸に運ぶための道路であったとする説
- ③ 出羽三山の中、湯殿山・月山への参詣道として整備されたとする説

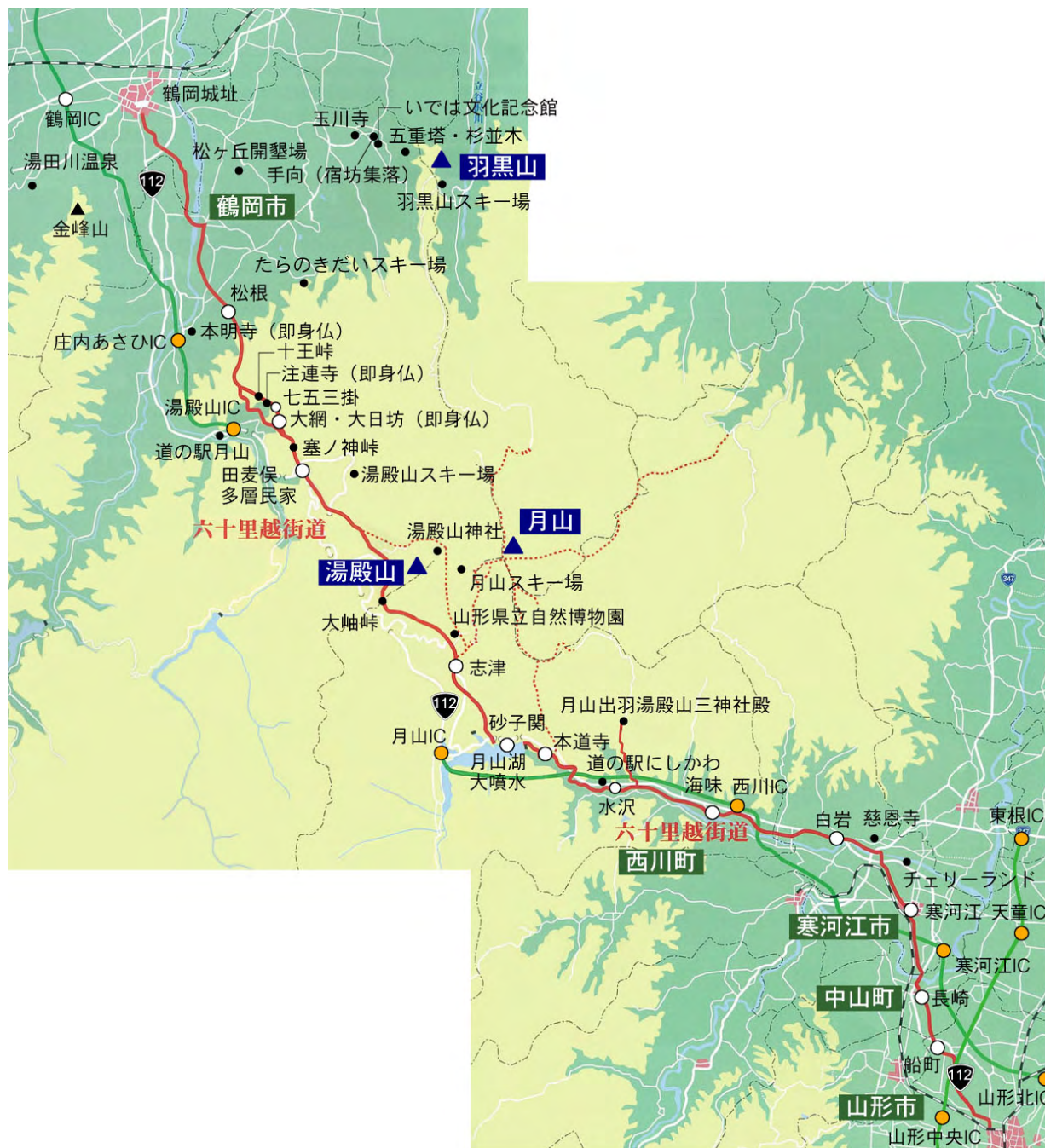
しかし、六十里越街道は近世以前から存在したものの、いつから六十里越街道と呼ばれるようになったのかは、諸説があって定かではなく、どの説も裏付けとなるような明確な史料はない。

また、名称の冠となっている「六十里」は、距離を示すものであると考えられるが、山形―鶴岡間の距離とも合わないことから、「六十里」という名前の由来は一部の区間を示し、六町を一里として、鶴岡市（旧朝日村）大網の大日坊～西川町本道寺までの距離を表したのではないかとする説等、諸説があり起点と終点も明確にはなっていない。

しかしながら、「山形歴史の道調査報告書」では、最上義光は湯殿山参詣道の行者・道者宿としての特権を八日町村（現山形市八日町）に与え、以後諸国から訪れる参拝者の起点となっていたこと等から、六十里越街道を山形市八日町～鶴岡市鶴岡城址までとして調査しており、本プロジェクトにおいても、それを踏襲して進めるものとする。

（２）六十里越街道のルート

山形から鶴岡までの六十里越街道は、山形城下の八日町を起点として～船町※～長崎※（中山町）～寒河江※～白岩※～海味※（西川町）～水沢（最上義光の頃の 11 の宿駅には数えられていない）～本道寺※～砂子関※～志津※～大岫峠（領境）～田麦侯※（鶴岡市）～塞ノ神峠～関谷～大綱※～七五三掛～十王峠～松根※～追分～鶴岡城下～鶴ヶ岡城までのルートで、現在の地図上に重ねてみると、概ね次のようになる。（※は宿駅）



「出羽三山・湯殿山への道(山形県歴史の道) 六十里越街道にかかわる歴史と文化」伊藤 武著をもとに作図

（３）六十里越街道の歴史

①中世

和銅５年（712）越後国から分離して出羽国が建てられ、出羽国府は、現在の鶴岡市または、酒田市側の最上川河口付近に出羽国府が置かれ、内陸地方の村山・置賜・最上の郡衙（^{ぐんが}郡役所）との間に、人の移動や物資輸送のために、最短ルートとなる陸路が開かれたのではないかと考えられるのが、六十里越街道誕生説の一つである。（前掲）

一方、三山の修験もいつ頃始まったのか明確にはわからないが、「新抄格勅符抄」^{しんしょうかくちよくふししょう}という資料には、宝亀４年（773）に月山神を祀る月山神社に封二戸の神領を授ける、と記されている。また大同２年（807）には弘法大師が大日坊を開基し、天長年間（824～834）には羽黒の衆徒渡辺氏が注連寺を開き、六十里越街道筋に２つの寺院が相次いで開基されており、この時代に六十里越街道が開かれたのではないかとする説もまた、誕生説の一つである。（前掲）

平安～鎌倉時代にかけての出羽三山の信仰の中心は月山であり、一般民衆の出羽三山参詣が始まったのもこの時代と考えられている。その後、室町時代（1393～）以降、月山から湯殿山へと信仰の中心が移っていき、六十里越街道は、出羽三山参詣の道として知られるようになっていく。

②戦国時代

庄内地方の諸豪族の対立抗争に、庄内を狙う最上義光^{よしあき}が介入し、天正 15 年（1587）に大軍を率いて進攻した。翌 16 年（1588）上杉景勝の支援を得た越後の本庄繁長・義勝父子が大軍を率いて庄内に進攻し合戦となった。正確な人数はわからないものの、最上軍が何度も六十里越街道を通り、山形と庄内を往復したことが記録されている。

また、慶長５年（1600）の関ヶ原合戦の際は、山形城を攻略するため、米沢城将として置賜と庄内の 30 万石を統治していた直江軍が山形城攻略に向けて米沢から、庄内の上杉勢が六十里越経由で、それぞれ最上領に進軍している。

このように、六十里越街道は出羽三山参詣としての役割だけでなく、戦の軍道としても利用されるようになっていった。

③江戸時代

江戸時代に入ると、聖地への信仰の旅は庶民の楽しみの一つとなり、出羽三山参詣が盛んになり「西の伊勢参り（熊野）、東の奥参り（湯殿）」と並び称され、関東以北から大勢の参詣者が訪れた。三山参詣の行者・道者の数は明らかでないが、「西村山教育事務所編 1964 年（昭和 39）刊」によると、毎年六十里越街道を通過する人数は約 3 万人とみられ、湯殿山の縁年^{※1}である丑年には、例年の 3 倍の 10 万人前後に及んだと記さまた、河北町誌編集資料編「谷地大町念仏講帳」によれば、享保 18 年（1733）の丑年

※1 縁年：湯殿山が開山された推古元年（593）の丑年に因み、丑年を御縁年とされ、この年に参詣すると、12 年分の御利益があるといわれている。

に、^{はっほうななくち}八方七口※1を通った参詣者の数は、合計 157,000 人に上り、行者宿等は 10 年間は寝て暮らせる程の収入だったといわれている。

この時代になると、羽黒に登って下山するか、湯殿山を参詣して帰る者が多く、月山を経由する行者は少なかったとみられる。行者・道者の多くは六十里越街道から手向^{とうげ}へ向い、そこから羽黒山に登り、また六十里越街道を引き返し、湯殿山に参詣しており、松根・大網・田麦俣・志津^{しづ}・本道寺・白岩等の各宿駅には、行者・道者の便を図るため、常に伝馬と人足が備えられていたようである。

また、庄内からは塩・魚介類・ローソクが、内陸からは紅花・青そ・真綿・豆・葉たばこ等、庶民の生活に欠かせない物資を運ぶ街道としても使われた。更に、天保5年（1843）の大雪のため翌年の春は残雪が多く、清川口^{きよかわ}からの最上川舟運区間に雪崩の危険であったために、通常のルートを通ることができず、酒井藩が例外的に六十里越街道を通して、参勤交代で江戸へ向かったとの記録も残っている等、この時代、六十里越街道は隆盛を極めた。

④明治以降

鳥羽・伏見における、幕府軍および会津等の藩兵と薩摩・長州を中心とする藩兵の衝突が、戊辰戦争へと発展した。奥州における政府軍の鋒先は、会津藩と庄内藩に向けられ、六十里越街道は、政府軍の庄内藩討伐の重要な戦略地点になり、六十里越街道と寒河江（長岡山・白岩）の辺りでは、特に激しい戦いが繰り広げられた。春・秋2回の激しい攻防の末、庄内藩が降伏し、鶴岡城の開城によって、庄内藩の戊辰戦争は終結した。

明治に入り、同5年には鶴岡に、同7年には志津村と大網村に郵便取扱所が開設され、六十里越街道は、翌8年から山形―鶴岡間の飛脚遞送路として利用されるようになった。

しかし明治初期、^{はいぶつきしやく}廃仏毀釈、神仏分離令が出された後は、時代の変遷の中で参拝者は減り続け、また自動車の普及に伴い、車が通行しやすいようにルートが改良され、明治37年に大越峠越えの新道が開通、大正9年に県道六十里越街道になり、昭和28年には2級国道に昇格、昭和40年には一般国道112号に、平成2年には道路監視体制・除雪体制が強化され、年間を通じて終日通ることができるようになった。更に平成11年には、村田 JCT～月山 I.C 間が開通し、日本海側と仙台圏や関東圏を結ぶ大動脈としての機能が高まり、山岳部の街道は、自動車の登場と共に古道となり、次第に忘れられていった。

※1 八方七口：

出羽三山への7つの登拝口。実際には8ヶ所あるが、七五三掛口と大網口がわずかしき離れていないことから、二口を一つと数え八方七口と呼び、登拝口には寺院を置いた。八方七口は次の通りである。

羽黒口（宝前院／天台宗）、肘折口（阿吽院／天台宗）、岩根沢口（日月寺／天台宗）、川代口、大井沢口（大日寺／真言宗）、本道寺口（本道寺／真言宗）、七五三掛口（注連寺／真言宗）、大網口（大日坊／真言宗）

3. 出羽三山信仰と六十里越街道

日本において、古来より山そのものが神であり、そこを神域として、身を清め汚れを祓^{はら}う神聖な場所と考えられていた。また、人間が神の宿る山から魂を授かり、この世に生を受け、死後その霊は山に登り、山頂で神になるという山岳信仰の世界観が生まれ、先祖の霊が仏にも神にもなることで、山は一層深い崇拜の対象となった。

出羽三山とは、内陸地方と庄内地方の中間に位置する出羽山地にそびえる羽黒山（標高 414m）・月山（標高 1984m）・湯殿山（標高 1500m）の総称で、山岳信仰から祈りの対象とした呼称であり、固有の山は存在しない。古くは、湯殿山を別格の「総奥之院」として、月山・羽黒山に葉山あるいは鳥海山を加え、出羽三山に数えた時代もあった。

特に、この地域の人々は山に対する信仰が厚く、死後その魂は近くのハヤマに留まり、その後 33 回忌を過ぎるとオクヤマに上ると考え、その信仰や風習を大切にしてきた。羽黒山はそのハヤマであり、月山はオクヤマであった。

出羽三山は、古くから東北を代表する修験の山でもあったが、平安末期以降、多くの民衆の心を捉え、信仰を集めるようになり、日本屈指の霊場となった。羽黒山は現世（聖観世音菩薩＝観音浄土＝現在）、月山は前世（阿弥陀如来＝阿弥陀浄土＝過去）、湯殿山は来世（大日如来＝寂光浄土＝未来）という三世の浄土を表し、近世の出羽三山の巡り方は、羽黒山から入り参詣・修行、月山で死と甦りの修行、総奥之院の湯殿山参詣で終わるのが、一つの典型的な巡り方であった。つまり参拝者が死と再生を体験するというものであり、様々な形態の講^{こう}*1 集団による「お山詣り」*2 を通じて東日本一円に広がった。

このように、六十里越街道は、初期は出羽三山に通じる道として、後からは湯殿山参詣の重要な街道としての役割を果し、「お山詣り」とともに、江戸時代に入り全盛を極めた。現代に置き換えて言えば、江戸時代においては、出羽三山は、東日本を代表する一大観光地であり、六十里越街道は、「文化」・「人」・「もの」を運び、同時に、経済的にも山形県の三大収入の一つとして経済効果をもたらす重要な働きを担っていた。

※1 講：宗教的・経済的な結びつきによる組織。旅行費用を出し合い交代で参詣する

※2 お山詣り：

「お山詣り」というのは出羽三山を回峰参拝することであるが、江戸時代に入り、主に三山の主体は湯殿山であると考えられるようになり、湯殿山詣りを「お山詣り」と言うようになった。「お山詣り」をする者たちは、講をつくり行屋に籠って一週間、斎戒沐浴（生もの食べない）の修業をつむ。この修行中は家族も精進料理を食べ、口説論争を慎み無益な殺生を避けた。

4. 六十里越街道の潜在力

これまで述べてきたように、六十里越街道は、時代と共に重要な役割を果たしてきたが、その中でも特に、出羽三山信仰と歴史的に密接に結びついていることが、他の街道とは大きく異なる六十里越街道の固有性と言ってもよいであろう。

このようなことから、出羽三山に関連する六十里越街道沿いの文化遺産及び出羽三山の普遍的な価値を改めてまとめてみると次のようになる。

(1) 六十里越街道沿いの有形文化遺産

弘法大師が大同2年(807年)に開基したと伝えられ真如海上人の即身仏^{しんにょかいしやうにん}※1を安置する大日坊、天長年間(824~834)に開かれた鉄門海上人の即身仏^{てつもんかいしやうにん}を安置する注連寺、東北では最古の塔といわれ天慶2年(939)平将門の創建と伝えられる羽黒山五重塔(国宝)、羽黒山中興の祖といわれる天宥別当^{てんゆう}の植栽によるものと伝えられる羽黒山のスギ並木(国指定天然記念物)、登拝口に残された貴重な修験道建築の月山出羽湯殿山三神社社殿(旧日月寺本堂：国指定重要文化財)、羽黒山・月山・湯殿山の三所の神々を合祭する羽黒山三神合祭殿(国指定重要文化財)、天平18年(746)聖武天皇の勅命でインド僧婆羅門僧正が開基したと伝えられる慈恩寺(本堂は国指定重要文化財)と芸術性の仏像群、参詣道、遺跡や宿駅集落、積雪の多い風土性を考慮したこの地方独自の建築様式を誇る兜造り三層構造の多層民家等、自然崇拝の精神や共生、信仰を背景とした貴重な文化遺産が数多く遺されている。

(2) 六十里越街道沿いの無形文化遺産

民俗芸能や伝統行事についても同様である。民俗芸能としては、500年に渡り鶴岡市黒川の春日神社の氏子達(農民)によって、いずれの流儀にも属せずに連綿と伝承され、月山にいる祖霊を迎える神事・王祇祭^{おうぎ}を最も重要な祭りとする「黒川能」(国指定重要無形民俗文化財)、林家に伝わる一子相伝1,200年の伝承をもつ一切経会の出仕祈願で奉納される「慈恩寺舞楽」(国指定重要無形民俗文化財)、世代交代を重ねながら継承されてきた「田麦俣田植踊」、羽黒山の末派修験により演じられ、鎌倉期の芸能の流れを汲む鶴岡市高寺の雷電神社に伝わる「高寺八講」^{たかでらはっこう}(県指定無形文化財)、岩根沢三山神社の「太々神楽」^{たいだい}等、庶民生活と密着した信仰に関連する民俗芸能が残されている。

また、世界的にも稀な即身仏信仰、山中の拝所を巡る山駆け、断食等の擬死再生の厳しい修行を積む「秋の峰入り」、巨大な松明に火を放ち新年の豊作豊漁・除災招福を祈願し、日本三大火祭りのひとつに数えられる「松例祭」^{しょうれい}、五穀豊穰・家内安全を祈願し、稲の花をかたどった造花の梵天を参拝客が奪い合う「花祭り」、貴重な祖霊信仰行事として毎年8月22・23日に行われる鶴岡市清水集落の「モリ供養習俗」等、数多くのものが今日まで受け継がれてきている。

※1 即神仏：五穀を絶ち、山草や木の実しか口にしない木食(もくじき)を1000日以上行い、生きながら土中に入り、死期を待ち、後に信者らによって掘り出されまつられたミイラ仏

一方、文学においても、俳句や短歌、文学を育て、多くの著名な作品の舞台となっている。

元禄2年（1689）には、松尾芭蕉がこの地を訪れ、羽黒山では「有難や雪をかほらす南谷」・「涼しさやほの三か月の羽黒山」と、月山では「雲の峯幾つ崩て月の山」と、湯殿山では「語られぬ湯殿にぬらす袂かな」と詠み、それまでの信仰・修験の山に加え、文学の山としての地位を築き、「おくの細道」は、日本を代表的する俳句として世界中の人々に愛されている。

また、上山市出身の偉大な歌人・斎藤茂吉が数多くの短歌を残している他、菅江真澄、十返舎一九、高浜虚子、井上靖、田山花袋、丸山薫、藤沢周平等、多くの文人に大きな影響を与えている。更に、森敦が注連寺に滞在した経験を書いた小説「月山」が、第70回（1973）芥川賞を受賞する等、多くの文人の感性に大きな影響を与え、多くの作品が残されている。

（３）出羽三山の普遍的な価値

出羽三山の普遍的な価値については、これまで多くの文献や研究論文等で語られているが、整理してみると主に次の3つであると考えられる。

一つは、仏教の影響も受けるものの、古来から自然崇拝、祖霊崇敬の信仰を色濃く残し、独自の精神文化を色濃く留めている日本を代表する地域であるということである。

例えば湯殿山は、奥の院としての古来の温泉が噴き出る巨岩をカミと崇める信仰の形態を庶民信仰の形を受け継いでおり、羽黒山では、秋の峰入の修行等、日本本来の形をとどめる信仰行事が今も行われている。また、出羽三山を巡ることで参拝者自身が死と再生を体験できるという庶民信仰も特有であり、その影響は講集団を通じて東日本一円に広がり、宿坊に泊まり白装束で参詣に訪れる風習が現在も受け継がれている。

二つ目は、世界的にみても稀な即身仏信仰である。衆生救済を目的に、自らの意思で「土中入定」※1した即身仏が、民衆の篤い信仰を集め、即身仏信仰として伝承されている。この即身仏は、自らの権威を後世に残すためにミイラがとして崇められたものとは違い、出羽三山だけの独自の信仰形態であり、全国に17体あると言われている即身仏のうち、出羽三山信仰によるものが11体、県内には8体（庄内に6体）が現存している。

三つ目は、前述したように歴史を物語る貴重な建造物等の文化遺産や、修験と深い関わりを持つ田楽・番楽・舞楽等、出羽三山信仰を背景とする多くの民俗芸能や伝統行事が、地域住民の生活に根付きながら、今日まで受け継がれてきていることである。また、松尾芭蕉をはじめとする多くの文人が訪れ、数多くの作品を残した文学の山となっていることも、出羽三山の特色の一つであろう。

※1 土中入定：土を掘り、その中に我が身を閉じこめ、自ら土葬になる

（４）六十里越街道の潜在力

誰もがわかるような文化遺産が、街道に残されていれば話は別であるが、景観に内包された歴史や文化等を物語として味わうことができなければ、街道は、訪れた人が良かったと思えるようなものにはなりにくい観光資源である。

そういった意味では、六十里越街道は歴史的にみて、生活に欠かせない物資を運んだ街道であり、戦の軍道であり、信仰や精神文化の道であり、数多くの文人や著名人が歩いた道であり、他の「日本風景街道」※¹ に選ばれた道とは異なり、**歩く人一人ひとりの多様なニーズに応えられるだけの深みのある歴史や文化、数え切れない様々な記憶を堆積している道であり、観光資源として大きなポテンシャルを秘めている**といえよう。

また、六十里越街道は、山岳信仰との関わりが深い古道であることから、「西の熊野、東の湯殿」と言われてきたように、世界遺産に登録されている熊野古道と同じような古道として見られることが多い。しかし熊野古道は、天皇家が京都から熊野三山に詣でるために整備されたものであるのに対し、六十里越街道は、出羽三山の山岳信仰を支えた民衆の信仰と生活が強く結びついた文化の道であり、**熊野古道とは基本的に異なり、独自の精神文化を支えてきた日本を代表する古道**といっても過言ではない。

※1 日本風景街道：

自然、歴史、文化、風景等をテーマに、「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域振興を目指し、美しい街道空間の形成を進めることを目的として国土交通省が認定した街道

5. 六十里越街道の活動状況と可能性

(1) これまでの取り組み

六十里越街道については、鶴岡市（旧朝日村）「アルゴディア研究会」（平成 14 年発足）及び西川町の「六十里越街道保存推進委員会」（平成 17 年発足）が主体となって、街道の復元や整備、活性化の取り組みが行われており、鶴岡市と西川町のこれまでの取り組みを、年度毎に並べてみると次のようになる。

またそれ以外では、平成 18 年度に寒河江市で市報に歴史文化専門員による「出羽三山へのみち」を連載しているくらいで、山形市と中山町では六十里越街道に限った取り組みは行なわれていない。

	鶴岡市	西川町
平成 14 年度	・ 7 月：「アルゴディア研究会」発足 ・ 名前は、「歩こうよ」という方言と理想郷を意味する「アルカディア」を掛け合わせた造語。 ・ 7 月：街道先進地視察（長野県千国街道） ・ 街道現地調査（延長実測調査、草刈、枝打ち）を 7 回実施 ・ 県の特産品開発事業の助成を受け、トレッキングイベントを 2 回開催。 ・ 「六十里越街道手帳」（解説書）及び「六十里越街道ウォーキングマップ」作成 ・ 街道ガイド「山船頭人」の養成講座	・ 6 月：NPO 法人「エコプロ」発足 ・ 11 月：「六十里越街道復興計画策定委員会」発足
平成 15 年度	・ 出羽の古道「六十里越街道」トレッキングイベントを 3 回実施 ・ 街道現地調査（史跡調査、にがり採取調査、草刈、枝打ち）を 5 回実施 ・ 5 月：「注連寺境内に七五三掛桜の下での野点」事業を実施 ・ 7 月：七・二四「奥の細道・六十里越街道」俳句大会を開催（第 1 回） ・ 8 月：街道先進地視察（和歌山県熊野古道） ・ 10 月：ガイド組織・山船頭人協会を発足 ・ 11 月：六十里越街道フォーラム「視線の先にあるもの／六十里越街道と岡本太郎の世界」開催	・ 街道復興整備開始（石畳復元 166m、木道整備等） ⇒地元ボランティア参加 ・ 10 月国民文化祭で街道トレッキング実施

平成 16 年度	・ (財) 東日本鉄道文化財団から助成を受け、大型案内看板・齋藤茂吉の歌碑を設置。また街道記録史を編纂 ・ 街道現地調査（延長実測調査、草刈、枝打ち）を5回実施 ・ 出羽の古道「六十里越街道」トレッキングイベントを11回実施 ・ 7月：七・二四「奥の細道・六十里越街道」俳句大会を開催（第2回） ・ 10月：六十里越街道観光フォーラム「人間・岡本太郎は六十里越街道に何を観たか」開催 ・ 11月：「次代につなぐやまがた景観賞」山形経済同友会大賞受賞 ・ 3月：「六十里越街道 笹小屋豆腐料理発表会」開催	・ 街道復興整備（石畳復元 364m、追分石設置、常夜灯・石碑の復旧等） ・ 街道復興の一環として志津分校解体 ・ 六十里越街道復興基本計画策定
平成 17 年度	・ 4月：観光イベント第1弾「六十里越街道・雪中遥拝」開催 ・ 街道現地調査（看板設置・撤去、街道整備、草刈、枝打ち）を5回実施 ・ 出羽の古道「六十里越街道」トレッキングイベントを13回実施 ・ 県のグランドワーク支援事業（木階段、丸太ベンチ、根株イスの整備） ・ 7月：七・二四「奥の細道・六十里越街道」俳句大会を開催（第3回） ・ 10月：六十里越街道広域連携フォーラム「六十里越街道が人々に語りかけるもの～その歴史的価値について」開催（西川町との連携事業がスタート）	・ 「六十里越街道保存推進委員会」発足 ・ 街道復興整備（石畳復元 70m、累計 600m、道標・追分石整備等） ・ (財) 東日本鉄道文化財団地方文化支援事業導入（五色沼周辺一歴史の広場整備計画策定） ・ トレッキング事業実施 ・ 9月：「六十里越街道」村山・庄内連携事業実行委員会発足 ・ 六十里越街道広域連携フォーラムの開催
平成 18 年度	・ 国土交通省の「日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）」に採択 ・ 出羽の古道「六十里越街道」トレッキングイベントを17回実施 ・ 街道現地調査（石碑復元、排水溝掘り、石段づくり、草刈）を6回実施 ・ 7月：護摩壇石付近「湯殿山道普請供養塔」石碑復元（嘉永6年建立） ・ 7月：鶴岡市松根地区で「六十里越街道ミーティング」開催 ・ 7月：七・二四「奥の細道・六十里越街道」俳句大会を開催（第4回） ・ 8月：アルゴディア苦楽歩（クラブ）会員募集開始（ファンクラブの設立）	・ 国土交通省の「日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）」に登録 ・ NPOエコプロ六十里越街道ガイド養成講習を8回実施 ・ (財) 東日本鉄道文化財団地方文化支援事業導入（歴史の広場の常夜灯整備） ・ トレッキング事業実施 ・ 11月：六十里越街道広域連携フォーラム「世界遺産実現に向けて～歴史から見る出羽三山と六十里越街道、そして現代から見る意義とは？」開催

	・ 11 月：街道視察「旧越後米沢街道・十三峠」（小国町）	
平成 19 年度	・ 出羽の古道「六十里越街道」トレッキングイベントを 24 回実施 ・ 「六十からの詣で」トレッキング開催（県観光キャンペーン推進協議会事業） ・ 街道現地調査（看板設置・撤去、排水溝掘り、草刈）を 5 回実施 ・ 7 月：七・二四「奥の細道・六十里越街道」俳句大会を開催（第 5 回） ・ 9 月：街道視察「黒澤峠・萱野峠」（小国町） ・ 10 月：六十里越街道フォーラム「出羽三山の世界遺産への視座～六十里越／赤川・寒河江川・最上川」開催 ・ 国土交通省の「日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）」に登録	・ 街道復興整備（四ツ谷橋架橋） ・ 志津旅館地区内歩道整備工事開始～ ・ 7 月：森と湖に親しむ全国行事「街道トレッキングツアー」実施 ・ 9 月：「六十里越街道」村山・庄内連携事業実行委員会改め「出羽の古道六十里越街道会議」発足、とうほく街道会議参画 ・ トレッキング事業実施
平成 20 年度	・ 出羽の古道「六十里越街道」トレッキングイベントを 24 回実施 ・ 中小企業庁の「地域資源∞全国展開プロジェクト」の助成を受け、「歴史資源活用『光』プロジェクト」として、モニターツアー、六十里越街道ガイドマップ・PRポスターの作成、湯殿山信仰と結び付けたトレッキングイベント、先進地視察研修（熊野古道）等を実施 ・ 5 月：「街道まつり」開催（街道開き兼ねる） ・ 7 月：七・二四「奥の細道・六十里越街道」俳句大会を開催（第 6 回）	・ 出羽三山及び街道を学習テーマに「山形」学地域連携講座開催（年間 8 回） ・ 東北芸工大文化財保存修復研究センター「21 世紀の地域間文化交流のシンボル六十里越街道を行く」支援 ・ トレッキング事業実施 ・ 12 月：六十里越街道広域連携フォーラム「岡本太郎の出羽三山への旅と、開かれた六十里越街道のもう一つの道」開催

（２）潜在力に対する活動の度合い

100 年に一度という厳しい経済状況のような時代だからこそ、地域の歴史や文化、生活、自然や地域の人とふれあいといったような、“心の豊か”や“癒し”を求めるものが、今まで以上にこれからの観光に求められてくる。

六十里越街道は、潜在力や可能性（前掲）を備えているものの、街道そのものには、誰もが目を見張るような文化遺産があるというわけではない。だからこそ、訪れた一人ひとりが歴史、信仰、文化、民俗、食といった興味のあるテーマを発見し、それぞれ

が満たされるよう、一つ一つ掘り起こし、物語を作り上げていく必要がある。

前述したように、六十里越街道においては、ここ数年、石畳や石碑の復元やガイド付のトレッキングツアー、啓蒙のためのフォーラム等、いくつかの活動が展開されつつあるが、残念ながら、興味を持つ特定層だけにしか認知されていないのが現状である。整備状況一つとっても、ガイダンス施設がなかったり、案内板や誘導サインが不足していたり、トイレや食事、休息ができる茶屋等の休憩施設がなかったりと、ガイドなしでは安心して歩くことができません、まだまだこれからという状況である。

これからの時代の観光資源として、多くの人に訪れてもらえるような街道として復興させようということであれば、車にとって欠かすことができない存在となった「道の駅」のように、安心して歩けるシステムづくりや風景を整備しつつ、本当の豊かさを享受することができるような、歩く文化の道として、もう一度再構築することが必要である。

6. 六十里越街道に賦存する地域資源の把握

(1) 対象地域の主要な地域資源

山形県のほぼ中央を横断するように、庄内地方と内陸の村山地方との両地方にまたがる本地域は、西は日本海に面し、東は奥羽山脈が南北に連なる。また中央部は、磐梯朝日国立公園に指定された山岳地帯となっており、山や海、川、湖沼、森林、動・植物等の豊かな自然に恵まれるとともに、名所・旧跡をはじめとする多くの文化資源も有している。

山岳資源では、日本の100名山に数えられる月山、朝日岳、蔵王山があり、蔵王では、観光名所のお釜（火口湖）、冬の樹氷鑑賞をはじめ、四季のトレッキング、スキー・スノーボードの他、強い酸性の白い硫黄泉が特徴で、野趣満点の蔵王大露天風呂等に、大勢の観光客が訪れる。

また、月山およびその山麓では、全国的にも珍しい夏スキーの他、トレッキング、ネイチャースキー、スノーシューイング、ラフティング、カヌー等、豊かな自然環境を活かした観光が展開されている。

一方、日本海に面する鶴岡市では、湯野浜海水浴場、環境省の「快水浴場百選」に選定された由良海水浴場、マリンパークねずがせき等の7つ海水浴場はじめ、ヨット（鼠ヶ関マリーナ）やファンダイビング、ウィンドサーフィン、磯釣り等、海洋資源を活かした観光が展開され、特に夏は県内外からの大勢の観光客で賑わう。

その他、国指定の天然記念物の羽黒山の爺杉及び杉並木（羽黒山南谷の蘚苔と杉並木はかおり風景100選にも選定）、日本さくら名所100選の鶴岡公園、昨年ラムサール条約登録湿地に登録された大山上池・下池、日本一の高さを誇る月山湖の大噴水、双滝や千人洞窟等、奇岩と渓谷が美しい奥山寺遊仙峡、4万株と東北一の規模を誇るつつじの名所の寒河江公園等、自然資源系の地域資源は数え切れない。

本地域には文化的な地域資源も数多く賦存する。山形市には、慈覚大師が開基し、元禄2年（1689年）に松尾芭蕉が当地を訪れ、「閑さや 岩にしみ入 蝉の声」と著名な句を残した山寺立石寺があり、毎年約70万人の観光客が訪れる。また中心市街地には、イギリス・ルネサンス様式の文翔館（旧県庁舎・県会議事堂）や山形市郷土館（旧済生館本館）等の擬洋風建築、山形城跡、山形美術館等の文化資源が比較的近い距離に点在し、まちなか観光を楽しむことができる。

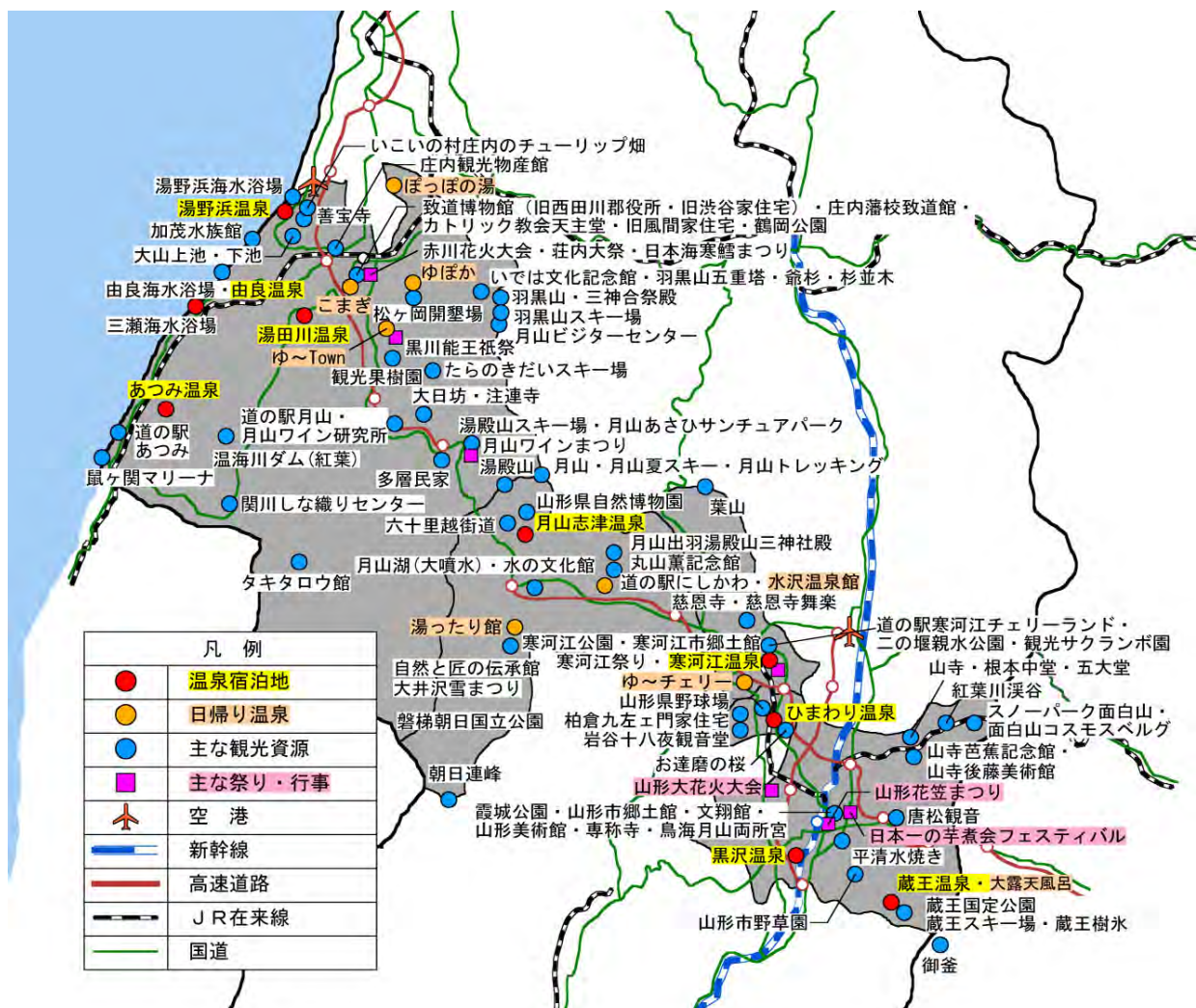
また鶴岡市には、現存するものとしては東北唯一の藩校建築物で、藤沢周平作品の舞台ともなった国指定史跡の庄内藩校「致道館」、鶴岡カトリック教会天主堂、この地方独自の四層構造の田麦俣の多層民家、世界一のクラゲの展示種類を誇る加茂水族館等がある。

その他、寒河江市には、聖武天皇の勅命でインド僧婆羅門僧正が開基したと伝えられる東北を代表する名刹の慈恩寺、寒河江市郷土館（旧西村山郡役所・郡会議事堂）、中山町には柏倉九左エ門家住宅等がある。

特に、本プロジェクトの「六十里越街道」のキーワードに深く関わる出羽三山（月山・湯殿山・羽黒山）は、古くから伊勢、熊野と並び霊場として全国的に知られ、平将門により創建されたと伝えられる国宝の羽黒山五重塔や即神仏で知られる注連寺、大日坊をはじめ（いずれも鶴岡市）、月山出羽湯殿山三神社社殿（西川町）、鳥海月山両所宮（山形市）、石碑・石仏等、出羽三山信仰の歴史的な文化遺産が各地に点在しており、今でも巡礼者が多く、羽黒山では、山伏修行を体験（5～10月）することができる。

祭り・イベントでは、毎年全国から約100万人が訪れる山形市の花笠祭り（8月5～7日）をはじめ、日本一の芋煮会フェスティバル、日本海寒鱈まつり、月山ワインまつり、黒川能王祇祭、さくらんぼ祭り等、山形県を代表する祭りやイベントが行われている。

更に、山形市・鶴岡市・寒河江市ではフルーツ狩り、鶴岡市・寒河江市・西川町では農作業や農山村の暮らしを体験するグリーンツーリズム、鶴岡市では漁業体験や海の環境を学ぶブルーツーリズム、鶴岡市・西川町では自然鑑賞や環境学習をテーマとしたエコツーリズム等、恵まれた地域資源を活かした多様な交流活動や観光が展開されている。



(2) 主要な地域資源の活用状況

域外からの誘客が期待できる主な地域資源とその活用状況は、以下の通りである。

また、更に詳細な地域資源を一覧表に整理すると、資料編の「資料1：自然資源系の地域資源一覧表」、「資料2：社会資源系の地域資源一覧表」のようになる。

種別	市町	主な地域資源	概要	活用状況
自然資源	山形市	蔵王連峰・蔵王国定公園	熊野岳(1,841m)を主峰に、宮城県と山形県にまたがる。春は新緑、夏はミネザクラ、コマクサなどの高山植物の花畑、秋は紅葉、冬は樹氷などが親しまれる。山頂の火口湖・お釜は神秘の色をたたえ、両県を代表する観光地	自然観賞 トレッキング パラグライダー スキー・スノーボード キャンプ ボート
		蔵王樹氷	アオモリトドマツ着氷した氷の間や隙間に雪が付着した樹氷は、世界的に有名で、アイスモンスターとも呼ばれ、樹氷原が一面に広がる。夜間はライトアップされ、幻想的な世界を楽しむことができる	樹氷鑑賞 イベント
		奥山寺遊仙峡 紅葉川渓谷	双滝や千人洞窟など奇岩と渓谷が美しい遊仙峡から、紅葉川渓谷一帯は、川のせせらぎと紅葉の色彩が美しい紅葉の名所	自然観賞 ハイキング
	鶴岡市	湯殿山	伊勢・熊野と並ぶ三大霊場のひとつ。出羽三山の奥之院とも呼ばれ、月山・羽黒山で修行をした行者がここで仏の境地に至るとされている	修験 トレッキング
		羽黒山	羽黒山・湯殿山・月山の出羽三山は、全国有数の修験の山として知られて、羽黒山の山頂には、三山の神を合祭した出羽神社の社殿・三山合祭殿がある	修験 トレッキング
		大山上池・下池 (ラムサール条約登録湿地)	およそ3万羽のマガモや3,000羽のコハクチョウに加え、国の天然記念物のヒシクイやマガンなどが越冬のため飛来する。渡り鳥の楽園 (2008年ラムサール条約に登録)	自然鑑賞
		鶴岡公園 (日本さくら名所100選)	鶴岡公園桜まつり 県内随一の桜の名所。約800本の桜が咲き誇る会場では、茶会、短歌募集などが催される(4月中旬～下旬)	花の鑑賞
		いこいの村庄内のチューリップ畑	約10万株の色鮮やかなチューリップが咲き誇り、家族連れなど大勢のレジャー客で賑わう	花の鑑賞 レジャー
		羽黒山の杉並木 (国指定天然記念物)	全長1.7km、2,446段の長い石段が続く表参道の両側には樹齢350～500年の杉並木が続き、五重塔の隣に樹齢1,000年爺杉と共に、国の天然記念物に指定。羽黒山南谷の蘚苔と杉並木は「かおり風景100選」にも選定	名所・旧跡 修験 トレッキング
	寒河江市	葉山	山岳崇拝の対象となった農民の作神の宿る山。宮城・福島まで信仰を集め、山頂にある葉山神社は古くから奥の院として、葉山修験と慈恩寺修験の中心であった	登山 山菜・きのこ採り
		寒河江公園 (つつじ)	眺望がよく山形盆地や月山、蔵王、朝日連峰の山々を一望できる。4万株と東北一の規模を誇るつつじの名所として親しまれている	花の鑑賞
		最上川ふるさと総合公園	雄大に流れる最上川が広がり、美しい花々と緑に彩られた自然豊かな公園。「花咲かフェアINさがえ」が開催される	憩いの場

歴史資源	中山町	お達磨の桜（県）	地上約 15m、根回り 8m に達する県内有数の大きなエドヒガンは、樹齢約 700 年と推定され、シーズン中は県内外からの観光客で賑わう	花の観賞
	西川町	磐梯朝日国立公園	山岳信仰の地として名高い出羽三山から、原始性の高い朝日連峰、飯豊連峰を経て、レクリエーション地として多くの人が訪れる磐梯山、吾妻山、猪苗代湖を抱える 3 番目に大きな国立公園	登山 自然観賞 山菜・きのこ採り
		月山（100 名山）	月山は山形県のほぼ中央に位置し、出羽三山の主峰、山岳信仰の山として知られ、山頂の月山神社には「月読命」が祀られている	自然観賞 トレッキング 夏スキー 山菜・きのこ採り
		月山湖	貯水量、高さとも有数の規模を誇る。月山、磐梯朝日国立公園のとても美しい景観の中にあり、高さ 112 m の日本一を誇る大噴水がシンボル	自然観賞 カヌー
		寒河江川	月山の清流を源流とする寒河江川では、急流ではラフティング、緩やかなところではカヌーが楽しめる	ラフティング カヌー
	山形市	山形城跡（国指定史跡）	斯波兼頼によって延文 2 年（1357）に築城されたと伝えられ、最上義光によって規模が拡張され、平城としては日本有数の大きさを誇る。現在は桜の名所として親しまれている	名所・旧跡 スポーツ 桜の観賞 教育・学習
		山寺（国指定名勝・国指定史跡）	貞観 2 年（860）円仁（慈覚大師）の創建とされる宝珠山立石寺は、俗に「山寺」と称されている。奇岩・奇跡に富み、名勝地として広く知られ、年には松尾芭蕉が訪れ、有名な句を詠んでいる	名所・旧跡 教育・学習
		山形県郷土館（愛称：文翔館）（旧県庁舎・県会議事堂：国指定重要文化財）	山形県庁舎と県会議事堂として、大正 5 年に建てられたイギリス、ルネッサンス様式のレンガ造りの建物。「山形県郷土館」として生まれ変わり、コンサート、生涯学習の場としても活用され、多くの観光客が訪れる	名所・旧跡 生涯学習 芸術活動
		山形市郷土館（旧済生館本館：国指定重要文化財）	山形県令三島通庸の病院新築の大構想のもと、明治 11 年 9 月に落成。角面からなる円形の特異な形態で、明治初期における木造擬洋風建築の傑作。現在は郷土館となっている	名所・旧跡 教育・学習
	鶴岡市	六十里越街道	山形県の内陸部と日本海側を結ぶ街道として、古くから交易や信仰、時には戦の軍道として使われてきた古道。2006 年日本風景街道に選定（国土交通省）	トレッキング 教育・学習
		庄内藩校 致道館（国指定史跡）	庄内藩の土風の刷新と、優れた人材の育成を目的に、文化 2 年（1805）酒井家九代目藩主・忠徳公が創設した藩校。この藩校建築は、現存するものとしては東北地方唯一のもの	名所・旧跡 教育・学習
		松ヶ岡開墾場（国指定史跡）	明治維新以降、武士たちが刀を鋤に持ち替え、農地を開拓していった歴史を伝える施設。明治 8 年創建の旧蚕室を記念館として公開	名所・旧跡 教育・学習
		羽黒山五重塔（国宝）	羽黒山参道、“一の坂”上り口の杉並木の中にあり、東北では最古の塔といわれ、平将門の創建と伝えられる。現在の塔は、約 600 年前に再建された三間五層柿葺素木造で、昭和 41 年には国宝に指定	名所・旧跡 教育・学習
		注連寺	森敦の小説「月山」の舞台で有名な真言宗の寺。鉄門海上人の即身仏を安置する	名所・旧跡 トレッキング 教育・学習
		大日坊	大同 2 年（807 年）に弘法大師が開基したと伝わる真言宗の寺。真如海上人の即身仏を安置する	名所・旧跡 トレッキング 教育・学習

		善宝寺	海の守護神・龍神の寺として全国的に知られ、四季を問わず多くの参拝者が訪れる。境内には五重塔などの数多くの貴重な建築物がある	名所・旧跡
		多層民家 (県指定有形文化財)	田麦俣は、四層構造の多層民家の里として知られ、緑の中に点在する茅葺き屋根の民家は、懐かしい日本の原風景	名所・旧跡 トレッキング
	寒河江市	慈恩寺 (国指定重要文化財)	天平 18 年(746)、聖武天皇の勅命でインド僧婆羅門僧正が開基したと伝えられる東北を代表する名刹。杉木立の境内には、本堂(国指定重要文化財)、三重塔、薬師堂、仁王門が建ち並び	名所・旧跡 教育・学習
		寒河江市郷土館 (旧西村山郡役所・郡会議事堂：県指定有形文化財)	旧西村山郡役所と郡会議事堂を移築し、郷土館として公開。明治 11 年に建てられた郡役所は、日本で最初に建てられた郡役所で、県内初の擬洋風建築物	名所・旧跡 教育・学習
	中山町	柏倉九左エ門家住宅 (県指定有形文化財)	江戸時代に山形城下の大庄屋を勤めた柏倉九左エ門家の住宅。約 4,000 坪の敷地に主屋、座敷倉、仏蔵、土蔵、長屋門等が建ち並び。	名所・旧跡 雛祭り・香道等のイベント
		岩谷十八夜観音堂 (国指定重要民俗文化財)	古くから目の病をなおす仏神として信仰され、遠方からも多くの信者が参拝に訪れ、本尊の縁日開催日に因み十八夜観音といわれている	名所・旧跡
	西川町	六十里越街道	前掲	前掲
		月山出羽湯殿山三神社社殿 (旧日月寺本堂：国指定重要文化財)	登拝口に唯一残された貴重な修験道建築。仏堂から客殿、座敷、庫裏等の機能を一つに併せた類例の少ない構成の複合建築で、桁行 66.9m という破格の規模を誇る	名所・旧跡 教育・学習
	文化・観光施設	山形市	最上義光歴史館	教育・学習
		山寺芭蕉記念館	芭蕉が山寺を訪れてから 300 年目を記念して、平成元年に建てられた芭蕉に関する文書や映像などが観賞できる数寄屋造りの記念館	教育・学習
		山形美術館	多層民家風的美術館。山形県出身の作家の作品をはじめ、ルノワール、モネ、ピカソ、シャガール、与謝蕪村等、国内外の巨匠の絵画・彫刻を常設展示	芸術鑑賞 教育・学習
	鶴岡市	致道博物館	庄内藩主酒井家の御用屋敷を博物館として公開したもので、敷地内には国指定重要文化財の旧西田川郡役所や多層民家、旧鶴岡警察署庁舎など、貴重な歴史的な建物が移築されている	名所・旧跡 教育・学習
		いでは文化記念館	悠久の時空を超えて息づく山岳信仰。出羽三山文化と修験の世界を学び、体験し、未来へ伝える	歴史学習 教育・学習
		加茂水族館	山形県内唯一の水族館で、世界中の海や川からたくさんの生き物が集まり、中でもクラゲの展示種類は世界一を誇る	自然学習
	寒河江市	道の駅寒河江チェリーランド	広大な敷地に、さくらんぼ会館、トルコ館、国際チェリーパーク、物販施設等、さくらんぼをテーマにした大規模な「道の駅」	道路休憩 情報発信
		寒河江花咲か温泉ゆ〜チェリー	平成 18 年 11 月にオープンした日帰り入浴施設。源泉かけ流しの湯で、高温と低温のサウナ、露天風呂も楽しめ、毎日多くの入浴客が訪れる	温泉入浴
	中山町	おしん生家撮影地	NHK 連続テレビ小説「おしん」の生家として撮影で使われた家はもうなくなっているが、出演者やスタッフの控室として使用された茅葺き農家を保存している	名所・旧跡

		ひまわり温泉 ゆ・ら・ら	町民はもとより県内外から入浴者・宿泊者が連日訪れる超人気の温泉宿泊施設。公共の宿	温泉入浴
	西川町	山形県立自然博物館 (ネーチャーセンター)	ブナ林を中心とした豊かな自然環境のもとで、自然にふれあいながら、自然の仕組みや自然と人間の係わり合い等を学ぶことができる	自然学習
		自然と匠の伝承館	昔からの伝統的技法が学べる館。つる細工、こけし絵付け、草木染め、月山メノウ細工、和紙漉き等、工人の指導の下体験することができる	体験学習
温泉	山形市	蔵王温泉	西暦 110 年頃、日本武尊の東征に従った吉備多賀由が発見したと伝えられ、強い酸性の白い硫黄泉が特徴で、皮膚に効くとされる。「難病治療の湯」、「美人づくりの湯」といわれ、蔵王大露天風呂は大人気	温泉入浴
		黒沢温泉	温泉の歴史は比較的新しく、須川の左岸、果樹園や畑が広がる中に立地するのどかな雰囲気温泉地	温泉入浴
	鶴岡市	湯野浜温泉	海岸沿いに近代的なホテル・旅館が建ち並び開湯 1,000 年の歴史を持つ温泉。日本海に沈む夕陽を眺めながら入るお風呂は、海辺の温泉郷ならではの醍醐味	温泉入浴
		湯田川温泉	鶴岡の奥座敷、環境省の国民保養温泉地に指定される開湯 1,300 年の静かな佇まいの山あいの温泉郷	温泉入浴
		あつみ温泉	温海川沿いに立地する開湯 1,000 年の温泉郷。260 年の歴史を誇る名物の「朝市」は、海の幸・山の幸を求める浴衣姿の温泉客で賑わう	温泉入浴
		由良温泉	快水浴場百選に選ばれた美しい海岸に立地し、新鮮な魚料理が味わえる。白山島にかかる朱塗りの橋と日本海に沈む夕陽の景観は絶景	温泉入浴
	寒河江市	寒河江温泉	特産品のバラを使ったユニークなお風呂が評判。美肌効果の湯にバラが浮かぶ光景はとっても優雅で、芳しい香りが心までリラックスさせる癒しの湯。	温泉入浴
	中山町	ひまわり温泉	最上川のほとりにある公共の一軒宿の温泉。泉質はやや褐色を帯びた塩化物泉で身体の芯から暖まり、日帰り温泉客が多い	温泉入浴
	西川町	月山志津温泉	月山山麓のブナの原生林に包まれ、平成になってから湧出した素朴な温泉。塩分が強く、身体が芯から温まり、サラッとした肌触りが特徴の「美肌の湯」	温泉入浴
		大沢温泉	二つの大浴場とサウナがあり「月山」には銘水「月山自然水」の原水を用いた桧風呂が人気の、道の駅に併設された日帰り温泉	温泉入浴
特産品・食	山形市	山形牛	寒暖の差が大きく、恵まれた自然のなかで頭一頭丹精込めて育てられ、肉のきめが細かく適度な霜降りで、舌にのせたときの柔らかさとまろやかさが、山形牛の特徴	特産品 名物料理
		啓翁桜	支那桜桃と彼岸桜を交配してつくられた桜で、以外と歴史は古い。近年、お正月飾りなど「冬に咲く桜の花」で注目を集めている	特産品
		いも煮	里芋、牛肉、コンニャク、ネギなどを入れた山形の秋を代表する郷土料理。農山漁村の郷土料理百選で全国第 1 位に選定	イベント
		そば	日本三指に入るとも言われ、「田舎そば」から「更科そば」までバラエティに富んだ店が軒を連ねる。近年は寒風にさらした春限定の「寒晒しそば」も人気	名物料理

		冷やしラーメン	30 年前、老舗のラーメン店の主人が、夏に清涼味のある冷たいスープのラーメンがあっても・・・と研究を重ね、提供したのが始まり。山形市発祥の食べ物	名物料理
		だし	キュウリ、ナス、ミョウガ、シソ、ネギなどの夏野菜を全部みじん切りにして、醤油をかけていただく内陸地方一円の夏の定番料理	特産品
		青菜漬け	漬物王国・山形の中にあっても、しゃきしゃきとした爽やかな辛みの冬の味覚・青菜づけは横綱格で、白いご飯との相性は抜群。	特産品
	鶴岡市	だだちゃ豆	人気女優のビールの CM で、全国的に有名になった鶴岡特産の日本一と評判の極上枝豆。独特の香りと深みのある甘さはクセになる美味しさ。まさに枝豆の王様	特産品 収穫体験
		庄内米	鶴岡は日本有数の米どころ。庄内平野特産の米は昔から旨い米の代名詞	特産品 農作業体験
		庄内柿	全国に知られている庄内地方の特産品で、庄内の秋を代表する果物の一つ。平べったい角型で種がなく、果肉が引き締まり、みずみずしい上品な甘さが人気	特産品 収穫体験
		温海かぶ	温海エリアの一霞地区で、昔ながらの焼畑自然農法で作られている温海かぶ。徳川将軍への献上品という歴史をもち、甘酸っぱく歯ごたえ抜群の漬物が人気	特産品
		庄内砂丘メロン	砂丘地が多い庄内地方の沿岸部はメロンづくりに適しており、甘い芳香とジューシーな果肉が大人気	特産品 収穫体験
		サクラマス	桜の季節に産卵のため川を遡上することや身の色が名前の由来。脂の乗った美味しさはマス類の中でも最高とされ、庄内の春の味覚として珍重される	特産品
		天然岩牡蠣	冬の味覚として一般的だが、庄内牡蠣は 6～8 月の夏が旬。身がぷっくりと大きく、口に含むと清々しい磯の香りが広がる	特産品
		庄内豚	養豚では、関東以北の 3 大美味産地の一つに数えられ、きめ細かな肉質でくさみがなくブランド豚として高い評価を受けている	特産品
		出羽路どり	三元交配のいいとこ取りでできた山形の特産鶏。自然の中でのびのびと育てられ、コク、適度なうまみが特徴	特産品
		やまがた地鶏	赤笹シャモと名古屋種の交雑種の雄と、横斑ブリマスロック鶏の交雑種。地面の上で 140 日間掛けて育てられ、赤みを帯びた肉色で、歯ごたえがよさが特徴	特産品
		どんがら汁	寒鰯のアラをぶつ切りにし、内蔵やダダミ（白子）鍋に入れ味噌味でいただく冬の庄内・日本海の名物料理。この味が忘れられずに、これを食べるために、遠くから訪れる人も多い	特産品 イベント
		孟宗汁	採りたて旬の孟宗竹を味噌と酒粕仕立てで煮込む春の味覚。コリコリした歯応えと素朴な風味が人気	特産品
	寒河江市	さくらんぼ	優れた品質と広大な観光さくらんぼ園を誇り、「日本一さくらんぼの里」として、全国にその名を知られている。シーズン中は、さくらんぼ狩りに近県から大勢の人が訪れる	特産品 フルーツ狩り
		バラ	あまり知られていないがバラの生産量日本一。92 年にオランダで開かれた「花の万国博覧会」で金賞を受賞するなど、品質も高い	特産品
		つるり里芋	普通の里芋に比べ、柔らかく、煮崩れも少なく、粘り・硬さ・甘みが適度で美味しく、貯蔵性にも優れ、味が落ちないと好評	特産品

中山町	プラム（すもも）	東北一の生産量を誇り、山形県生産量の 30%を占める。「中山町プラムライン（町道金沢大江線）」沿いに園地が広がる	特産品	
	元祖いも煮	船着き場のすぐ近くには、里芋の名産地である集落があり、最上川舟運の時代に荷受けの時間や、風待ちの時などに棒鱈を入れたを食べたのが始まりとされ、中山町が山形名物「いも煮」の発祥の地	イベント	
	月山筍	赤みが帯びた皮が特徴で、「筍の王様」とも呼ばれ、貴重性から「新・どっちの料理ショー特選素材！」で赤いダイヤモンドとして紹介された。さっくりとした独特の歯触りは一度食べたらやみつきになる。味噌汁や天ぷらも美味しい	特産品	
	白い発芽胚芽米「月山まんま」	血圧を下げ、物忘れやボケ、うつ病などのような精神的な病気にも効果があるといわれ、近年注目のギャバ（γ-アミノ酪酸）が多く含まれ、食べやすく精米した白い発芽胚芽米	特産品	
	月山山菜そば	山菜とキノコを鍋に入れ、味を調べ、ぐつぐつと煮えた熱々の汁を、冷たいそばにザッ！とかけていただく野趣たっぷりのご当地そば	名物料理	
	ひっぱりうどん	キッコーマン提供の料理番組“くいしん坊！万才”に出演した俳優・梅宮辰夫さんが「生涯忘れえぬ味！」と大絶賛した村山地方の冬の素朴な定番料理	名物料理	
西川町	月山自然水	月山を覆う万年雪の雪融け水が、400 年という長い歳月をかけ、ブナの森林屋岩石に浸透し、月山山麓に湧き出したミネラル分を適度に含む美味しい自然水。「全国名水百選」にも認定	特産品	
	地ビール月山	本場ドイツで厳選された原料と世界で名高いカスパー・シュルツ社の醸造機器、全国名水百選「月山自然水」でつくられたホップのほろ苦さと爽快な切れ味の日本人好みの喉ごしのビール	特産品	
	山形市	山形花笠まつり	東北四大まつりの一つ。華やかに彩られた山車を先頭に、艶やかな衣装と花笠の踊り手が、メインストリートを舞台に群舞する（8月5～7日）	イベント
祭り・イベント	山形市	山形大花火大会	山形市の西部、須川河畔で行われ、夏の山形の夜を演出する行事として市民に親しまれている（8月14日）	イベント
	山形市	日本一の芋煮会フェスティバル	山形の秋の風物詩「いも煮会」を6mの巨大な鍋で行う食の一大イベント。6 t の薪で5万食のいも煮を豪快につくる（9月第1日曜）	イベント
	山形市	山形国際ドキュメンタリー映画祭	世界の優れたドキュメンタリー映画を多くの人に鑑賞し、その魅力を大衆娯楽として定着させることを目的として開催。（10月上～中旬）	イベント
	鶴岡市	鶴岡雛物語	旧藩主酒井家所蔵の雛人形や雛道具、旧家に古くから伝わる享保雛、有職雛、古今雛、芥子雛など市内各地で展示される（3月～4月上旬）	イベント
	鶴岡市	赤川花火大会	全国デザイン花火競技会として選りすぐりの業者 20 社ほどが参加。約 13,000 発の花火が夜空を彩る（8月上旬）	イベント
	鶴岡市	羽黒山松例祭	日本三大火祭りのひとつ。羽黒山の祭事中もっとも重要なもので松例祭又は歳夜祭ともいわれる厳しゅうな神事（12月31日～元旦）	神事
	鶴岡市	日本海寒鱈まつり	庄内の冬の代表的味覚「寒鱈のどんがら汁」や地酒など地元の旬の味覚をを思いっきり味わうイベント（1月第3日曜）	イベント

		黒川能王祇祭	春日神社の御神体を上、下座の当屋に迎えて、1年の実りを祈る神事。当屋と神社で奉仕上演（2月1・2日）	神事
	寒河江市	さくらんぼ祭り	ミスさくらんぼコンテスト、さくらんぼの種吹きとばし大会、さくらんぼ俳句大会、200mの大綱引き大会など楽しいイベントが行われる（6月～7月上旬）	イベント
		寒河江まつり	寒河江八幡宮の例大祭。鎌倉武士の勇壮さを引き継ぐ古式騎馬や迫力満点の4,000人の担ぎ手が参加する東北一の御輿の競演等、見どころ満載のイベント（9月14～16日）	神事
	中山町	夏の高校野球山形県大会	毎年8月に阪神甲子園球場で行われる夏の甲子園（全国高等学校野球選手権大会）の出場権をかけ、毎年熱戦が繰り広げられる（7月中旬）	スポーツ
		全国かぶと虫相撲大会	小学生以下の子供が参加してトーナメント戦を行い、最強横綱をめざして競う。かぶと虫木のぼり大会、かぶと虫レース大会も実施（7月中旬）	イベント
	西川町	月山湖夏まつり	べっこまつりや寒河江ダムでカヌー体験・湖面遊覧等、様々なイベントが行なわれる（7月最終土曜）	イベント
		大井沢雪まつり	スノーモービルなどのダイナミックな雪遊びと白銀の夜空に打ち上げられる花火が幻想的な冬のまつり（2月第4土曜）	イベント
レジャー・アウトドア	山形市	蔵王温泉スキー場	雪質抜群、爽快な滑走が楽しめるパウダースノーと安定したグレンデコンディションの日本を代表する東北最大級のスキー場。樹氷鑑賞ができるスキー場としても有名	スポーツ レジャー 課外学習
		蔵王トレッキング	エメラルドグリーンのお釜、きらめく湖沼や緑深い原生林をはじめ、可憐なコマクサの花、湖沼や溪谷、新緑や紅葉等、四季折々に美しい蔵王を満喫することができる	トレッキング
	鶴岡市	海水浴	県内最大規模の「湯野浜海水浴場」をはじめ、6つの海水浴場があり、温泉、キャンプ、磯遊び、ウィンドサーフィン・ボディボードなど、多様なレジャーを楽しむことができる	レジャー マリンスポーツ
		海釣り	磯釣り・船釣り・堤防釣りなど心ゆくまで楽しめる太公望の楽園。鶴岡の海岸は、天然の磯場が多く、良質の磯釣り場になっている。また手軽に楽しめる海の釣り堀もある	レジャー
		鼠ヶ関マリーナ	平成4年に「べにばな国体」ヨット会場地となった鼠ヶ関マリーナは日本海側屈指の規模を誇りマリンスポーツのメッカとしてシーズン中には大勢の人で賑わっています。	ヨット
		スキー・スノーボード	5つのスキー場が点在し、様々なレベルに応じてスキーやスノーボードを楽しむことができる	スポーツ レジャー 課外学習
	寒河江市	葉山登山	山頂から眺める雄大な自然景観は素晴らしく、雲海のかなたにうかぶ朝日・蔵王・鳥海をはじめ、目前にせまる月山の眺望は圧巻で、その景色に魅了された登山ファンが多い	登山
	中山町	山形県野球場	東北楽天ゴールデンイーグルスファームの本拠地。東北楽天主催のイースタン・リーグ公式戦の多くがこの球場で開催されている他、セ・パ両リーグの公式戦も不定期ながら開催される	プロスポーツ観戦

	西川町	月山登山 トレッキング	月山山麓に広がるブナの原生林は、白神山地にも匹敵するほど。春は残雪の月山と新緑、夏は高山植物の花、秋は紅葉、冬は一面の雪景色と四季を通じ、登山やトレッキングを楽しむことができる	トレッキング 自然観賞
		朝日登山	主峰大朝日岳や小朝日岳、竜門山などの山々が見せる原始景観は雄大で、数多くの野生動物や高山植物が生息する。本格的に登山を指向する人にお勧め。	登山 自然観賞
		月山夏スキー	積雪量が多いため4月にオープンする月山スキー場。雄大なスロープを、降りそそぐ太陽の光を浴びて滑走するスキーは気分爽快	スポーツ レジャー
伝統芸能・工芸	山形市	山形鋳物 (国指定 伝統工芸品)	独特な鋳型作り、さらには紋様押し技法、肌打技法など伝統的手法が数多く継承され、繊細な肌合いの鉄瓶、茶の湯釜、花器など多様にわたり、格調高い	特産品 制作体験
		山形仏壇 (国指定 伝統工芸品)	元禄年間(1688年)寺院建立のために京より招かれた仏師及び宮大工が伝えたのが始まりとされ、堅牢で精密な技巧が特徴。	特産品
		平清水焼き	平安時代に慈覚大師が千歳山の土を使って焼きを教えたと伝えられ、千歳山の原土を用い、素朴な風合いが人気	特産品 制作体験
		山形打刃物	斯波兼頼が山形に入部した際、召抱えの鍛冶師たちが鍛冶集落を形成したのが始まりといわれ、その刀鍛冶の伝統を受け継いだ剪定鋏・庖丁などの打刃物は品質が高く、切れ味抜群	特産品
	鶴岡市	黒川能 (国指定重要無形 民俗文化財)	春日神社の神事能として、氏子たちの手によって500年伝承されてきた、能の古来の姿をそのまま伝える生活に根ざした民俗芸能	神事
		絵ろうそく	参勤交代の際に幕府への献上品として扱われた由緒ある品で、手描きの繊細で華やかな色彩模様が人気	特産品 制作体験
		いづめこ人形	冬にご飯を保温するのに使う籠(いづめ)に、幼い子を入れて寒さから守った風習から生まれた民芸品	特産品
		羽越しな布 (国指定 伝統工芸品)	日本最古の織物の一つと言われる古代布。縄文時代から山野に自生するしなの木から糸を紡ぎ、布に織り上げる伝統技法。全ての工程が手作業で、織り上がるまで一年を要する	特産品 制作体験
		御殿まり	江戸時代に庄内藩の奥方、奥女中たちが手慰みに作ったのがはじまりと伝えられる代表的郷土玩具	特産品 制作体験
		庄内竿	全国の太公望の垂涎的。庄内地方特産の苦竹から選り抜かれたものを4～5年かけて作られる貴重な釣竿。端麗にして品格があり、銚色にかがやく	特産品
	寒河江市	慈恩寺舞楽 (国指定重要無形 文化財)	1,200年林家に伝わる一子相伝の舞楽。5月5日の例祭では燕歩・散手・太平楽・陵王等の八番が奉奏される	神事
		金谷鯉のぼり	全国でも数少ない手染めの伝統工芸品。化繊のプリント製品とは違い、色あせにくく丈夫なのが特徴の鯉のぼり	特産品
	中山町	小塩御福田田植踊	代かき田植えから取り入れまで、稲作の仕事が順調にはこぶさまを演じ、そのように豊作になるよう祈りをこめた呪術的な舞踊	芸能
	西川町	岩根沢太々神楽	すべてが神話を題材とする神々に扮し、猿田彦の舞、倭姫の舞、宇賀の舞等からなり、明治初年頃、福島県伊達地方より伝来したとされる	神事
		月山和紙	こうぞ100%の手すき和紙。天然染料で染め、薬品漂白は行わないため、独特の色合いや風合いを持っている	特産品 制作体験

(3) 体験メニュー

本地域内の各市町では、様々な体験メニューが実施されており、一覧表に整理すると別添資料編の「資料2：観光圏内の主な体験メニュー」のようになる。

(4) 観光客数別・地域資源一覧表（8区分）

本地域に賦存する主要な地域資源を、観光客数別（3万人以上）に、8段階に区分してみると次のようになる。

	3万人～ 10万人	10万人～ 20万人	20万人～ 30万人	30万人～ 40万人	40万人～ 50万人	50万人～ 70万人	70万人～ 100万人	100万人
山岳	朝日連峰		蔵王連峰 月山					
温泉	寒河江温泉	湯田川温泉 由良温泉 水沢温泉	くしびき 温泉ゆー TOWN ぽっぽの 湯 ひまわり 温泉ゆ・ ら・ら	温海温泉 やまぶし 温泉ゆぽ か			湯野浜温泉	蔵王温泉
スキー場	湯殿山 スキー場	月山				蔵王温泉 スキー場		
海水浴場	加茂レイ ンポービ ーチ	由良	湯野浜					
名所・ 旧跡	金峯山	湯殿山神 社 善宝寺 寒河江公 園 慈恩寺				羽黒山	山寺	
観光道 路					蔵王ライ ン		西蔵王高 原ライン	
道の駅		月山銘水 館	しゃりん		チェリー ランド			
その他	弓張平運 動公園 月山湖水 の文化館 致道博物 館	山形美術 館 文翔館 加茂水族 館	寒河江市 観光果樹					
祭り イベン ト		鶴岡天神 祭 日本一の 芋煮会フ ェスティ バル 初市	霞城観桜 会 山形県観 光物産市	植木市 赤川花火 大会	山形大花 火大会			山形花笠 祭り

資料：平成19年度 山形県観光者数調査

7. それぞれの市町の観光の「強み」・「弱み」

これまで、3市2町の地域資源の現状を把握してきたが、地域特性、観光客数、交通、情報発信、食、宿泊施設、スポーツ関連、訪日外国人旅行客のカテゴリー毎に、改めて「強み」と「弱み」を整理し、それぞれの市町の観光の魅力を端的に表現すれば、次のようになる。

(1) 山形市の観光の「強み」・「弱み」

種別	強み	弱み
地域特性	・ 県都 ・ 大学や専門学校が立地 ・ 人口 100 万人の政令指定都市・仙台市と県都同士が隣接しており、仙山連携や3都市連携（山形市・仙台市・福島市）が図られている ・ 内陸部にあっては、比較的降雪量が少ない ・ 盆地型気候で、寒暖の差が大きく、夏は暑く冬は寒い	・ 郊外への大型商業施設の立地により、中心市街地の活性化が課題になっている
観光客数（国内客）	・ 季節毎のイベントによる観光客数が多い - 春：霞城観桜会、薬師まつり植木市 - 夏：山形花笠まつり、山形大花火大会 - 秋：日本一の芋煮会フェスティバル 山形国際ドキュメンタリー映画祭 - 冬：山形初市、蔵王樹氷まつり	・ 冬期間の観光の主力であった、スキー・スノーボード客の減少を受け、冬期間の観光客数が年々減少
交通	【鉄道】 ・ 東京⇄山形間 2 時間 35 分（山形新幹線）	
	【航空機】 ・ 山形空港まで車で約 30 分	・ 発着便数が少なく、また機体が小さいため乗客数も少ない - 札幌 1 往復、羽田 1 往復、小牧 1 往復、伊丹 4 往復
	【車】 ・ 山形自動車道、東北中央自動車道が通り、山形県にあってはアクセスが良い ・ 仙台から 41 分（仙台宮城 I C⇄山形蔵王 I C）	・ 市内は、朝夕道路が混雑する ・ 市街地は一方通行が多いため、迂回が大変
	【バス】 ・ 仙台⇄山形間の高速バスが、平日 72 往復、土日 66 往復運行 ・ 「中心街 100 円循環バス」が運行	・ 中心市街地と郊外地区を結ぶバスが少ない ・ 山形駅と郊外に立地するショッピングタウンを結ぶバス路線がない（嶋地区）

情報発信	- 山形市役所、山形市観光協会、蔵王観光協会、山寺観光協会が、それぞれのホームページで観光情報を提供している - 蔵王観光協会には、英・韓・中国語（繁体字）版のホームページが整備されている - 観光パンフレットは日・英・韓・中（繁体字・簡体字）・タイ語版が整備されている - 観光マップは日・英・韓国語版が整備されている	- それぞれホームページに、情報が分散している - 山形市役所、山形市観光協会、山寺観光協会には外国語版のホームページが整備されていない - 一番欲しい情報「グルメ・飲食店情報」に十分な対応ができていない
食	- 山形名物「いも煮」が、農林水産省の「農山漁村の郷土料理百選」で見事第1位に選出 - 麺類の名物は「そば」と「冷たいラーメン」（冷たいラーメンは発祥の地）	- 山形牛は、全国的な知名度まで至っていない（米沢牛の方が広く知られている） - ご当地麺というイメージが、県外客にまで浸透していない - いつでも郷土食が味わえる飲食店が少ない
宿泊施設	- 蔵王温泉、黒沢温泉の温泉宿泊地が立地している - 中心市街地には、都市型のホテルが集積し宿泊収容力がある	- スキー客がピーク時の半数以下と著しく減少 - 西口開発で市街地のホテル数が増えやや過剰気味 - 企業の保養所等の減少
スポーツ関連	蔵王では、冬はスキー・スノーボード、グリーンシーズンはパラグライダー・マウンテンバイクを楽しむことができる	スキー・スノーボードニーズの低下
訪日外国人旅行者	- 山形駅観光案内所、やまがた観光情報センターは、ビジット・ジャパン案内所^{※1}となっている - 韓国、台湾からのスキー客を中心とした旅行者が増加	- 案内標識や誘導サインは、順次外国語併記に改修しているが、更に充実させていく必要がある - 外国人旅行者に、対応できる飲食店が少なく、情報も少ない
山形の魅力（観光資源）	- 歴史と伝統産業がある地方都市 - ショッピングが楽しめる商業集積都市（近隣市町村に対して） - 季節毎に大きなイベントを開催	- 最上義光は市民が思うほど、全国的には知名度が低い - 逆に若い世代は仙台でショッピングを楽しむ人が多い

※1 ビジット・ジャパン案内所：

訪日外国人観光客のひとり歩きのサポートのため、外国語対応可能な職員を配置し、必要な情報を提供できる体制を整備した観光案内所

(2) 鶴岡市の観光の「強み」・「弱み」

種別	強み	弱み
地域特性	・ 東北一の広い面積の自治体（6市町村合併により） ・ 歴史、自然、文化資源等の多様な地域資源 ・ 冬は温暖で、県内では降雪量は少ない ・ 庄内平野の米どころ ・ 学校給食発祥の地	・ 冬期間は季節風が強く、地吹雪になることがある ・ 旧鶴岡市以外の地域では、人口が減少傾向 ・ 他のブランド米に押され気味
観光客数 （国内客）	・ 多様な観光資源を活用して、名所旧跡、マリンレジャー、教育旅行、グリーンツーリズム、ブルーツーリズム等、多様な観光が展開されている ・ 県内では唯一の国宝である羽黒山五重塔を有している ・ 文化財が多い（特に天然記念物）	・ 名所旧跡・温泉地・海水浴共、減少傾向。特に温泉地の減少が大きい（温泉地 H11：194.4 万人 ⇒H19：137.8 万人） ・ 地域別では、鶴岡・羽黒・朝日・温海地区で、観光客数が大きく減少
交通	【鉄道】 ・ 東京⇄新潟⇄鶴岡（4時間9分）上越新幹線ー羽越本線特急いなほ利用 ・ 新潟⇄鶴岡間 1 時間 55 分特急利用 ・ 新潟⇄酒田間をジョイフルトレイン「きらきらきうえつ」が、金・土・日・祝日を中心に運行 【車】 ・ 仙台から2時間 14 分（仙台宮城 I C⇄鶴岡 I C） ・ 鶴岡の人気スポットを満喫する観光タクシー「駅から観タクン鶴岡」を全 7 コース運行（約2時間 6,000 円） 【バス】 ・ 仙台⇄鶴岡・酒田間の高速バスが、1 日 16 往復運行 ・ 山形⇄鶴岡・酒田間の高速バスが、1 日 10 往復運行 ・ 市街地の観光スポットを巡ることができる「鶴岡観光ぐるっとバス」が運行 【航空機】 ・ 庄内空港に近い（車で約 25 分）	・ 東京から来る場合、山形新幹線は、便利な乗り物にはなっていない ・ 一部自動車専用道路（国道 112 号）を通行しなければならない ・ 西川 I C⇄櫛引 I C は積雪量が多く、雪道に不慣れなドライバーには負担 ・ 4月中旬～12 月下旬までの土・日・祝日に 1 時間置きに運行され、更なる観光客への周知が必要 ・ 就航は、羽田便、伊丹のみ

情報発信	・鶴岡市観光連盟のホームページで観光情報を提供している（鶴岡市役所のホームページの観光情報は鶴岡市観光連盟にリンク） ・映画のロケ地としても知られるようになりつつある（「おくりびと」、「武士の一分」、「蟬しぐれ」、「たそがれ清兵衛」等）	・外国語版ホームページ、観光パンフレット、観光マップは整備されていない
食	・だだちゃ豆、月山筍、アスパラガス、サクラマス、天然岩牡蠣、庄内豚等、魅力的な食材が豊富 ・「四季の昼御膳」、「四季の寿し御膳」、「あんべみ処」、「春の御膳」、「さと山秋の御膳」等、新たなメニュー開発の取り組みを実施 ・TBSの「情熱大陸」で放映された、奥田政行シェフのイタリアレストランが立地し、ここの料理を食べるために日本中から食通が訪れる ・給食発祥の地	・「庄内すし海廊」をはじめ、左記の新たなメニュー開発の取り組みは、まだまだ知らない人も多いが今後に期待
宿泊施設	・湯野浜温泉・湯田川温泉・あつみ温泉等の温泉地には旅館、三瀬・由良地区等には民宿、手向地区には宿坊、市街地にはホテルと多様なスタイルの宿泊施設が集積している	・夏季のハイシーズンと冬季のオフシーズンの宿泊客数の格差が大きい。
スポーツ 関連	・湯野浜海水浴場付近では、サーフィン・ウィンドサーフィン・ゴルフ、鼠ヶ関マリーナではヨット、日本海では魚釣りやファンダイビングを楽しむことができる ・山麓ではスキー・スノーボードを楽しむことができる	・夏季シーズン型 ・スキー・スノーボードニーズの低下
訪日外国人 旅行者	・外国人旅行者が興味を持ちそうな観光資源を有している	・誘導標識、観光施設の案内板、館内の説明書き等に、外国語併記が不足している ・外国人旅行者に、対応できる飲食店が少なく、情報も少ない
鶴岡市の 魅力 (観光資源)	・歴史的な建造物や擬洋風建築が残る庄内の城下町 ・出羽三山文化を色濃く残す ・日本海の海の幸をはじめ、だだちゃ豆、月山筍等、食材の宝庫	・全体的な傾向として、歴史文化遺産に対する観光ニーズが減少している

(3) 寒河江市の観光の「強み」・「弱み」

種別	強み	弱み
地域特性	- 日本有数のさくらんぼの生産地 - 日本有数のバラの産地 - 人口は微増傾向	- 他のさくらんぼの生産地（東根市や天童市）と一緒に、さくらんぼの里として認知しており、差別化できていない県外客が多い - バラ風呂等でPRしているものの、バラが特産品であることを知らない人が少なくない
観光客数（国内客）	道の駅にあるJA さがえ西村山周年観光農業案内所で、農業体験プログラムをワンストップで受付けており、一定の成果を上げている	フルーツ狩り客が多く、そこから滞在型のグリーンツーリズムに繋げていくかが今後の課題
交通	【鉄道】 山形駅⇄寒河江駅間 27 分（左沢線）	1 時間に 1 本運行
	【車】 - 仙台から約 1 時間（仙台宮城 I C⇄寒河江 I C 55 分） - 寒河江 S A でも乗り降りできる（スマート I C）	
	【バス】 - 仙台⇄寒河江の都市間バスが 1 日 7 往復運行 - 仙台⇄鶴岡・酒田間の高速バスを利用することも可能（16 往復） - 山形⇄鶴岡・酒田間の高速バスを利用することが可能（10 往復） - 山交ビル⇄チェリーランド間 1 日 19 往復運行 - 山交ビル⇄月山銘水館間の路線バスを利用することが可能（7 往復）	
	【航空機】 山形空港まで約 20 分	発着便数が少ない（前掲）
情報発信	- さくらんぼの里として知名度がある - 寒河江市役所、寒河江市観光協会、寒河江市商工会が、それぞれのホームページで観光情報を提供	- 外国語版ホームページ、観光パンフレット、マップは整備されていない - 寒河江市役所のホームページには、寒河江市観光協会のホームページがリンクされていない
食	- さくらんぼは、赤い宝石と呼ばれ、特に県外客に大人気 - 冬～春の特産品づくりや観光の取り組みとして、ハウスイチゴに取り組んでいる	- 特定のラーメン店は知られているものの、名物のご当地料理が浮かばなく、「食」のまちとしてのイメージは弱い - 郷土料理を売りにする飲食店がない

	• 人気の高いラーメン店がある • J Aアイスクリームが好評 • 焼鳥屋が多く美味しいと評判	• 美味しい蕎麦店も立地するが、「そば街道」や「谷地の肉そば」の陰に隠れて存在感が薄い
宿泊施設	• 中心市街地に、旅館・ホテルが集積	• 天童温泉や上山温泉等の温泉地に比べ、施設規模や集積が小さく、知名度不足の感は否めない
スポーツ 関連	• 国内屈指の規模のスケートパーク（スケートボード）	
訪日外国人 旅行者		• 誘導標識、観光施設の案内板、館内の説明書き等に、外国語併記が不足している • 外国人旅行者に、対応できる飲食店も少ない
寒河江市の 魅力 (観光資源)	• さくらんぼ日本一の里 • 慈恩寺の歴史文化遺産 • 寒河江まつり・つつじ園	

(4) 中山町の観光の「強み」・「弱み」

種別	強み	弱み
地域特性	- 山形市のベッドタウンとして人口が増加 - 最上川舟運の発達に伴って発展 - 山形県で一番小さな面積の自治体	- しかし近年は頭打ち傾向 - 自治体の財政規模も小さい
観光客数 (国内客)	観光客数のほとんどは、ひまわり温泉 ゆ・ら・らの入場者数	観光資源が少ない
交通	【鉄道】 - 山形駅⇄羽前長崎駅間 20 分(左沢線) 【車】 - 最寄りには山形自動車道・寒河江 I C 【バス】 - 山交ビル⇄チェリーランド間の路線バスを利用することが可能(19 往復) - 山交ビル⇄月山銘水館間の路線バスを利用することが可能(7 往復) - 町内を巡る町営バスが運行 【空港】 - 山形空港まで約 20 分	1 時間に 1 本運行 - 町内には I C はない - 町営バスは生活路線バスであり、日曜・祝日が運休のため、観光目的の人には非常に利用しにくい - 発着便数が少ない(前掲)
情報発信	中山町観光協会、中山町商工会のそれぞれのホームページで観光情報を提供(中山町役場ホームページの観光情報は中山町観光協会にリンク)	- 外国語版ホームページ、観光パンフレット、マップは整備されていない - 日本語版の観光マップも整備されていない
食	- プラムが特産品 - 芋煮会発祥の町	元祖いも煮自体、あまり認知されていない
宿泊施設	ひまわり温泉 ゆ・ら・らが唯一の宿泊施設	温泉宿泊地の集積はない
スポーツ 関連	東北楽天ゴールデンイーグルス 2 軍 ホームグラウンド(プロ野球)	町をあげて応援している
訪日外国人 旅行者	外国人向けの体験プログラムではないが「香」をテーマとした取り組みが行われている	- 誘導標識、観光施設の案内板、館内の説明書き等に、外国語併記が不足している - 外国人旅行者に、対応できる飲食店がない
中山町の 魅力 (観光資源)	- ひまわりとプラムの町 - 芋煮会発祥の町(前掲)	ひまわりとプラムを町のシンボルとしているが、プラムワイン等を作っている他は、これらを活用した取り組みは行われていない

(5) 西川町の観光の「強み」・「弱み」

種別	強み	弱み
地域特性	- 山形市と鶴岡市のほぼ中間地点 - 夏は涼しく、自然景観（新緑・紅葉）が美しい - 恵まれた自然環境（朝日岳・月山：国立公園・100名山、旧国土庁「水の郷百選」、環境省「名水百選」、林野庁「水源の森百選」、月山湖等） - 出羽三山への登拝口八方七口のうち三口（本道寺、大井沢、岩根沢）あり - 自然学習施設が多く、大井沢は自然研究発祥の地と言われる（大井沢自然博物館・伝承館、県立自然博物館、丸山薫記念館等）	- 雇用の場が少ないため、若年層の流出が進み、人口は漸減傾向 - 高齢化率は県内一高い - 豪雪地帯
観光客数（国内客）	体験学習・教育旅行・グリーンツーリズム客数の実績を着実に上げている	季節格差が大きく、冬期間は豪雪の影響で観光客数が少ない
交通	【鉄道】	最寄り駅は、左沢線のJR寒河江駅で、当町には鉄道駅がなく、車でアクセスできない人にとっては不便
	【車】	
	- 山形自動車道西川IC、月山ICが立地する - 仙台から67分（仙台宮城IC⇄西川IC）	
	【バス】	町内の観光施設を巡るためには町営バスを利用することができるが、便数がかなり少ない
情報発信	【空港】	発着便数が少ない（前掲）
	山形空港まで車で約30分	
情報発信	- 月山朝日観光協会のホームページで観光情報を提供（西川町役場ホームページの観光情報は月山朝日観光協会にリンク） - 日本語版の観光パンフレット、マップは整備されている	外国語版ホームページ、観光パンフレット、マップは整備されていない
食	山菜料理が名物料理。山菜料理専門店が2軒立地し、その料理を味わうため	高速道路が月山ICまで開通したことによって、国道112号の通行量

	にわざわざ東京から訪れる固定ファンもいる ・「月山山菜そば」は名物料理として、徐々に認知されるようになってきている ・清水の郷をアピールする地酒（一声）・地ワイン（月山山麓ワイン）・地ビール（地ビール月山）・地水（月山自然水）が特産品	の減少し、それに伴いフリーの立ち寄り客も減少
宿泊施設	・月山山麓に、志津温泉（約 10 軒）が立地 ・大井沢、岩根沢地区に民宿・宿坊が立地（約 20 軒）	・比較的新しい温泉であるため、知名度が低い
訪日外国人旅行者	・四季のトレッキング等のエコツーリズムを推進できる資源を有している ・夏スキーを楽しむことができる	・誘導標識、観光施設の案内板、館内の説明書き等に、外国語併記が不足している ・外国人旅行者に、対応できる飲食店がない
西川町の魅力 （観光資源）	・月山・朝日岳をはじめとする恵まれた自然資源 ・日本でも有数の豪雪地域 ・高さ日本一の月山湖の大噴水 ・全国的にも稀な夏スキー ・山菜料理の食文化 ・自然学習の拠点地	・高齢社会の進展による地域活力の低下が懸念されている ・豪雪は、町民生活への負担が大きい

8. 方策検討のための課題の把握

それぞれが有する地域資源を活用した広域連携による交流促進に向け、価値観共有化の観点、組織的な観点、事業的な観点、財政的な観点、専門関係者からの観点からみた場合、次のようなものが課題として考えられる。

	課題	課題解決の方向性
価値観共有化の観点	・ 連携をスタートさせるにあたっては、まずはお互いの地域を理解し合うことが求められる。 (テーマとなっている六十里越街道は、沿線住民の認知度や価値観に対する意識が低い)	・ 歴史・文化・自然・民俗等の資源を把握し、行政のみならず本地域の住民が、この街道を中心とした本地域が持つ特性や価値感、潜在力を認識し、誇りを持ち、共有することが必要である。
組織的な観点	・ ほとんどの観光客は、市町村の境や県境を意識しないで行動しているが、それを迎える側の地域は、それぞれの自治体が独自に取り組みを行うため、観光客の行動実態と合わず、広域的なネットワークをいかに構築できるかが課題となっている。	・ 自治体間あるいは業種間の垣根を超えた連携による誘客を図るためには、広域連携組織やクラスター的な様々な分野における連携組織づくりが求められる。 ・ その際、既成の垣根を取り払い、連携する全ての自治体が、協働で汗をかいて取り組むことができなければ、実利のある連携にはならないということを、しっかりと理解しておく必要がある。
	・ ともしれば広域連携は、行政のみの連携になりがちである。また、それぞれの窓口となる担当者が人事異動で変わることが容易に予測されることから、担当者が変わっても、何でも相談しあえるような関係を築けるかが課題となってくる。	・ 地域の総合力が評価され、訪れる人に選ばれる時代を迎えていることを踏まえ、行政や公的団体、観光業に携わる人だけでなく、NPO、商工事業者、農林漁業従事者等、幅広い人々が参画する組織づくりを行い、連携事業を推進していく必要がある。 ・ 当初は行政主導にならざるを得ないが、徐々に民間主導型に移行させ、多様なレベルで交流促進や連携の取り組みが行われていくことが望ましい。
事業的な観点	・ 本地域への誘客促進を図るためには、エリアとしての魅力を十分に伝えられるような情報発信や取り組みが求められる。	・ そのためには、エリア全体としてのテーマ性や物語性を設定し、キャンペーンや情報発信ツール等を活用しながら、地域全体としてPRし、知名度向上と誘客促進に努めると共に、訴求力のある連携策を立案していく必要がある。

	事業費を有効に使うためには、事業効果が霧散しないように、“何を売り込んでいくか”をしっかりと検討する必要がある。	- それぞれの市町の「強み」（特性・持ち味）を活かし、それらを連携させ、地域全体として価値や魅力を高め、相乗効果が期待される事業やそれぞれの市町の地域振興にメリットがある事業を連携事業として推進していく必要がある。 - 連携策を立案する際は、以下の5つの視点を踏まえながら検討していく必要がある。 ① 連携することで効果が高まる取り組み ② 連携することで魅力度が高まる取り組み ③ 連携することで利便性が高まる取り組み ④ 連携することで効率性が高まる取り組み ⑤ 連携することで実現性が高まる取り組み
	連携策を検討する際、3市2町全てに関わるものだけを「連携」と考えてしまうと、限られた事業しか実施できないことが懸念される。	2つ以上の市町が連携可能なものを「連携」として考えた方が、交流促進に向け、より魅力的で、実効性のある事業の推進が期待できる。
財源的な観点	近年の自治体の厳しい財政状況の中で、安定的な財源を確保することはなかなか困難である。	長期的なスパンで、連携事業を継続して推進していくためには、安定的な財源確保は不可欠である。
	通常、自治体が事業を遂行する場合、議会承認が必要となるが、一つの自治体でも承認が得られなかった場合、連携事業が計画通りに推進できなくなる可能性がある。	協議会に各自治体からの負担金をストックし、長期的なアクションプランに沿って、連携事業を推進できるような手法を検討する必要がある。
	事業については、これまで以上に効果や成果が求められてくる。	公益性が期待できる事業を検討する必要があり、また収益性を見込める事業については、自立した事業として継続できるようにしていくことが求められる。
旅行エージェントからの観点	《本地域の観光の課題》 交流人口や観光客数を増加させることを目的と考えた場合、この地域全体（各産業）が連携して滞在促進を推進し、地域経済の活性化にいかにつなげるかが重要なポイントである。3市2町の各市町の連携に対	- まずは目的に向けたベクトル合わせや合意形成がまずは必要である。 - また、3市2町の特徴や地域資源を活かした広域観光のあり方の議論と平行して、各市町が様々な分野や産業の人々が参画するワーキンググループ等による議論も活発に行われるような体制づくりも行っていく必

	する意識や捉え方に温度差をなくすことが重要である。	要があると考えられる。
	山形県全般に言えることだが、接続交通が最大の課題であると考えられる。	会員バスの設定や定額タクシー、または町の福祉バスを結びつけるなど、利便性の高い接続交通を整備していく必要がある。
	出羽三山の山岳信仰のイメージが強く、広域を結びつけるテーマが難しい。	六十里越街道のテーマを明確にしないと商品がぼやけてしまうため、訴求力のあるテーマ性を定める必要がある。
	《売り込むべきところ》 - 今日まで受け継いできた歴史・文化（六十里越街道も含む）等の風土に根ざした地域資源をもう一度見つめ直し、整理しながら、訴求力のあるテーマ性を定めることが必要であり、それらをどのように域外の人に伝え、情報発信していくかが重要になってくる。 - 霊山：出羽三山の「三山詣で」を機軸とした精神文化 - 松尾芭蕉が紀行した「おくの細道」 - 天地人放映を糧に「直江兼続」が開いた軍道などを切り口にした歴史の道 - 立石寺、慈恩寺、湯殿山神社、月山神社、大日坊、善寶寺等を結びつけた回廊 - 食文化（蕎麦、山菜、精進料理、麦きり）の活用	
	《売り込んでいく際の課題》 - テーマ・ターゲットの明確化 - トレッキングツアー等の設定（駅からハイキング等） - 地元人との接点（〇〇達人による案内、作り方の伝授等） - 特別イベントの検討（価値観のアップ）	
	《六十里越街道を組み込んだ旅行商品化の可能性》 - 潜在力は秘めていると思われる。しかしながら、いろいろな分野の方々を入れた地域内での議論が不足しており、地域全体の六十里越街道の考え方に対する合意形成を図り、地域全体での交流人口、観光振興そして地域振興にいかにか活かしていくかをまとめていくことが大事だと考えられる。 - 昨今の健康ブームから「歩く」「体に良い食べ物」はキーポイントとなる。 - 会津「極上の日本」や「やまがた花回廊」のように、地域をひとつのテーマでくくり、ベクトルを合わせた商品構成が大切である。	

第3章 交流プロモーションの連携施策の検討

1. 連携施策の検討

六十里越街道地域に賦存する地域資源等をベースとして、今年度開催された委員会、PT会議の検討内容を受け、来年度は、次のような具体的な連携施策やアクションプランを検討・立案していく。

	指針	連携施策（例）
(1) 広域連携組織の整備	六十里越街道地域の合意形成やアクションプラン等を主体的に実施する広域連携組織を整備する。	連携事業推進組織「（仮）六十里越街道地域連絡会議」の設立に向けた、「（仮）六十里越街道地域連絡準備会議」の設置 【リーディング事業】
(2) 意識啓発ホスピタリティ向上	本地域内の交流資源や強みを再認識し、交流促進に対する地域住民の意識啓発を図る。	- 広域連携シンポジウムの開催 【リーディング事業】 - 広域連携講座の開設 【リーディング事業】
(3) 受入体制整備	滞在プログラムを案内したり、体験をサポートする人材を育成していく。	- ガイド・ボランティアガイド等の相互研修 - 出羽三山を案内する先達の相互研修（例：鶴岡市－西川町） - 案内所窓口スタッフ、行政窓口担当者の相互研修の実施 - NPOまちづくり団体の情報交換会議の開催 - 滞在プログラムを支えるインストラクターの養成
(4) 情報発信	交流資源情報の共有化を図り、案内機能・情報発信機能を充実していく。	3市2町の観光案内所への各市町の観光パンフレット、ガイドブックの常備、情報提供 - 観光情報を提供する各市町あるいは観光協会のホームページの相互リンク - 現在行われている祭り・イベント時における3市2町のPRコーナーやブースの設置 - 各市町が行っているキャンペーン時における、他連携市町の観光パンフレットの携帯 - 合同キャンペーンの実施 - ファムトリップの実施 - グリーンツーリズム・ブルーツーリズム受け入れ民泊者の情報交換・交流会の実施 - 名物料理等の「食」のPR・情報発信、新たな連携事業の検討

(5) 滞在魅力の向上による滞在促進	- 沿道住民の連携強化を図りつつ、滞在魅力の向上に資する施策を推進していく。 - 滞在促進による仙台圏のふるさとづくりを目指し、滞在型の旅行商品を開発していく。	- モデルツアーの実施・検証 【リーディング事業】 - 旅行エージェントへの商品造成の要請（連泊プラン） - 広域連携祭の実施（六十里越街道まつり等） 【リーディング事業】 - 各種体験プログラムのオプション商品化（旅館の魅力づくり） - 高速道路を活用したドラ割商品造成等、NEXCO東日本に対する要請活動の実施 - 利便性の高い交通機関の連携、魅力的なタクシーの取り組み等の検討
---------------------------	---	--

2. リーディング事業の検討

検討した交流プロモーションの連携施策の中から、来年度は、その一部の次のような事業を交流促進プロモーションのリーディング事業と位置づけ、実証実験として実施することを目指していく。

	基本的な考え方
(1) (仮) 六十里越街道 連絡準備会議の設 置	地域振興のための連携施策の推進は、行政だけで行えるものではなく、地域全体で取り組むことが求められる。そのようなことから、各行政だけではなく、熱意のある地域の人（観光協会、観光関連事業者、商工会、企業、農林漁業従事者、NPO団体等）を取り込んだ推進組織「(仮) 六十里越街道地域連絡会議」の平成 22 年度以降の設置を見据えながら、準備組織となる「(仮) 六十里越街道地域連絡準備会議」を設置する。
(2) 広域連携祭の実施	3市2町が取り組んでいる各種イベントや地域資源等の中から、街道として共有できる共通テーマを見つけ出し、そのテーマに連動させて、広域連携祭と位置づけ実施していく。
(3) 広域連携 シンポジウムの開催	広域連携による交流促進の意義や展開の必要性を、本地域内の住民に広く啓蒙しつつ、域内外へ広域連携を周知することを目的として、行政、観光協会、JA、商工会等の各団体のトップ、あるいは3市2町の各首長がパネラーとなるようなシンポジウムを開催し、手を取り合い、覚書を交わし、連携を宣言するような演出を検討していく。
(4) モデルツアーの 実施	「(仮) 六十里越街道地域連絡準備会議」に、旅行エージェントの商品企画担当者等の参画を求めながら、六十里越街道の歴史や文化、地域資源を活かした地域提案型のモデルツアーを企画・実施していく。
(5) 広域連携講座の 開催	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センターの調査事業で、今年 9 月 18～23 日に実施予定の「21 世紀地域間文化交流のシンボル、六十里越街道を行く」との連携を図りながら、六十里越街道の価値の再認識、沿線地域住民への啓蒙を目的とした現地実践型の連携講座の開催を目指していく。

【参考・引用文献】

- 「山形県歴史の道調査報告書」六十里越街道 昭和 54 年度山形県教育委員会
- 「六十里越街道に関わる歴史と文化」六十里越街道文化研究会
- 「東北の街道」渡辺信夫監修
- 「六十里越街道の歴史」国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所ホームページ
- 「西村山教育事務所編 1964 年（昭和 39）刊」
- 「谷地大町念仏講帳」河北町誌編集資料編
- 「出羽三山と最上川が織りなす文化的景観」山形県世界遺産育成推進プラン提案書
- 「最上川の文化的景観」山形県世界遺産暫定一覧表記載資産候補の提案内容

資料編

資料 1：自然資源系の地域資源一覧表

域内の自然資源系の主な地域資源を、温泉、山・高原・渓谷等、川・湖沼等、海、花・公園、動・植物等、その他の7つに分類し、一覧表に整理してみると次のような資源がある。

表中の凡例 (国特)：国指定特別天然記念物
(国)：国指定天然記念物
(県)：県指定天然記念物

	温泉	山・高原・ 渓谷等	川・湖沼等	海	花・公園	動・植物等	その他
山形市	蔵王温泉・ 大露天風呂 黒沢温泉 大の目温泉	蔵王国定公園 蔵王山 (100名山) 千歳山 西蔵王高原 面白山紅葉 川渓谷 奥山寺遊仙 峡	馬見ヶ崎川 紅葉川渓谷 七滝 蔵王ダム 三本木沼 ドッコ沼	—	霞城公園・霞城 観桜会 馬見ヶ崎さくら ラインライトア ップ 西蔵王オオヤマ ザクラ 高瀬の紅花 西蔵王のそば畑 の花 面白山コスモス ベルグ 山形市野草園 花と緑のフラワー パーク花夢花夢	蔵王の高山植物 高沢の開山杉(県) 津金沢の大杉(県) 平清水のヒイラギ(県) ニホンカモシカ(国特) 山寺の蟬 (日本の音 100 選)	蔵王樹氷 蔵王の紅葉 山寺・紅葉 川渓谷の紅葉
鶴岡市	湯野浜温泉 湯田川温泉 あつみ温泉 由良温泉 湯の瀬温泉 かたくり温 泉 やまぶし温 泉 櫛引温泉 筍沢温泉 ぼっぼの湯	磐梯朝日国 立公園 湯殿山 羽黒山 月山 (100名山) 金峯山 摩耶山 青沢峡 梵字川渓谷	赤川 大山上池・ 下池 (ラムサール 条約登録湿地) 大鳥池 七ツ滝 四の滝 温海川ダム 荒沢ダム 泡滝ダム 月山ダム 左京淵ダム 西大鳥ダム 東大鳥ダム 八久和ダム 鏡池	白山島 立岩 弁天島	湯田川温泉梅林 公園 鶴岡公園 (日本さくら名所 100 選) 大山公園(桜) いこいの村庄内 のチューリップ 畑 櫛引地区の果樹 の花 あつみ温泉ばら 園 松ヶ岡水バショ ウ園 下田沢かたくり 園 藤の花まつり ブナ公園 (緑の回廊)	羽黒山の爺杉(国) 羽黒山の杉並木(国) 南谷のカスミサクラ(国) 熊野神社の大杉(国) 文下の大ケヤキ(国) 三瀬気比神社社叢(国) 早田の御葉付イチョウ(国) 山五十川の玉杉(国) 十文字開発記念樹 (クロベ)(県) 曹源寺のヒサカキ(県) 添川の根子杉(県) 大日坊皇壇の杉(県) 念珠の松庭園(県) 馬場町のタブの木 湯田川の乳イチョ(県) マルバシャリンバイ(県) 六十里越街道の千手ブナ ヤマネ(国) ニッポンユビナガコウ モリ(県) タキタロウ 善宝寺の人面魚 湯田川温泉郷のホタル	日本海に 沈む夕日 温海川ダ ム周辺の 紅葉 梵字川渓 谷の紅葉 羽黒山南 谷の蘚苔 と杉並木 (かおり風 景 100 選)
寒河江市	寒河江温泉 新寒河江温 泉	葉山 長岡山	最上川 寒河江川	—	フラワーロード (菜の花) 寒河江公園 (桜、つつじ)	白岩の種蒔桜(県)	

					さくらんぼ果樹園の花 二の堰親水公園 最上川ふるさと総合公園		
中山町	ひまわり温泉	—	最上川	—	最上川せせらぎ公園 国道112号沿いのひまわりロード	お達磨の桜（県） カブトエビ カブトムシ	
西川町	月山志津温泉郷 大井沢温泉 薬師温泉	磐梯朝日国立公園 朝日岳（100名山） 月山（100名山） 朝日連峰 風吹溪谷	月山湖（大噴水） 五色沼 長沼 大沼 寒河江川 寒河江ダム	—	山形県立自然博物館 長沼大沼森林公園 弓張平公園	幹回り日本一のクリ（巨木の会認定） ブナの原生林 ミズバショウ 山菜・きのこ ニホンカモシカ（国特）	水の郷百選（旧国土庁） 名水百選（環境省） 水源の森百選（林野庁） 月山花笠ラインの紅葉

資料2：社会資源系の地域資源一覧表

域内の社会資源系の主な地域資源を、文化遺産、産業施設、文化施設・観光施設、行・祭事・イベント、食・特産品、伝統芸能・工芸・人・他の7つに分類し、一覧表に整理してみると次のような資源がある。

表中の凡例 祭り・イベント：春：3～5月、夏：6～8月、秋：9～11月、冬12～2月
 (国史)：国指定史跡 (国名)：国指定名勝
 (国重)：国指定重要文化財 (国重民)：国指定重要民俗文化財
 (国無)：国指定重要無形民俗文化財 (国伝)：国指定伝統工芸品
 (県有)：県指定有形文化財 (県無)：県指定無形民俗文化財

	文化遺産	産業施設	文化施設 観光施設	レジャー スポーツ	行・祭事 イベント	食・ 特産品	伝統芸能・ 工芸・人・ 他
山形市	山形城跡 (国史) 専称寺 光禅寺 鳥海月山両所宮 国分寺薬師堂 唐松観音堂 山寺 (国名・国史) 根本中堂 (国重) 五大堂 文翔館 (旧県庁舎・ 県会議事堂： 国重) 山形市郷土館 (旧済生館本 館：国重) 教育資料館 (旧山形師範学 校本館：国重) 石造明神鳥居 (国重) 成沢八幡神社 石鳥居(国重) 旧松應寺観音 堂(国重) 丸八やたら漬 け本店 嶋遺跡(国史) 蔵座敷	丸八やたら漬 シベール ファクトリー パーク でん六 日本製乳 鈴木製粉 所 山形養蜂 場 太田米酢 造店 男山酒造 秀鳳酒造 場 寿虎屋酒 造	文翔館 山形県立博物 館 山形県教育資 料館 山形県産業科 学館 山形市郷土館 山形美術館 最上義光歴史 館 山形国際交流 プラザ 山寺芭蕉記念 館 山寺後藤美術 館 山寺秘宝館 山形県観光物 産会館 蔵王大露天風 呂 新左衛門の湯 源七露天の湯	蔵王温泉スキー 場(スキー・スノ ボード・パラグ ライダー・マウン テンバイク) 蔵王温泉盃湖 (カヌー) 西蔵王三本木沼 (ボート) スノーパーク面 白山 蔵王カントリー クラブ 西蔵王高原(ス ノーモービル) 西蔵王キャンプ 場 荒沼キャンプ場 古竜湖キャンプ 場 厚生年金休暇セ ンター屋内スケ ート場 山形市総合スポ ーツセンタース ケート場	【春】 霞城観桜会 薬師まつり植 木市 山寺日枝神社 山王祭 【夏】 山形紅花まつ り 鳥海月山両所 宮大祭 山形花笠まつ り 山形大花火大 会 【秋】 日本一の芋煮 会フェスティ バル 芋煮会 山形国際ドキ ュメンタリー 映画祭 豊烈神社例大 祭 【冬】 山形初市 蔵王樹氷まつ り	山形牛 西蔵王高原 大根 啓翁桜 もってのほか いも煮 そば 寒晒しそば 冷やしラー メン 玉コンニャク だし 山形舞子御膳 漬け物 稲花餅 地酒	山形鑄物 (国伝) 山形仏壇 (国伝) 平清水焼き 山形打刃物 山形こけし 松尾囃子 夜行念仏 やまがた舞子 最上義光 松尾芭蕉 三島通庸 奥山清行 (山形カロツ ェリア研究会) 高橋敬典 (山形鑄物・ 人間国宝) 菊地規泰 (山形鑄物) 丹羽良知 (平清水焼) 上林恒平 (刀匠) 嶋田文夫 (山形打刃物) 鈴木彦市 (そば粉)
鶴岡市	六十里越街道 庄内藩校致道 館(国史) 旧西田川郡役 所(国重) 松ヶ岡閑琴場	庄内農協 乳業本社 工場 渡會本店 出羽ノ雪 酒造資料	致道博物館 東田川文化記 念館 出羽三山歴史 博物館 黒川能の里	湯野浜海水浴場 加茂レインボー ビーチ 由良海水浴場 三瀬海水浴場 小波渡海水浴場	【春】 鶴岡雛物語 鶴岡公園桜ま つり 鶴岡天神祭	だだちゃ豆 庄内米 庄内柿 温海かぶ 民田なす 庄内砂丘メ	黒川能 (国無) 田麦俣田植 踊 高寺八講 山戸能・山五

	(国史) 三神合祭殿 羽黒山五重塔 (国宝) 羽黒山正善院 黄金堂(国重) 善宝寺 注連寺 大日坊 旧風間家住宅 (国重) 旧渋谷家住宅 (国重) 多層民家(県有形) 水上八幡神社 本殿(国重) 鶴岡カトリック教会天主堂 (国重) 金峯山・金峯神社(国名) 小国城跡 (国史) 玉川寺庭園 (国名) 酒井氏庭園 (国名)	館 月山ワイン山ぶどう研究所 漬物処本長	「王祇会館」 いでは文化記念館 加茂水族館 出羽ノ雪酒造資料館 タキタロウ館 庄内観光物産館 道の駅月山 (月山あさひ博物村) 道の駅あつみ ぽっぽの湯 やまぶし温泉 ゆぽか 櫛引温泉 ゆ〜Town 庄内おばこの里こまぎ	マリンパークねずがせき 海の釣り堀センター 由良海洋釣堀 鼠ヶ関マリーナ 県民の海スパール パラグライダー (由良海岸・八森山スキー場) ウィンドサーフィン・ボディーボード (湯野浜海岸、宮沢、由良海岸、三瀬海岸) 湯殿山スキー場 羽黒山スキー場 たらのきだいスキー場 小真木原スケート場 月山ハーモニーパーク 月山あさひサンチュアパーク 鼠ヶ関オートキャンプ場 タキタロウ公園 オートキャンプ場 大鳥少年の家 オートキャンプ場 由良キャンプ場 三瀬キャンプ場 軽井沢ケヤキの森 金峰少年自然の家 羽黒山キャンプ場 朝日カントリークラブ 湯野浜カントリークラブ	【夏】 大山犬まつり 赤川花火大会 荘内大祭 【秋】 月山ワインまつり 関川しな織まつり 庄内あさひ新そばまつり 【冬】 羽黒山松例祭 日本海寒鱈まつり 黒川能王祇祭 鶴岡音楽祭 大山新酒・酒蔵まつり 金峯山雪灯籠祭	ロン ブルーベリー 月山筍 アスパラガス サクラマス 天然岩牡蠣 岩のり 庄内すし海廊 庄内豚 やまがた地鶏 どんがら汁 孟宗汁 庄内芋煮汁 宿坊の精進料理 なんぜんじ 豆腐 弁慶めし 麦切り むきそば 漬け物 地酒 山ぶどうワイン からから煎餅	十川歌舞伎 (県無) 藤島の獅子踊り・神楽 大日坊・注連寺・南岳寺の即身仏 タキタロウ 絵ろうそく いつめこ人形 羽越しな布 (国伝) 御殿まり 庄内竿 松の勧進の法螺貝 (日本の音100選) 松尾芭蕉 藤沢周平 (小説家) 森敦 (小説家) 野尻 智 (関川しな織り) 渋谷國男 (やまがた地鶏) 奥田政行・太田政宏・古庄 浩 (食の親善大使)
寒河江市	六十里越街道 本山慈恩寺本堂(国重) 寒河江市郷土館 (旧西村山郡役所・郡会議事堂：県有)	住吉屋食品	道の駅寒河江 チェリーランド 寒河江花咲か温泉ゆ〜チェリー	寒河江スケートパーク (スケートボード) 葉山キャンプ場 いこいの森キャンプ場	【春】 御塞神祭 慈恩寺例祭 つつじまつり 【夏】 さくらんぼ祭り 花咲かフェア IN さがえ 【秋】 寒河江祭り 【冬】 初市 (だんご木市)	さくらんぼ バラ つるり里芋 葉山高原大根 葉山高原辛味大根 もってのほか ひっぱりうどん 玉コンニャク だし 地酒 チェリーワイン	慈恩寺舞楽 (国無) 平塩舞楽 (県無) 日和田弥重郎 花笠田植踊 寒河江焼 金谷鯉のぼり 伝統こけし 工藤順一 (観光カリスマ)

中山町	岩谷十八夜観音堂 (国重民) 柏倉九左エ門家住宅 (県有)	—	おしん生家撮影地 ひまわり温泉 ゆ・ら・ら	山形県野球場 (東北楽天ゴールデンイーグルス2軍ホームグラウンド)	【春】 中山町ひな祭り	ブラムりんご さくらんぼ 元祖いも煮 ひっぱりうどん 玉コンニャク だし すももワイン	小塩御福田 田植踊 達磨寺田植踊 土橋獅子踊
					【夏】 夏の高校野球 山形県大会 全国かぶと虫相撲大会 岩谷十八夜観音例大祭		
					【秋】 山形県農業まつり農機ショー 元祖 中山いも煮会 中山町産業まつり		
					—		
西川町	六十里越街道 月山出羽湯殿山三神社社殿 (旧日月寺本堂：国重)	月山自然水・地ビール月山工場 虎屋西川工場	山形県立自然博物館 (ネーチャーセンター) 丸山薫記念館 月山の酒蔵資料館 月山湖「水の文化館」 自然と匠の伝承館 道の駅にしかわ 水沢温泉館 大井沢温泉ゆったり館 大井沢自然博物館 おしん幼少期撮影地	月山登山 朝日登山 月山夏スキー 寒河江ダムスポーツ広場 月山弓張平運動公園 大井沢キャンプ場 月山弓張平オートキャンプ場 志津キャンプ場 月山トレッキング カヌー(月山湖、長沼、寒河江川) ラフティング(寒河江川)	—	天然山菜 天然きのこ 月山筍 山形牛 (西川牛) 白い発芽胚芽米「月山まんま」 山菜料理 月山山菜そば ひっぱりうどん 玉コンニャク だし 月山自然水 地ビール月山 月山山麓ワイン 地酒 漬け物	岩根沢太々神楽 山の神おんび 月山和紙 丸山薫(詩人) 佐藤邦治(山菜料理) 三浦一之(月山和紙)
					【夏】 月山湖夏まつり		
					【秋】 大井沢旅館民宿・きのこまつり 西川菊まつり		
					【冬】 大井沢雪まつり		

資料3：域内の主な体験メニュー

本地域内の各市町では、次のような体験メニューが実施されている。

	体験メニュー	内容	予約	体験可能時期	体験場所	受入可能人数	所要時間	料金	申込み先	インストラクター	備考
山形市	蔵王コマクサトレッキング	主峰熊野岳、エメラルドグリーンのお釜や可憐なコマクサの花をはじめ、湖沼や溪谷等見どころがいっぱいの蔵王をトレッキングで楽しむ	要	7月	蔵王連峰	1～20人	6時間30分	3,500円 子供1,800円	蔵王温泉観光協会	蔵王山岳インストラクター協会	宿泊可
	蔵王ブナ原生林と湖沼めぐりトレッキング	中央高原には沼が多く、原生林と沼が織りなす神秘的な雰囲気を楽しむトレッキングで楽しむ	要	7月	〃	〃	〃	2,900円 子供1,500円	〃	〃	〃
	蔵王お釜・地蔵錦秋トレッキング	熊野岳、お釜、湿地帯の草紅葉と樹齢数百年の老松を巡るトレッキング	要	10月上～中の指定日	〃	2人～	6時間	3,500円 子供1,800円	〃	〃	〃
	蔵王中央高原錦秋トレッキング	ブナとダケカンパの原生林や湖沼を眺めながら巡りながら紅葉を楽しむトレッキング	要	〃	〃	〃	5時間	2,800円 子供1,500円	〃	〃	〃
	蔵王輪かんじきトレッキング	熟練の蔵王山岳インストラクターのガイドを受けながら、幻想的な樹氷地帯や日の光りに透ける霧氷の林を散策する。樹氷原探索コース、中央高原霧氷原コース、ふもと唐松コースの3コースから体力に応じて選ぶ	要	2～3月	〃	〃	4時間	5,000円 輪かんじき・ストックレンタル代各500円 ロープウェイ・リフト・昼食代別途	〃	〃	〃
	蔵王樹氷鑑賞	蔵王の冬のシンボル樹氷を鑑賞する。ライトアップされた夜の風景は幻想的	不要	12月下旬～3月上	蔵王樹氷原	1人～	1時間30分	2,500円 子供1,250円	蔵王ロープウェイ	—	〃
	野草園ガイドウォーキング	担当職員またはボランティアスタッフの植物の解説を受けながら、野草に対する知識を深める	不要	4～11月第2・4日曜	山形市野草園	〃	〃	入園料300円 小中学生100円	山形市野草園	山形市野草園	日帰り
	ホテル観察会	初夏の風物詩、夕闇の中に浮かび上がる幻想的な光を放つホテルを観察する	要	6月末～7月初金・土・日曜	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

四季観察会	四季折々の野草が群生し、600種類の野草を観察することができる	不要	約2ヶ月毎の指定日	山形市野草園	80人	1時間30分	入園料 300円 小中学生 100円	山形市野草園	山形市野草園	日帰り
森林体験・環境学習	森林生態系等に関する体験学習を通し、自然保護、地球温暖化防止、森林について学ぶ	要	通年	応談	応談	応談	10,000円程度	山形県森林インストラクター協議会	山形県森林インストラクター協議会	//
リサイクルによる環境学習	菜の花追肥・菜の花刈り取り・菜の花天日干し・田植・田の除草等の農作業体験や、石けん炊き込み、バイオディーゼル精製体験を通して環境保全を学ぶ	要	//	山館八森地区	//	//	資料代 実費	NPO法人知音	NPO法人知音	//
梅の体験農業	手入れから収穫まで自由に体験できる	要	要確認	めいじオーナーパル果樹農園	—	—	1kg 400円	めいじオーナーパル果樹農園	めいじオーナーパル果樹農園	//
さくらんぼ狩り	初夏の味覚、山形名物の「赤い宝石」と呼ばれるさくらんぼ狩りを思う存分満喫する（食べ放題）	不要	6月～7月中	//	—	1時間	1,200円 子供 500円	//	//	//
//	//	不要	//	山寺観光果樹園	—	//	2,000円 お買い物券 500円付 幼児 600円	山寺観光果樹園	山寺観光果樹園	//
//	//	不要	//	うぐいすの宿観光果樹園	—	//	小学生以上 1,200円 3歳以上 600円	うぐいすの宿観光果樹園	うぐいすの宿観光果樹園	//
さくらんぼ狩り	初夏の味覚、山形名物の「赤い宝石」と呼ばれるさくらんぼ狩りを思う存分満喫する	要	6月～7月中	山田果樹園	—	//	1,200円 子供 800円 予約なし 200円増	山田果樹園	山田果樹園	//
//	//	不要	//	喜三郎さくらんぼ狩園	—	40分	1,200円	喜三郎さくらんぼ狩園	喜三郎さくらんぼ狩園	//
//	//	不要	//	めいじオーナーパル果樹農園	—	1時間	1,200円 子供 500円	めいじオーナーパル果樹農園	めいじオーナーパル果樹農園	//
//	//	不要	//	ふる里サクランボ園大曽根	—	//	1,000円 小学生以下 500円	ふる里サクランボ園大曽根	ふる里サクランボ園大曽根	//

さくらんぼ狩り	初夏の味覚、山形名物の「赤い宝石」と呼ばれるさくらんぼ狩りを思う存分満喫する	不要	6月～7月中	花夢花夢果樹園	—	1時間	1,500円 小学生 1,200円 3歳以上 700円	花夢花夢果樹園	花夢花夢果樹園	日帰り
〃	〃	不要	〃	やまや園ピザリア	—	時間制限なし	1,500円	やまや園ピザリア	やまや園ピザリア	〃
〃	〃	要	〃	小笠原果樹園	要確認	〃	1,000円 小学生未満 500円	小笠原果樹園	小笠原果樹園	〃
〃	〃	不要	〃	いなり果樹園	—	〃	1,200円 子供 600円	いなり果樹園	いなり果樹園	〃
ぶどう狩り	たわわに実ったぶどう狩りを体験し、味わう（食べ放題）	不要	9月～10月中	うぐいすの宿観光果樹園	—	1時間	小学生以上 800円 3歳以上 400円	うぐいすの宿観光果樹園	うぐいすの宿観光果樹園	〃
〃	〃	要	7月下旬～8月下旬	こんのぶどう園	—	〃	500円～ 1,000円	こんのぶどう園	こんのぶどう園	〃
〃	〃	要	〃	山田果樹園	—	〃	600円 子供 400円 予約なし 200円増	山田果樹園	山田果樹園	〃
りんご狩り	真っ赤に実ったりんご狩りを体験する（食べ放題）	要	9月～10月中	〃	—	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	不要	〃	やまや園ピザリア	—	時間制限なし	500円	やまや園ピザリア	やまや園ピザリア	〃
ラズベリー狩り	鉄分やビタミンCを多く含んでいるラズベリー狩りを体験する	不要	〃	〃	—	〃	300円 1パック付	〃	〃	〃
さつまいもの体験農業	手入れから収穫まで自由に体験できる	要	要確認	めいじオーナーパル果樹農園	要確認	要確認	ハケツ1杯 500円	めいじオーナーパル果樹農園	めいじオーナーパル果樹農園	〃
季節の野菜の収穫体験	季節の野菜を収穫体験する	要	5～10月	スローライフ農家峯田	3～10人	〃	500円	スローライフ農家峯田	スローライフ農家峯田	〃
田植え体験	のさわやかな空気の中で、田植えを体験する	要	5月	〃	〃	〃	500円	〃	〃	〃
そば打ち体験	プロの指導とプロの道具で本格そば打ちを体験する。打ちたて、茹でたてを4～5人のグループで試食こともできる（応談）	要	要確認	そば道場・樂趣庵	2～21人	2時間	3,300円 （5人前）	山形一寸亭	そば道場・樂趣庵	〃
そば粉石臼ひき体験	手ひき石臼で、蕎麦の実から粉ひきを体験する	不要	通年	鈴木製粉所石臼館	6基	30分	1合 200円～	鈴木製粉所	鈴木製粉所	〃

そばがき づくり体 験	懐かしくて新しい味 「そばがき」を自分で つくって味わう	要	月・水 ・金・ 土曜 冬期間 は休み	蔵王オ ーベル ジュ樹 氷	2人～	20分	1,000円	蔵王オ ーベル ジュ樹 氷	—	日帰 り
秋の風物 詩「いも 煮会」体 験	山形の秋の風物詩「い も煮会」を河川敷で体 験する。「農山漁村の郷 土料理百選」で全国第 1位に選ばれた「いも 煮」を味わう	要	9～10 月	馬見ヶ 崎川河 川敷 西公園 いも煮 広場他	要確認	//	1,500円 ～ 要確認	黒木酒 店 市内ス ーパー マーケ ット	—	//
//	//	要	//	面白山 高原	//	//	1,300円 ～	こがね 荘 藤花山 荘	—	宿泊 可
//	// 馬見ヶ崎コース： 漬物・果物付 唐松コース： 漬物・果物・おむす び付 蔵王コース： 漬物・果物・おむす び、にじます塩焼・ おつまみ・地酒又は ビール付	要	//	馬見ヶ 崎川河 川敷 唐松、 蔵王	200人 まで	//	馬見ヶ崎 コース 1,580円 唐松コース 1,900円 蔵王コース 3,000円	カワサ キヤ	—	日帰 り
料理づく り体験	豆腐づくり、餅つき、 梅の加工等を体験する	要	通年	スロー ライフ 農家峯 田	3～ 10人	要確認	1,000円	スロー ライフ 農家峯 田	スロー ライフ 農家峯 田	//
ステンド グラスづ くり体験	光と色がつくり出す世 界に一つだけの美しい オリジナル・ステンド グラスづくりを体験す る	要	第1・ 3木曜	ウノグ ラスス テンド グラス 工房	要確認	2～3 時間	Aキッド 3,500円 Bキッド 5,000円	ウノグ ラスス テンド グラス 工房	ウノグ ラスス テンド グラス 工房	//
平清水焼 陶芸体験	素朴な風合いが人気の 平清水焼きを、手回し ロクロを使って制作体 験をする（焼き上がり は約1ヶ月後） 絵付は素焼きの皿等に 描彩する（焼き上がり 約2週間後）	要	通年	七右エ 門窯	1～ 360人	1時間 30分	粘土 900円～ 絵付 800円～ 送料別	七右エ 門窯	七右エ 門窯	//
//	実技指導を受けなが ら、平清水焼の粘土を 使った湯飲み、菓子鉢、 茶碗等の制作を体験す る（焼き上がり1～2 ヶ月後）	要	//	平吉窯	1～ 100人	2時間	2,500円 小学生 1,300円	平吉窯	平吉窯	//
//	// （焼き上がり1ヶ月半 後）	要	//	青龍窯	要確認	手びね り体験 1時間	粘土1kg 1,800円 子供 1,500円 送料別途	青龍窯	青龍窯	//

山寺焼 陶芸体験	「さくらんぼ」の樹木を灰にした釉薬を使った山寺焼きを、ロクロを使って花瓶や茶碗、皿等の制作を体験する（焼き上がり約1ヶ月後）	要	通年	与平衛窯	要確認	2時間	1,700円	与平衛窯	与平衛窯	日帰り
オカリナ づくり体験 (平清水焼)	粘土を石膏型にはめて形をつくり、オリジナルのオカリナづくりを体験する	要	//	七右エ門窯	1～360人	1時間 30分	1,600円 ～ 送料別	七右エ門窯	七右エ門窯	//
山形鋳物 づくり体験	国指定伝統工芸品に指定されている山形鋳物づくりを体験する。 1回目：発泡スチロール原型製作 2回目：仕上・着色	要	//	遊工房	5～30人	2時間 2回	5,000円	月山堂	月山堂	//
こけしの 絵付け体験	繊細で愛らしい顔で人気がある山形こけしの絵付けを体験する	不要	// 団体は 要予約	やまがた伝統こけし館	先着 20人	30分	300円	やまがた伝統こけし館	やまがた伝統こけし館	//
//	//	不要	//	蔵王温泉田中こけし店	先着 15人	//	1,050円	蔵王温泉田中こけし店	蔵王温泉田中こけし店	//
//	//	要	4～11月	石山こけし店	20人 まで	//	500円	石山こけし店	石山こけし店	//
蔵王温泉 湯めぐり こけし	加盟旅館 35 軒の内、お好きな3軒での温泉入浴と、ミニこけしの絵付け体験ができる	不要	通年	蔵王温泉田中こけし店 センタープラザ	—	//	1,050円 絵付け代 200円	蔵王温泉観光協会	蔵王温泉田中こけし店 センタープラザ	宿泊可
七宝焼き 体験	七宝焼きのオリジナル作品をつくる	要	毎週土曜4回	荘内屋	1回4人 まで	1時間	1,200円 材料費込	荘内屋	荘内屋	日帰り
山寺座禅 体験	松尾芭蕉ゆかりの地、山寺の別名をもつ宝珠山立石寺で、僧侶の法話を聴き、座禅を体験する	要	通年	立石寺本坊	10～120人	1時間 30分	拝観料 300円 1坐 10,000円	立石寺本坊	立石寺僧侶	//
マウンテンバイク 体験	蔵王は広大で多彩なマウンテンバイクエリアとしても有名。爽快にライディングが楽しめる。ロープウェイ、ケーブルにも乗車可能	要	要確認	蔵王地区	要確認	2時間 半日 1日	1,000円 1,500円 2,000円 ロープウェイ料金 別途	蔵王ロープウェイ	—	//
//	//	要	7～10月	//	//	3時間 1日	500円 1,000円 ロープウェイ料金 別途	蔵王中央ロープウェイ	—	//
//	//	要	6月～10月中	//	//	3時間	500円 ロープウェイ料金 別途	蔵王スカイケーブル	—	//

魚 釣 り 体験	ニジマス釣りを楽しむことができる	不要	4月中 ～11月	蔵王釣堀	—	要確認	1 kg 1,400 円	蔵王釣堀	—	日帰り
〃	ヤマメ釣りを楽しむことができる	不要	通年	関沢釣堀	—	〃	1 kg 1,600 円	関沢釣堀	—	〃
〃	ニジマス釣りを楽しむことができる	不要	〃	ホテル 新山釣堀	—	〃	〃	ホテル 新山釣堀	—	宿泊可
〃	【その他の釣り堀】（要確認） 青柳つり堀、岩ノ沢釣り堀さくらの里、太平つり堀、溪流釣り笹谷峠、笹谷高原荘、常明寺釣堀センター、田端つり堀、バイパスつり堀、バイパス釣堀、山形へら鮒センター千石の池 等									
カヌースクール	蔵王温泉街の近く盃湖で、カヌーのレッスンを受けることができる	要	5～10月	蔵王温泉盃湖	要確認	半日 1日	3,500 円 子供 3,000 円 6,500 円 子供 5,500 円	山形カヌースクール	山形カヌースクール	宿泊可
乗馬体験	山形市の郊外にあるのどかな田園風景と緑の山々に囲まれた環境の中で、乗馬を体験する	要	通年	山形馬事センター	1人～	10分 30分 1回 3回	引き馬 1,000 円 体験乗馬 5,000 円 10,000 円	山形馬事センター	山形馬事センター	日帰り
パラグライダースクール	大空を散歩したいという願いを叶えることができるパラグライダーを体験する	要	グリーンシーズン	蔵王温泉スキー場上の台ゲレンデ	〃	半日 1日	6,000 円 10,000 円	エクステンパパラグライダースクール	エクステンパパラグライダースクール	宿泊可
フリークライミング体験	安全確保器以外の道具に頼らず、自分の手と足だけで人工壁を登る室内フリークライミングを体験する	不要	通年	フリークライミングジム・デッドポイント	〃	1日	1,600 円 大学生 1,500 円 高校生 1,300 円 中学生以下 1,000 円	フリークライミングジム・デッドポイント	フリークライミングジム・デッドポイント	〃
蔵王温泉スキー場でスキー体験	【蔵王ハイムスキースクール・ロッヂ蔵王スキースクール】インストラクターの指導の下、レベルに応じてスキーレッスンを受けることができる	不要	12～4月 団体は要予約	蔵王温泉スキー場内	1人～ 応談	1日 半日 1日 半日	一般レッスン 4,000 円 3,000 円 団体レッスン 22,000 円 15,000 円	ロッヂ蔵王スキースクール	蔵王ハイムスキースクール・ロッヂ蔵王スキースクール	宿泊可
〃	【蔵王グランドスキースクール】 〃	不要	〃	〃	〃	要確認	要確認	あきば国際蔵王高原ホテル蔵王パラダイスロッヂ	蔵王グランドスキースクール	〃

蔵王温泉 スキー場 でスキー 体験	【ZAO ユートピアスキー スクール】 インストラクターの指 導の下、レベルに応じ てスキーレッスンを受 けることができる	不 要	//	//	//	1日 半日 1日 半日	一般レッスン 4,700円 3,000円 団体レッスン 25,000円 18,000円	横倉ス キーセ ンター	ZAO ユート ピアス キー スクール	宿泊 可
//	【オーストリアスキー教 室】 //	要	//	//	要確認	要確認	2泊3日 レッスン 要確認	蔵王ア ストリ アホテル	オース トリア スキー 教室	宿泊
蔵王温泉 スキー場 でスキー &スノー ボード体 験	【ライツァイトシーシュ ーレ・蔵王スノーボードス クール】 インストラクターの指 導の下、レベルに応じ てスキーやスノーボ ードのレッスンを受ける ことができる	不 要	//	//	1人～ 応談	スキー 4時間 2時間 4時間 2時間 スノー ボード 4時間 2時間	一般レッスン 4,900円 3,100円 グループ レッスン 24,000円 17,000円 一般レッスン 5,000円 3,500円 グループ レッスン 28,500円 25,000円	ZAO センタ ープラ ザ	蔵王ス ノーボ ードス クール	宿泊 可
//	【蔵王スキー学校】 //	不 要	//	//	//	スキー 1日 半日 1日 半日 スノー ボード 1日 半日	一般レッスン 4,000円 3,000円 団体レッスン 22,000円 15,000円 一般レッスン 5,000円 3,500円	ジュピ ア	蔵王ス キー学 校	//
蔵王温泉 スキー場 でスキー &スノー ボード体 験	【ZAO フライツァイトシー シューレ】 インストラクターの指 導の下、レベルに応じ てスキーやスノーボ ードのレッスンを受ける ことができる	不 要	12～4 月 団体は 要予約	蔵王温 泉スキ ー場内	1人～ 応談	スキー 1日 半日 1日 半日 スノー ボード 1日 半日	一般レッスン 4,500円 3,500円 団体レッスン 29,000円 23,000円 一般レッスン 4,700円 3,000円	ホテル 蔵王	ZAO フライ ツァイト シー シュ ーレ	宿泊 可
西蔵王高 原でスノ ーモービ ル体験	西蔵王高原の壮大な冬 の大自然の中で、スノ ーモービルを体験す る。 ナイトツアーでは、西 蔵王から市街地の夜景 を一望する。満点の星 空は感動的	要	12月下 ～ 3月下	西蔵王 高原	25人 まで	2時間 蕎麦ツ アー 5時間 ナイト ツアー 5時間	5,500円 10,000円 昼食付 ライセンス 取得者 7,500円 ライセン ス取得者 ・宿泊者	ログハ ウス三 百坊	西蔵王 高原ス ノーモ ービル スクール	//

やまがた体験学習（小・中・高校生対象）										
蔵王でスキー教室にチャレンジ！	蔵王で「樹氷」を間近に眺めながらスキーの楽しさを体験する。スキーに参加できない人も、輪かんじきを製作したり、樹氷原トレッキングを楽しむこともできる	要	12月下旬～3月	蔵王温泉スキー場	300人まで 宿泊施設1ヶ所 当り	2泊3日 3時間以上	応談 36,880円程度 費用内訳は下記参照	蔵王温泉観光協会	インストラクター指導	宿泊
主な体験メニュー 【スキー・スノーボード体験】 1人～、午前2時間、午後2時間（インストラクター付） 【かんじきトレッキング体験】 2～3月、150人まで、1時間～（インストラクター付） 【こけし・陶芸絵付け体験】 1人～、1時間～1時間30分 【樹氷鑑賞】 12月下旬～3月上旬、1人～、1時間30分 【費用内訳】 蔵王ペンション村または蔵王温泉旅館2泊4食 14,700円～（宿泊施設によって料金が変動）昼食1回 630円、リフト代（2泊3日券）7,000円、インストラクター（2日）5,600円、スキーウェアレンタル 7,900円、こけし絵付けまたは陶芸体験 1,050円										
体験メニュー	内容	予約	体験可能時期	体験場所	受入可能人数	所要時間	料金	申込み先	インストラクター	備考
鶴岡市 六十里越街道トレッキング	歴史、新緑や紅葉の探訪、写真撮影、山菜・ソバ・きのこ等の旬の料理を味わう等、様々なテーマで、六十里越街道を歩くイベントが、30回ほど開催	要	4～11月	朝日地区六十里越街道	要確認	プログラム毎の所要時間	3,500円～ 15,000円	あさひむら観光協会	あさひむら観光協会	日帰りまたは宿泊
〃	街道案内ボランティアのガイドを受けながら、千二百年の歴史の道・六十里越街道をトレッキングで楽しむ	要	〃	〃	10人～	要確認	ガイド料 13,000円	〃	街道案内ボランティア山船頭人	〃
月山8合目トレッキング（中級コース）	出羽三山の主峰月山の動植物をはじめ、豊かな自然、歴史のガイドを受けながらトレッキングを楽しむ（約5km）	要	要確認	羽黒地区月山羽黒口	要確認	5時間30分	九合目まで10,000円 山頂まで15,000円 湯殿山・姥沢まで15,000円 ＋交通費	月山ビジターセンター	月山ビジターセンターパークボランティア	日帰り
羽黒山ガイド登山	出羽三山のなかでも山伏が修行する山として知られる羽黒山の石段をガイドを受けながら登る	要	通年	羽黒地区羽黒山	〃	30分 1時間 15分 2時間	五重塔コース 1,500円 五重塔バス山頂コース 3,000円 五重塔石段山頂コース 5,000円	いでは文化記念館	いでは文化記念館パークボランティア	〃

湯野浜海岸 ノルディックウォーキング	指導員による正しい歩き方のアドバイスを受けながら、日本三大砂丘のひとつ庄内砂浜や黒松林をストックを使って歩く	要	通年	鶴岡地区 湯野浜	—	1時間 30分 3時間	1,000円 ～	湯野浜 温泉観光協会	湯野浜 温泉観光協会	宿泊 可
湯殿山の雪原を歩くスノーシューティング	地元のマタギのガイドを受けながら大雪原をハイキングする。天気が良ければ眺めは格別	要	3月 土・日 曜	朝日地区 湯殿山 スキー場上部	20人	2時間	3,000円	湯殿山 スキー場	地元の マタギ	//
月山カブトムシ園	生息環境を再現した敷地に、カブトムシを放虫し、カブトムシにさわったり、観察したりしながら学習する	不要	7月中 ～ 8月中	朝日地区 月山あ さひ博物村	—	営業 時間内	500円 子供 350円 幼児 100円	月山あ さひ博物村	月山あ さひ博物村	日帰 り
自然学習 ・体験	フィールドワークや実験・ゲームを通じ、自然環境や命の尊さ、協調性を学ぶ	要	随時	温海地区 小国周 辺	要確認	2時間 30分	無料	NPO 法人庄 内エコ ・ブラ ンニン グ	NPO 法人庄 内エコ ・ブラ ンニン グ	//
自然観察 ・学習	小学校の廃校後利用した「小国ふるさとふれあい村楯山荘」を拠点に、周辺での昆虫採集、自然観察、水草による発電装置の見学、森林浴等を楽しむ	要	要確認	温海地区 小国周 辺	70人 まで	要確認	要確認 宿泊費 1,800円 高校生 1,500円 小中学生 1,300円 (食事別)	小国ふる さとふれ あい村楯 山荘	小国ふる さとふれ あい村楯 山荘	宿泊 可
自然体験 「森の人」 講座	夜光虫観察会、森の散策、カミネッコンによる森づくり、クラフト、カヌー等の体験の他、「森の人」講座で自然との共生を学ぶ	要	//	鶴岡地区 三瀬周 辺	プログ ラム毎 の定員	プログ ラム毎 の所要 時間	プログラ ム毎の料 金	つるお かユース ホステル	つるお かユース ホステル	//
自然環境 学習・体験	バードウォッチング、野草クッキング、磯の不思議観察会、星空観察会、ホワイティング等、交流しながら自然を体験する	要	定期開 催	羽黒地区	要確認	要確認	材料代	創造の 森交流 館	創造の 森交流 館	日帰 り
わんぱく 自然塾	金峰母狩縦走登山、海辺でキャンプ、沢登り、イグルーづくり等、春・夏・秋・冬の四季を体感する	要	// 年4回	鶴岡地区 周辺	要確認 小4～ 中学生	//	要確認	金峰少 年自然 の家	金峰少 年自然 の家	宿泊
サタデー あそびの 王国	季節感のある体験あそび(自然散策・川遊び・いかだ航海・雪あそび)や自然素材クラフト、金峰登山等を体験する	要	定期開 催年6 回	//	要確認 幼児・ 小中学生 ・その家族	//	300円 幼児 100円	//	//	宿泊 可

金峰少年 自然の家 の各種体 験	オリエンテーリング、 冒険ハイキング、ヨッ ト、いかだづくり、潮 風キャンプ、金峯山登 山、水生生物観察、か んじきハイキング、魚 拓づくり、自然素材を 使った各種クラフト、 そば打ち、餅つき、い も煮、アイスクリーム づくり等の他、要望に 応じた体験が可能	要	応談	鶴岡地区 周辺	応談	応談	応談	金峰少 年自然 の家	金峰少 年自然 の家	宿泊 可
孟宗掘り 体験	その柔らかさと風味で 高い評価を得ているの が湯田川地区で採れる 孟宗筍掘りを体験する (湯田川温泉宿泊者限 定)	要	5月	鶴岡地区 湯田川 温泉の 竹林	宿泊者	1時間	500円 収穫した 筍は2割 引で販売	湯田川 温泉観 光協会	湯田川 孟宗部 会	宿泊
さくらん ぼ狩り	初夏の味覚、山形名物 の「赤い宝石」と呼ば れるさくらんぼ狩りを 思う存分満喫する (食べ放題)	要	6月～ 7月上	楡引地区 農家民 宿佐藤 三右衛 門	要確認	要確認	1,000～ 1,500円	グリー ンツー リズム ネット ワーク 庄内	農家民 宿 佐藤三 右衛門	//
//	//	不要	// 10人 以上要 予約	楡引地区 加盟農 家	1～ 300人	30分 ～ 1時間	1,200円 小学生未満 600円	西片屋 さくら んぼ振 興会	西片屋 さくら んぼ振 興会	//
//	//	不要	// 10人 以上要 予約	楡引地区 鈴木さ くらん ぼ園	//	要確認	//	鈴木さ くらん ぼ園	鈴木さ くらん ぼ園	日帰 り
//	//	要	//	楡引地区 安野り んご園	1～ 500 人	1時間	//	安野り んご園	安野り んご園	//
//	//	要	//	羽黒地区 くにち ゃん農 園	//	//	//	くにち ゃん農 園	くにち ゃん農 園	//
さくらん ぼ狩り	初夏の味覚、山形名物 の「赤い宝石」と呼ば れるさくらんぼ狩りを 思う存分満喫する (食べ放題)	要	6月～ 7月上	羽黒地区 出羽庄 内特産	要確認	要確認	1,000円 小学生以下 800円	出羽庄 内特産	出羽庄 内特産	日帰 り
//	//	要	//	楡引地区 鈴木農 園	//	//	//	鈴木農 園	鈴木農 園	//
//	//	不要	// 20人 以上 要予約	楡引地区 佐久間 利兵衛 観光農 園	//	//	//	佐久間 利兵衛 観光農 園	佐久間 利兵衛 観光農 園	//

さくらんぼ狩り	初夏の味覚、山形名物の「赤い宝石」と呼ばれるさくらんぼ狩りを思う存分満喫する（食べ放題）	要	6月～7月上旬 20人以上 要予約	楡引地区 くしびき西 荒屋観光 果樹村	要確認	要確認	1,000円 小学生未満 500円	くしびき西 荒屋観光 果樹村	くしびき西 荒屋観光 果樹村	日帰り
〃	〃	不要	〃 10人以上 要予約	楡引地区 佐久間 農園	〃	〃	〃	佐久間 農園	佐久間 農園	〃
〃	〃	不要	〃 10人以上 要予約	楡引地区 くどう 農園	1～100人	30分～ 1時間	〃	くどう 農園	くどう 農園	〃
〃	〃	要	〃	楡引地区 長南農 園	要確認	要確認	1,000円 小学生未満 500円	長南農 園	長南農 園	〃
〃	〃	要	〃	羽黒地区 榎久農 園	〃	〃	要確認	榎久農 園	榎久農 園	〃
〃	〃	要	〃	楡引地区 加盟農 家	〃	〃	〃	産直あ ぐり	加盟農 家	〃
庄内砂丘 メロン食 べ放題& 収穫体験	日本有数のメロン大産地で、特産品の庄内砂丘メロンを収穫体験したり、食べ放題で思う存分味わう	要	7月	鶴岡地区 加盟農 家	収穫体 験 10人～ 食べ放 題 2人～	無制限	収穫体験 1,500円 メロン1個 試食付 食べ放題 1,200円 メロン1個付 1,500円	JA 鶴 岡	JA 鶴 岡	〃
ブルーベ リーの収 穫体験	さわやかな風の中で育ったブルーベリーの収穫を体験し、味わう（食べ放題）	要	7～8月	羽黒地区 加盟農 家	最大 100人	〃	800円 小学生以下 500円 収穫した ものは安 価で持ち 帰り可	JA 庄 内たが わ羽黒 支所	受入農 家	〃
〃	〃	要	〃	羽黒地区 斎藤農 園	要確認	要確認	800円 小学生以下 500円 お土産付	斎藤農 園	斎藤農 園	〃
ブルーベ リーの収 穫体験	さわやかな風の中で育ったブルーベリーの収穫を体験し、味わう（食べ放題）	要	7～8月	羽黒地区 鈴木農 園	〃	〃	800円 小学生以下 500円 お土産付	鈴木農 園	鈴木農 園	〃
〃	〃	要	〃	羽黒地区 くにち ゃん農 園	〃	〃	800円 小学生以下 500円	くにち ゃん農 園	くにち ゃん農 園	〃
〃	〃	要	〃	鶴岡地区 大成農 産	〃	〃	800円 小2以下 600円	大成農 産	大成農 産	〃
〃	〃	要	〃	羽黒地区 榎久農 園	〃	〃	要確認	榎久農 園	榎久農 園	〃

だだちゃ豆の栽培体験と収穫体験	鶴岡を代表する特産の枝豆「だだちゃ豆」の栽培体験と収穫を体験する	要	8月	鶴岡地区 鶴岡グリーンファーム	要確認	要確認	7,000円 1泊2泊 土産付	鶴岡グリーンファーム	鶴岡グリーンファーム	宿泊
だだちゃ豆収穫体験	鶴岡を代表する特産の枝豆「だだちゃ豆」の収穫を体験する	要	//	鶴岡地区 菱里産直センター ヴィリジ	//	//	3,000円 お土産付	グリーンツーリズム ネットワーク 庄内	菱里産直センター ヴィリジ	宿泊可
//	//	要	//	鶴岡地区 加盟農家	10人 ~	//	1,500円 枝ごと2株	JA 鶴岡	JA 鶴岡	日帰り
もも狩り	たわわ実ったもも狩りを体験し味わう (食べ放題)	要	// 20人以上 要予約	榊引地区 くしびき西荒屋 観光果樹村	要確認	要確認	800円	くしびき西荒屋 観光果樹村	くしびき西荒屋 観光果樹村	//
//	//	要	//	榊引地区 長南農園	//	//	800円	長南農園	長南農園	//
梨狩り	みずみずしい梨狩りを体験し味わう (食べ放題)	要	8月下旬 ~ 10月中	榊引地区 井上農園	//	//	800円 お土産付	井上農園	井上農園	//
//	//	要	//	榊引地区 長南農園	//	//	800円	長南農園	長南農園	//
//	//	不要	// 20人以上 要予約	榊引地区 くしびき西荒屋 観光果樹村	要確認	要確認	600円	くしびき西荒屋 観光果樹村	くしびき西荒屋 観光果樹村	//
//	//	不要	// 10人以上 要予約	榊引地区 くどう農園	1~ 100人	30分 ~ 1時間	600円	くどう農園	くどう農園	//
//	//	不要	// 10人以上 要予約	榊引地区 カネサン農園	要確認	要確認	600円	カネサン農園	カネサン農園	//
梨狩り	みずみずしい梨狩りを体験し味わう (食べ放題)	要	8月下旬 ~ 10月中	榊引地区 ときわぎ果樹園	1~ 200人	30分 ~ 1時間	600円 中学生未満 300円	ときわぎ果樹園	ときわぎ果樹園	//
//	//	要	//	榊引地区 加盟農家	要確認	要確認	要確認	産直めぐり	加盟農家	//
ぶどう狩り	たわわに実ったぶどう狩りを体験し味わう (食べ放題)	不要	8月上旬 ~10月 20人以上 要予約	榊引地区 くしびき西荒屋 観光果樹村	//	//	600円	くしびき西荒屋 観光果樹村	くしびき西荒屋 観光果樹村	//

ぶどう狩り	たわわに実ったぶどう狩りを体験し味わう（食べ放題）	不要	8月上～10月 10人以上 要予約	榊引地区 くどう農園	1～100人	30分～1時間	600円	くどう農園	くどう農園	日帰り
〃	〃	要	8月上～10月	榊引地区 ときわぎ果樹園	1～200人	30分～1時間	600円 中学生未満 300円	ときわぎ果樹園	ときわぎ果樹園	〃
〃	〃	不要	〃 20人以上 要予約	榊引地区 佐久間利兵衛 観光農園	要確認	1時間	ぶどう 600円 大粒ぶどう 800円	佐久間利兵衛 観光農園	佐久間利兵衛 観光農園	〃
〃	〃	不要	〃 10人以上 要予約	榊引地区 佐久間農園	〃	要確認	〃	佐久間農園	佐久間農園	〃
〃	〃	不要	〃 10人以上 要予約	榊引地区 カネサン農園	〃	〃	〃	カネサン農園	カネサン農園	〃
〃	〃	不要	9月～	榊引地区 ぶどう園 さくま	〃	〃	大粒ぶどう 800円	ぶどう園 さくま	ぶどう園 さくま	〃
〃	〃	要	〃	榊引地区 長南農園	〃	〃	800円	長南農園	長南農園	〃
〃	〃	要	〃	榊引地区 加盟農家	〃	〃	要確認	産直めぐり	加盟農家	〃
〃	たわわに実ったぶどう狩りを体験する	要	9月～10月中	榊引地区 ヤマク農園	10人以上の 団体不可	〃	800円 もぎ取り ぶどうは 有料	ヤマク農園	ヤマク農園	〃
ラ・フランス狩り	フランス生まれの山形育ち、味も香りも最高、果実の女王「ラ・フランス」の収穫を体験する	不要	10月 20人以上 要予約	榊引地区 くしびき西 荒屋観光 果樹村	要確認	〃	要確認	くしびき西 荒屋観光 果樹村	くしびき西 荒屋観光 果樹村	〃
りんご狩り	真っ赤に実ったりんご狩りを体験し、味わう（食べ放題）	要	9～10月	榊引地区 長南農園	要確認	要確認	800円	長南農園	長南農園	〃
〃	〃	要	〃	榊引地区 安野りんご園	1～500人	1時間	りんご 600円 中学生未満 300円	安野りんご園	安野りんご園	〃
〃	〃	要	〃	榊引地区 ときわぎ果樹園	1～200人	30分～1時間	600円 中学生未満 300円	ときわぎ果樹園	ときわぎ果樹園	〃
〃	〃	要	〃	榊引地区 加盟農家	要確認	要確認	要確認	産直めぐり	加盟農家	〃

りんご狩り	真っ赤に実ったりんご狩りを体験し、味わう（食べ放題）	不要	9～10月 10人以上 要予約	榊引地区 くどう農園	1～100人	30分～1時間	600円	くどう農園	くどう農園	日帰り
〃	〃	不要	〃 10人以上 要予約	榊引地区 カネサン農園	要確認	要確認	600円	カネサン農園	カネサン農園	〃
庄内柿の収穫体験	深まりゆく秋の空に、オレンジに色づいた特産の庄内柿の収穫を体験する	不要	10月上旬～11月上旬 要予約	榊引地区 くどう農園	1～100人	30分～1時間	600円	くどう農園	くどう農園	〃
〃	〃	要	〃	羽黒地区 くにちゃん農園	要確認	要確認	要確認	くにちゃん農園	くにちゃん農園	〃
〃	〃	要	〃	榊引地区 安野りんご園	1～500人	1時間	〃	安野りんご園	安野りんご園	〃
栗ひろい体験	約20種70本以上の栗の木があり、家族・グループで栗ひろいを楽しむことができる	要	9月中～10月中	朝日地区 月山あさひ観光くり園	—	—	入園料200円 子供100円 栗1kg400円	月山あさひ博物村	—	〃
農業体験	築100年以上の民家を利用した宿で、田植えやただちゃ豆の定植等の農業体験ができる	要	要確認	鶴岡地区 近郊農家	要確認	要確認	要確認	農家の宿 母家	農家の宿 母家	宿泊
〃	農林漁家民宿おかあさん100選に認定された農家民宿で、宿泊しながら簡単な機織りを体験する	要	通年	榊引地区 近郊農地	1組	応談	農作業体験 無料 素泊り3,500円 昼食1,000円 夕食1,800円	農家民宿 知憩軒	農家民宿 知憩軒	〃
〃	桃の袋掛けとサクランボの摘果、サツマイモ掘りとイモ羊羹づくり、激暑ハウスで命懸けヒマワリの種蒔き体験等	要	要確認	鶴岡地区 斎藤農園	要確認	要確認	要確認	グリーンツーリズム ネットワーク 庄内	斎藤農園	日帰り
農作業・収穫体験	農作業や農作物の収穫を体験する	要	通年	藤島地区 坂農園	〃	〃	〃	〃	坂農園	〃
農業体験	地元農家で四季折々の農作業を体験し、温泉で疲れを癒す	要	4～11月	藤島地区 近郊農家	〃	半日コース 1日コース	〃	ぼっぼの湯	ぼっぼの湯	〃

農作業体験、自然体験	山菜採り、サワガニ採り、タニシ採り、ホタル狩り等自然体験や田植え等の農作業を体験する	要	要確認	鶴岡地区 菱里産直センター ヴィリジ	8人	体験内容で異なる	農業体験 1,000円 自然体験 1,000円～ 車両費1人 2,000円 宿泊 4,000円 (食事別)	グリーンツーリズム ネットワーク 庄内	菱里産直センター ヴィリジ	宿泊可
田植え体験	大地の温もりを身体で感じながら、もち米の苗の田植えを体験する(秋には、収穫したもち米を送付)	要	5月中～下	羽黒地区	100人以上	3時間	1,700円	休暇村 羽黒	受入農家	//
//	米どころ庄内で、田植えを体験する	要	//	榊引地区 受入農家	要確認	要確認	3,000円 昼食付	ふるさとむら 宝谷	//	//
稲刈り体験	米どころ庄内で、稲刈りを体験する	要	10月	//	//	//	3,000円 昼食付	//	//	//
わらび採り体験	初夏の風に吹かれながら、ワラビ採りを楽しむ	要	5～6月	温海地区 あつみ温泉一本木スキー場	—	2時間	2,000円 取り放題	観光わらび園	観光わらび園	日帰り
定置網漁業体験	定置網漁船に乗船し、皆で声を合わせて網を引き上げ、魚を捕獲する	要	4～10月	鶴岡地区 由良港 堅苔沢港	1～20人	1時間～ 1時間30分	700円 小学生 500円 旅館仁三郎 宿泊者 200円割引	三瀬観光協会 旅館 仁三郎 海洋倶楽部	海洋倶楽部	宿泊可
地引き網体験	皆でよいしょよいしょと力を合わせて引っ張る地引き網を体験する	要	7～8月	鶴岡地区 三瀬海岸	15人～	要確認	1回 40,000円 旅館利用者 30,000円	旅館 仁三郎	旅館 仁三郎	//
//	//	要	4月～ 11月上	鶴岡地区 由良海岸	15人～	1時間	1回 35,000円	ほり旅館	ほり旅館	//
//	//	要	5～10月	温海地区 鼠ヶ関	30～ 100人	要確認	1回 25,000円	鼠ヶ関 鮮魚センター	鼠ヶ関 鮮魚センター	//
漁師体験	漁業を興味や関心のある人に対し、型浮き網・定置・小型底網・定置・張り網、魚の箱詰め・網洗い等、漁師の仕事を体験してもらう	要	4～11月	鶴岡地区 由良漁港	1人～	3泊4日 4泊5日 5泊6日 6泊7日	20,000円 25,000円 30,000円 35,000円	//	//	宿泊
漁船乗船体験 漁船乗船体験	最新技術を搭載した漁船の見学、ロープの多様な結び方、磁気コンパスの使い方、海図の見方等を学ぶ	要	要確認	鶴岡地区 近海	要確認	2時間	要確認	海洋倶楽部	海洋倶楽部	宿泊可
海の生き物との遊学	クラゲや魚の生態等が学習できるほか、魚の餌やりやアシカプールの清掃等も体験できる	要	通年	鶴岡地区 加茂水族館	約200人	2～6時間	約1,000円	加茂水族館	加茂水族館	日帰り

クラゲ学 習会	クラゲの繁殖の様子な どを映像や顕微鏡を使 って観察する。5 月中 旬～6 月末は、希望に より、近くの海岸でク ラゲ採取	要	通年	鶴岡地区 加茂水 族館	40 人 ～	1 時間	入館料に 含む 800 円 小中学生 400 円 幼児 150 円	加茂 水族館	加茂 水族館	日帰 り
水族館の 掃除体験	開館に向け、アザラン プルの掃除や水槽掃 除、ガラス拭き等、朝 の掃除のお手伝いする	要	〃	〃	20 人	30 分	〃	〃	〃	〃
夜光虫観 察・捕獲 体験	夜の海に金粉をまいた ように、怪しく輝く夜 光虫を観察する	要	6月中 ～8月	鶴岡地区 三瀬海 水浴場	3～ 20 人	30 分 ～ 1 時間	1,000 円	海洋 倶楽部 旅館 仁三郎	海洋 倶楽部 旅館 仁三郎	宿泊 可
ヨット教 室	ヨットの 1 日体験	要	7～9 月 5回 程度	温海地区 鼠ヶ関 マリー ナ	20～ 40 人	4時間 ～	8,000 円 昼食付	鼠ヶ関 マリー ナ	鼠ヶ関 マリー ナ	日帰 り
庄内浜ク ルージン グ体験	庄内浜をクルージング で楽しむ	要	夏季	庄内浜	要確認	要確認	4,000 円	菱里産 直セン ター ヴィリ ジ	菱里産 直セン ター ヴィリ ジ	〃
サンセッ トクルー ズ	夏の夕日を眺めなが ら、日本海をゆったり 遊覧する	要	要確認	庄内浜 沖	要確認	要確認	3,000 円 飲み物代別	アーバ ンスポ ーツ	アーバ ンスポ ーツ	〃
イルカウ ォッチン ググルー ズ	遭遇確率が高いゴール デンウィークの前後 に、白黒模様のかわい いカマイルカの群れを 高速クルーザーで探す	要	4月中 ～ 5月中	庄内浜 沖	4人～	3時間	8,400 円 小学生以下 4,200 円 ホットド リンク付	〃	〃	〃
プールで 体験ダイ ビング	プールでスキューバダ イビングを体験する	要	通年	鶴岡地区 ダイブ センタ ー内プ ール	要確認 10 歳 以上	3時間	6,000 円	〃	〃	〃
スキュー バダイビ ング体験	プール体験の後日、海 洋でのスキューバダイ ビングで、海中の世界 を体験する	要	要確認	鶴岡地区 加茂他	〃	1 時間	15,000 円 プール体 験料金共	〃	〃	〃
ファンダ イビング 加茂ビー チ	春はダンゴウオ等の北 方系魚、秋はハコフグ 等南方系魚を観ること ができるマクロフォト 派に人気のポイント	要	4～11 月	鶴岡地区 加茂ビ ーチ	要確認	要確認	1 ダイブ 6,900 円 2 ダイブ 12,600 円	〃	〃	〃
ファンダ イビング 四島棧橋	地元舟渡船で、沖合に ある大小 4 つの島から なる四島周辺を潜る。 コブダイやマダイをは じめ、群れ系も多く幅 広い水中生物を観察す ることができる	要	〃	鶴岡地区 豊浦工 リア	〃	〃	1 ダイブ 12,000 円 2 ダイブ 18,900 円 ナイトダイブ 12,600 円	〃	〃	〃

ファンダイビング 油戸ポート	地元漁船チャーターして、沖合に沈む水中根「アネジマ」を潜る中級ダイバー以上にお勧めのポイント	要	4～11月	鶴岡地区 油戸エリア	要確認	要確認	1ダイブ 12,000円 2ダイブ 18,900円	アーバンスポーツ	アーバンスポーツ	日帰り
ファンダイビング 飛島日帰りクルーズ	ドチザメの群れの中に入るドチザメウォッチング（7月末）、本州北限と思われるジョーフィッシュのコロニー等が好評	要	〃	鶴岡地区 御積島エリア	〃	〃	2ダイブ 29,400円	〃	〃	〃
ファンダイビング	庄内の海を、スキューバダイビングで、海中の世界を楽しむ	要	要確認	鶴岡地区 姉島 油戸、 由良、 四つ島	〃	〃	要確認	海洋 倶楽部	海洋 倶楽部	〃
魚釣り 体験	海洋釣り堀で、魚釣りを体験する。クロソイ、ヒラメ、クロダイ等、季節毎にいろいろな魚釣りが楽しめる	不要	4～10月	鶴岡地区 由良・海洋 釣り堀	1人～	〃	1,000円 中学生以下 500円 貸し竿 えさ代含	鶴岡市 遊漁セ ンター	—	〃
〃	まるで磯釣りのような感覚で楽しめる日本初の外洋釣り堀。初心者、家族連れ、ベテランまで楽しむことができる	不要	通年	温海地区 海の釣り堀 センター	〃	〃	1,150円 貸し竿 えさ代含 持込竿 2,000円	海の釣り堀 センター	—	〃
〃	アマゴ、ニジマス、コイ釣りを楽しむ	不要	5～11月	朝日地区 田麦つり堀	〃	〃	500円	田麦つり堀	—	〃
〃	奥の院湯殿山神社の門前に位置し、ニジマス釣りを手軽に楽しむ。糸が切れるまで釣り放題	不要	4～11月	朝日地区 湯殿山 ホテル フィッ シング センタ ー	〃	〃	400円 竿3本 1,000円 釣り放題	湯殿山 ホテル フィッ シング センタ ー	—	宿泊可
〃	野趣満点の中で魚釣りを楽しみ、自分で釣った魚を焼いて食べる	要	5月～ 11月上	朝日地区 タキタ ロウ館	〃	〃	500円	タキタ ロウ館	—	日帰り
岩魚のつかみ取り 体験	逃げ回る岩魚を素手で捕まえる。捕まえた岩魚は、塩焼きにしてその場で食べること可	要	5～8月	羽黒地区 休暇村 羽黒	20人～	1時間	600円	休暇村 羽黒	休暇村 羽黒	宿泊可
ブルーベリージャムづくり	羽黒特産の良質なブルーベリーを使ってジャムづくりを体験する	要	通年	〃	〃	40分	800円 ジャム持ち帰り	〃	〃	〃
運動！ 工作！ アイスづくり	空き缶を再利用し、スーパーでも手に入りやすい材料・道具を使ってアイスづくりを体験する	要	4～11月	羽黒地区 休暇村 羽黒	〃	1時間	空缶1缶 1,000円 1缶3～ 4人分	〃	〃	〃

そば打ち体験	地場産のそば粉を使いそば打ちを体験する（試食付）終了後は温泉入浴	要	通年	藤島地区 ぽっぽの湯	5人～10組まで	2時間～	1,350円 2人1組 1,050円	ぽっぽの湯	ぽっぽの湯	日帰り
〃	地場産のそば粉を使いそば打ちを体験する	要	〃	朝日地区 古の里大梵字	1～40人	要確認	1,500円 小中学生 1,000円	月山あさひ博物村	古の里大梵字	〃
〃	地場産のそば粉に山芋のつなぎを使った豊かな香りと抜群の喉ごしでそば通を唸らせる「越沢そば」のそば打ちを体験する	要	〃	温海地区 まやのやかた	30人まで	2時間	会場費 3,000円 講師料 5,000円 (食事代別)	まやのやかた	まやのやかた	〃
〃	そば粉からそばができるまでを体験し、自分で打ったそばを味わう	要	〃	鶴岡地区 田川コミセン農村センター	要確認	〃	1,000円	田川コミセン農村センター	田川地区そば生産グループ	〃
〃	挽きたての宝谷産そば粉を使って、二八そば打ちを体験する（試食付）	要	〃	櫛引地区 ふるさとむら宝谷	5～50人	〃	1,800円 天ぶら付 1,600円 天ぶらなし	ふるさとむら宝谷	ふるさとむら宝谷	宿泊可
〃	グループで協力してそば粉を練り、打ち立て。茹で立てのそばを味わう	要	〃	羽黒地区 休暇村羽黒	20人～	1時間30分～2時間	一鉢 3,000円 約4人前	休暇村羽黒	休暇村羽黒	〃
エコ・グルメまるごと体験塾	『食の都庄内』親善大使である3人の一流シェフの講座の他、山形県漁業協同組合女性部による鮮魚料理体験講座や手づくりソーセージ体験講座等で料理づくりを楽しく学ぶ	要	要確認	藤島地区 四季の里「楽々」	要確認	要確認	1,500円～ 2,000円程度 試食付	四季の里「楽々」	講座毎の講師	日帰り
本格ピッツァ作り体験	石釜で焼く本格的なピッツァづくりを体験する	要	〃	羽黒地区 イタリアンレストラン穂波街道	〃	〃	2,000円 昼食付	グリーンツーリズムネットワーク庄内	イタリアンレストラン穂波街道	〃
農産加工品づくり体験	餅つきと庄内特有の丸餅づくり（豆、海老、塩小豆入）や、漬物、おにぎりづくりを体験する	要	通年	鶴岡地区 味工房・結	20人まで	2時間	1,500円	味工房・結	味工房・結	〃
豆腐づくり体験	地場産大豆 100%使用の豆腐づくり	要	〃	鶴岡地区 JA庄内たがわ農産加工技術研修施設	10～20人	3時間	800円／時間	JA庄内たがわ藤島支所	JA庄内たがわ藤島支所	〃
イカの一晩干しづくり体験	日本海の特産品のイカの一晩干しづくりを体験する	要	5～9月	鶴岡地区 要確認	要確認	1時間持ち帰り 4時間30分	1,000円 送料別途	海洋倶楽部	海洋倶楽部	〃

イカの一 夜干しづ くり体験	日本海の特産品のイカ の一夜干しづくりを体 験する	要	5~11 月	温海地区 鼠ヶ関 港鮮魚 センタ ー	2~ 150人	20分 持ち帰り 4時間 30分	840円 3枚 送料別途	鼠ヶ関 港鮮魚 センタ ー	鼠ヶ関 港鮮魚 センタ ー	日帰 り
秋の風物 詩「いも 煮会」体 験	山形県の秋の風物詩 「いも煮会」体験する	要	9~10 月	赤川河 川緑地 公園 櫛引運 動公園 なべこ 広場他	要確認	要確認	要確認	くしびき 温泉ゆー Town 早坂食品 市内スー パーマー ケット他	—	//
お雛菓子 づくり体 験	【庄内ひな街道ひな体験】 菓子職人の手ほどきを受 けながら、かわいらし い伝統のお雛菓子づく りを体験する	不要	3月の 指定日	鶴岡地区 致道博 物館他	//	15分	150円 /個	鶴岡雛 祭り実 行委員 会	住吉屋 菓子舗	//
竹炭づく り体験	丸太小屋にある釜で竹 炭づくりを体験する (竹切り・運搬・釜入 れ・火入れ・製品化) 一部体験も可	要	要確認	鶴岡地区 水沢	5人 程度	2日間	要確認	鶴岡地 区水沢 小松氏	鶴岡地 区水沢 小松氏	宿泊 可
わら細工 ・郷土料 理体験他	築100年以上の民家 を利用した宿で、わら 細工・郷土料理等を体 験する	要	//	鶴岡地区 農家の 宿母家 ／やさ いの荘 の家庭 料理菜 あ	農家の 宿母家	要確認	//	農家の 宿母家 ／やさ いの荘 の家庭 料理菜 あ	農家の 宿母家 ／やさ いの荘 の家庭 料理菜 あ	//
ハーブ石 鯛づくり 体験	純正石鯛にハーブエキ スを練りこんでオリジ ナルハーブ石鯛づくり を体験する	要	通年	羽黒地区 休暇村 羽黒	20人 ~	1時間	500円	休暇村 羽黒	休暇村 羽黒	日帰 り
庄内竿製 作体験	全国の太公望の垂涎の 的といわれる庄内竿の 製作を体験する	要	//	鶴岡地区 トキワ 釣具店	要確認	要確認	800円~	トキワ 釣具店	トキワ 釣具店	//
絵ろうそ くづくり 体験	参勤交代の際に幕府へ の献上品として扱われ た由緒ある絵ろうそく の、絵付けを体験する	要	//	鶴岡地区 富樫絵 ろうそ く店	20人 まで	30分 ~ 1時間	500円~	富樫絵 ろうそ く店	富樫絵 ろうそ く店	//
//	//	要	//	羽黒地区 羽黒山 キャンプ 場	20人 ~	1時間	800円	休暇村 羽黒	休暇村 羽黒	//
//	//	要	//	鶴岡地区 庄内産 業振興 センタ ー	90人 まで	//	1,500円 送料共	庄内産 業振興 センタ ー	庄内産 業振興 センタ ー	//
ひなろう そく絵付 け体験	【庄内ひな街道ひな体験】 水に浮かぶ丸いろうそ くやろうそくにかわい らしいお雛さまの絵付 けを体験する	要	3月~ 4月初	鶴岡地区 富樫絵 ろうそ く店他	要確認	//	500円	富樫絵 ろうそ く店	富樫絵 ろうそ く店	//

いづめこ人形づくり体験	ご飯を保温する籠に幼児を入れ、寒さから守った風習から生まれた民芸品の人形づくりを体験する	要	通年	鶴岡地区民芸のむらき	40人まで	30分～1時間	1,500円～	民芸のむらき	民芸のむらき	日帰り
御殿まりづくり体験	江戸時代に庄内藩の奥方や奥女中たちが手慰みにつくったのがはじまりと伝えられる郷土玩具づくりを体験する	要	〃	鶴岡地区上野御殿まり教室	20人まで	2時間	1,500円～	上野御殿まり教室	上野御殿まり教室	〃
ステンドグラスづくり体験	オリジナルのパネルから照明飾りを作成する	要	〃	鶴岡地区遊工房	40人まで	2時間～2時間30分	2,000円～	遊工房	遊工房	〃
陶芸体験	自分だけのオリジナル陶器づくりを体験する	要	〃	温海地区一霞焼窯元	30人	2時間	2,000円	一霞焼窯元	一霞焼窯元	〃
〃	湯呑、茶碗等の陶芸や、皿やコーヒーカップへの絵付けが体験できる	要	〃	鶴岡地区ふるさと工房	20人まで	1時間～2時間30分	1,000円～	ふるさと工房	ふるさと工房	〃
〃	オリジナル陶器づくりを体験する。1kgで湯呑2～3個分（焼き上がりは約1ヶ月後）	要	〃	羽黒地区松ヶ岡窯陶芸教室	1～30人	1時間	700円～1kg 2,100円	松ヶ岡窯陶芸教室	松ヶ岡窯陶芸教室	〃
雛街道陶芸教室	【庄内ひな街道ひな体験】CD くらい皿と湯呑みにかわいらしいお雛さまの絵付けを体験する	要	3月	〃	1～30人	30分～1時間	600円	〃	〃	〃
機織り体験	農林漁家民宿おかあさん100選に認定された農家民宿で、宿泊しながら簡単な機織りを体験する	要	通年	榊引地区土筆工房	1組	要確認	2,000円 素泊り 3,500円 昼食 1,000円 夕食 1,800円	農家民宿知憩軒	土筆工房	宿泊
いざり織体験	いざり織のコースターづくりを体験する	不要	〃 団体は要予約	温海地区関川しな織センター	1回3人まで	20分	1,000円～	関川しな織センター	関川しな織センター	日帰り
しな織体験	宿泊しながら、日本三大古代織りのひとつに数えられ、木の皮の繊維にした「しな織」を体験する	要	1～4月	〃	要確認	—	2泊3日 33,000円	〃	〃	宿泊
創作体験	繭玉・藤かご・磁器粘土・押し花・組み紐・庄内さしこ等のクラフト品づくりを体験する	要	通年	羽黒地区松ヶ丘・こうでらいね	体験内容による	体験内容による	体験内容による	松ヶ丘・こうでらいね	松ヶ丘・こうでらいね	日帰り
まゆ玉お雛さまづくり体験	【庄内ひな街道ひな体験】庄内まゆを使ったひな人形づくりを体験する	要	3月～4月初	〃	要確認	1時間～1時間30分	1,500円	〃	〃	〃

わら細工体験	縄ない、草履づくり等、わら細工づくりを体験する	要	通年	藤島地区 ぽっぽの湯	10～20人	2～3時間	1,000円	ぽっぽの湯	ぽっぽの湯	日帰り
門松づくり体験	日本の伝統文化、正月用の門松づくり（約80cm1対）を体験する	要	12月下旬	櫛引地区 ふるさとむら宝谷	要確認	要確認	5,500円 昼食付	ふるさとむら宝谷	ふるさとむら宝谷	宿泊可
山伏修行体験	「死」と「再生」で、十界の行という厳しい山伏の修行。白装束を身にまとい、修験道の真髓を体験する	要	5～10月	羽黒地区 羽黒山	17～80人	1泊2日 2泊3日	21,820円 34,600円	いでは文化記念館	いでは文化記念館	宿泊
座禅体験	国指定名勝に指定の庭園を持つ鎌倉時代に開かれた寺院、座禅を体験する	要	毎月8日夜7時～ 第4日曜朝7時～	羽黒地区 玉川寺	要確認	要確認	夜600円 朝1,000円 朝は食事付	玉川寺	玉川寺	日帰り
〃	1100年前高僧妙達上人により開創された善宝寺で座禅を体験する	要	通年	鶴岡地区 善宝寺	〃	〃	500円 子供200円	善宝寺	善宝寺	〃
スノーモービル体験	スノーモービルで高原を滑走する	要	1～3月の土日	櫛引地区 宝谷	3人～	2時間	6,000円 7,000円 そば付	ふるさとむら宝谷	ふるさとむら宝谷	〃
ハングライダー・パラグライダー	三瀬八森山スキー場、由良海岸では、ハングライダー・パラグライダーを楽しむことができる	要	通年	鶴岡地区 三瀬八森山・由良海岸	要確認	要確認	1,000円／日 レンタル共10,000円	庄内スカイスーツクラブ	庄内スカイスーツクラブ	〃
スキー＆スノーボード体験	インストラクターの指導の下、レベルに応じてスキーやスノーボードのレッスンを受けることができる	不要	12～3月 団体は要予約	羽黒地区 羽黒山スキー場	1人～ 応談	スキー 半日 半日 スノーボード 半日	一般レッスン3,000円 団体レッスン10,000円 一般レッスン3,000円	休暇村羽黒 〃	羽黒山スキー学校 羽黒山スノーボードスクール	宿泊可
〃	〃	不要	〃 団体は要予約	櫛引地区 たらのきだいスキー場	〃	スキー 1日 半日 1日 半日 スノーボード 1日 半日	一般レッスン3,500円 2,500円 団体レッスン18,000円 10,000円 一般レッスン5,000円 3,500円	たらのきだいスキー場	たらのきだいスキー学校	〃
〃	〃	不要	〃 団体は要予約	朝日地区 湯殿山スキー場	1人～ 応談	スキー 1日 半日 1日 半日	一般レッスン4,500円 3,000円 団体レッスン23,000円 15,000円	湯殿山スキー場	湯殿山スキー学校	〃

						スノーボード 1日 半日	一般レッスン 5,000円 3,500円			
月山ビジターセンターの環境教育プログラム										
手すきはがきづくり体験	スタッフの指導を受け、手すきはがきづくりを体験する	要	4～11月	月山ビジターセンター	30人まで	2時間	100円	月山ビジターセンター	月山ビジターセンター	日帰り
リースづくり体験	スタッフの指導を受け、リースづくりを体験する	要	〃	〃	〃	3時間	500円	〃	〃	〃
蜜ろうそくづくり体験	スタッフの指導を受け、蜜ろうそくづくりを体験する	要	〃	〃	〃	2時間	1,300円	〃	〃	〃
繭玉クラフト体験	スタッフの指導を受け、繭玉クラフトを体験する	要	〃	〃	〃	〃	500円	〃	〃	〃
竹とんぼづくり体験	スタッフの指導を受け、竹とんぼづくりを体験する	要	〃	〃	〃	〃	500円	〃	〃	〃
草木染め体験	スタッフの指導を受け、草木染めを体験する	要	〃	〃	〃	3時間	1,500円	〃	〃	〃
休暇村・羽黒の環境学習プログラム（小・中・高・大学生対象）										
カントリーファーム・田植え体験	大地の温もりを身体で感じながら、もち米の苗の田植えを体験する（秋には、収穫したもち米を送付）	要	5月中～下	羽黒地区	50～200人	3時間	1,700円	休暇村羽黒	受入農家・休暇村羽黒	宿泊
カントリーファーム・アスパラ狩り体験	羽黒町の松ヶ岡産のアスパラを収穫体験する。収穫後は、炭火でアスパラのホイール包みや、バーベキューを楽しむ。お持ち帰りも可	要	6月中～下	羽黒松ヶ岡地区	50～200人	2時間	1,500円	〃	〃	〃
カントリーファーム・さくらんぼ狩り体験	甘くて美味しいサクランボ狩りを体験する	要	6月	羽黒川代山地区	50～100人 一般団体客も可	〃	800円	〃	〃	宿泊可
カントリーファーム・ブルーベリー狩り体験	目にいいと評判の羽黒町特産のブルーベリーを収穫し、もぎたてを味わう	要	7月～8月中	羽黒上野新田地区	50～100人 一般団体客も可	〃	800円	〃	〃	〃
羽黒山・奥の細道・石段ハイク	国宝の「五重塔」を眺めながら、山伏衣装の宝冠を頭にまとい、2446段の石段を登る	要	5～11月	羽黒山	40～200人	1～3時間	600円 登山ガイド 5,000円 山伏講話 3,000円	〃	いでは文化記念館パークボランティア	〃

食体験・そば打ち体験	グループで協力して、一生懸命そば粉を練り、打ち立て。茹で立てのそばを味わう	要	4～11月	羽黒山キャンプ場	20～100人 一般団体客も可	2時間	一鉢 3,000円 約4人前	休暇村羽黒	休暇村羽黒	宿泊可
野外炊飯&キャンプファイヤー	羽黒の自然の中で、自分たちで作った料理を味わい、満点の星空でキャンプファイヤーを体験する	要	5～10月	羽黒山キャンプ場	50～200人 一般団体客も可	野外炊飯 2時間 キャンプファイヤー 1時間 30分	カレー作り 1,000円 バーベキュー 1,500円 キャンプファイヤー 15,000円	〃	〃	〃
絵ろうそく絵付け体験	参勤交代の際に幕府への献上品として扱われた由緒ある絵ろうそくの、絵付けを体験する	要	通年	羽黒山キャンプ場	20～100人 一般団体客も可	1時間	800円	〃	〃	〃
月山あさひサンチュアパークの夏休み自然教室										
イワナつかみどり炭火焼体験	イワナをつかみどりして、串にさして塩をふり、炭火の炉で焼くまでの方法を学ぶ	不要	7月下旬～8月中の指定日	朝日地区月山あさひサンチュアパーク	要確認	要確認	500円／匹	月山あさひサンチュアパーク	月山あさひサンチュアパーク	キャンプ宿泊可
炭火でじっくりまきまきパン焼き体験	炭火で焼き上げるまきまきパンづくりを体験する	要	〃	〃	〃	〃	300円	〃	〃	〃
陶芸教室	陶芸づくりを体験する	不要	〃	〃	〃	〃	500円	〃	〃	〃
クラフト工作教室	自然の石や木を使ったクラフト工作を体験する	不要	〃	〃	〃	〃	500円	〃	〃	〃
フラワーアレンジメント体験	フラワーアレンジメントを体験する	不要	〃	〃	〃	〃	500円	〃	〃	〃
やまがた体験学習（小・中・高校生対象）										
バラエティに富んだ農業体験に挑戦	農家にホームステイし農業を体験する。安全で美味しい農作物を提供する取り組みを、農作業と農家との交流を通して学ぶ	要	4月中旬～10月中	庄内一円	10～200人	2泊3日 各体験3時間以上	12,000円程度 2泊6食付 宿泊、昼食、農作業費用を含む	庄内観光コンベンション協会	受入農家・各市町村アドバイザー派遣	農家民泊
主な体験メニュー 【田植え】5月中旬～下旬、200人まで、2時間～、500円程度 【稲刈り】9月中旬～下旬、200人まで、2時間～、500円程度 【野菜の収穫体験】5月～11月、20～30人、1日、500円程度 【農家民泊】5,000円～ 【その他】要望に応じて、果樹の収穫、そば打ち体験、最上川舟下り、羽黒山五重塔・参道散策 等										

	庄内地方の伝統に触れ、ゆかりの地探訪	庄内地方に伝わる歴史・工芸・文学・味等のコースを選択、体験し、庄内地方の文化を学ぶ	要	4月～11月上	庄内 一円	10～250人	2泊3日 各体験 2時間 以上	17,900円 程度 2泊6食付 宿泊、昼食、 選択コース 費用を含む	庄内観光コンベンション協会	各市町村ボランティアガイド	宿泊
	主な体験メニュー 【歴史コース】 山伏修行体験：6月～9月、13歳以上、15～80人、6時間～、1,500円程度 【工芸コース】 絵ろうそく、陶芸・しな織・土人形づくり・わら細工、自然素材クラフト等 【文学コース】 奥の細道・藤沢周平作品ゆかりの地 等 【味コース】 味噌づくり・漬物づくり・豆腐づくり 等 【その他】 要望に応じて、最上川舟下り、羽黒山五重塔・参道散策 等 【宿泊】 湯野浜温泉 7,000円～、休暇村羽黒 6,300円～8,925円、 いこいの村庄内・小学生 7,000円、中学生 8,300円、高校生 8,500円、 遊楽里 8,000円～、宿坊 等から予算に応じて選択										
	庄内浜と清流にすむ生物を学ぶ	加茂水族館を中心に、磯浜学習や離島体験、地引き網体験、月光川源泉探訪等を組み合わせ、海と川の生き物の生態系と神秘性を学ぶ	要	4～10月	庄内 一円	10～250人	2泊3日 各体験 2時間 以上	応談 17,600円 程度 2泊6食付 宿泊、昼食、 体験費用を 含む	庄内観光コンベンション協会	インストラクター派遣もある	宿泊
	主な体験メニュー 【加茂水族館見学・クラゲ観察】 通年、20人～、2時間～、入館料 400円、クラゲ飼育体験 100円 【飛島離島体験】 海釣り・磯あそび等 4月～10月、小学校高学年以上、20～200人、6～11時間、500～1,000円 【地引き網体験】 5月～10月、30人～、1時間、26,250円/回（30～100人） 【月光川源泉探訪】 5月中旬～9月中旬、50人、5時間、2,000円 【宿泊】 湯野浜温泉 7,000円～、休暇村羽黒 6,300円～8,925円、 いこいの村庄内・小学生 7,000円、中学生 8,300円、高校生 8,500円、 遊楽里 8,000円～、飛島民宿 8,500円～等から予算に応じて選択										
	体験メニュー	内容	予約	体験可能時期	体験場所	受入可能人数	所要時間	料金	申込み先	インストラクター	備考
寒河江市	さくらんぼ狩り	初夏の味覚、山形名物の「赤い宝石」と呼ばれるさくらんぼ狩りを思う存分満喫する（食べ放題）	不要	6月～7月上 10人以上は要予約	南部観光さくらんぼ園	要確認	1時間	1,200円 3～6歳幼児 1,000円 団体 1,500円 お土産付	JA さがえ西村山周年観光農業案内所	南部観光さくらんぼ園	日帰り
	〃	〃	不要	〃	慈恩寺観光さくらんぼ園	〃	〃	〃	〃	慈恩寺観光さくらんぼ園	〃
	〃	〃	不要	〃	112号観光さくらんぼ園	〃	〃	〃	〃	112号観光さくらんぼ園	〃
	〃	〃	不要	〃	我孫子園	〃	〃	〃	〃	我孫子園	〃

さくらんぼ狩り	初夏の味覚、山形名物の「赤い宝石」と呼ばれるさくらんぼ狩りを思う存分満喫する（食べ放題）	不要	6月～7月上 10人以上は要予約	西根観光さくらんぼ園	要確認	1時間	1,200円 3～6歳幼児 1,000円 団体 1,500円 お土産付	JA さがえ西村山周年観光農業案内所	西根観光さくらんぼ園	日帰り
〃	〃	不要	〃	石持原観光さくらんぼ園	〃	〃	〃	〃	石持原観光さくらんぼ園	〃
〃	〃	不要	〃	三泉観光さくらんぼ園	〃	〃	〃	〃	三泉観光さくらんぼ園	〃
〃	〃	不要	〃	日田観光さくらんぼ団地	〃	〃	〃	〃	日田観光さくらんぼ団地	〃
〃	〃	不要	〃	大泉観光さくらんぼ園	〃	〃	〃	〃	大泉観光さくらんぼ園	〃
〃	〃	要	〃	山形ワタナベさくらんぼ園	〃	〃	1,200円 3～6歳幼児 1,000円	山形ワタナベさくらんぼ園	山形ワタナベさくらんぼ園	〃
〃	〃	要	〃	八果園大沼	〃	〃	〃	八果園大沼	八果園大沼	〃
〃	〃	要	〃	板橋農園	〃	〃	1,200円 小学生以下 1,000円	板橋農園	板橋農園	〃
〃	〃	要	6月～7月上 5月下～6月中	フルーツサトー	〃	30分	1,500円 小学生以下 1,000円 2,500円 小学生以下 1,800円	フルーツサトー	フルーツサトー	〃
〃	〃	要	6月～7月中 7月～	後藤青果農園	〃	40分	1,500円 小学生 1,200円 3～6歳幼児 1,000円 1,000円	後藤青果農園	後藤青果農園	〃
ハウスさくらんぼ狩り	加温ハウスで栽培されたさくらんぼを一足先に味わう（食べ放題）	要	5月下～6月上	加盟農家	団体のみ	30分	2,500～4,000円	JA さがえ西村山周年観光農業案内所	加盟農家	〃
超VIPさくらんぼ狩り	300ヶ所より厳選した農園で、L玉以上で着色・味共に超VIPの佐藤錦を味わう（食べ放題）	要	6月中～7月初	〃	限定	要確認	2,000円 3～6歳幼児 1,800円	〃	〃	〃

高品質さくらんぼ狩り	300ヶ所より厳選した農園で、大粒で糖度14%以上の優良な高級佐藤錦を味わう（食べ放題）	要	6月中～7月初	加盟農家	団体のみ	要確認	1,700円 3～6歳幼児 1,500円	JA さがえ西村山周年観光農業案内所	加盟農家	日帰り
巨木のさくらんぼ狩り	樹齢50年以上巨木に実ったさくらんぼを味わう（食べ放題）	要	6月中～下	//	//	//	1,500円 3～6歳幼児 1,300円	//	//	//
雪中いちご狩り	低農薬のロックウール栽培のいちご（とちおとめ）を、ハウスの中で立ったまま摘みとり、春の味覚を楽しむ（食べ放題）	要	12月～3月中	ストロベリーファームいちごガーデン	200人まで	30分	1,470円 小学生 1,260円 幼児 840円	//	ストロベリーファームいちごガーデン	//
いちご狩り	//	要	3月下旬～5月上	//	200人まで	30分	1,260円 小学生 1,050円 幼児 630円	//	//	//
//	//	要	5月中～6月上	//	//	//	1,050円 小学生 840円 幼児 525円	//	//	//
ブルーベリーの収穫体験	有機栽培、葉山おろしの爽やかな風の中で育ったブルーベリーの収穫を体験し、味わう（食べ放題）	要	7月中～8月中	加盟農家	//	要確認	1,000円 3～6歳幼児 900円 お土産付	//	加盟農家	//
もも狩り	有機栽培で育ったももの王様あかつきの収穫を体験し、味わう（食べ放題）	不要	8月上～中	//	//	//	800円 3～6歳幼児 720円 お土産付	//	//	//
ぶどう狩り	たわわに実った大粒の高級ぶどう狩りを体験し、味わう（食べ放題）	不要	8月下旬～10月中	//	//	//	1,000円 3～6歳幼児 900円	//	//	//
りんご狩り	真っ赤に実ったりんご狩りを体験し、味わうつがる、さんさ、千秋、王林、サンふじ等（食べ放題）	不要	9月上～11月下	//	350人まで	//	700円 3～6歳幼児 630円 りんご 2個付	//	//	//
ラ・フランス狩り	フランス生まれの山形育ち、味も香りも最高、果実の女王「ラ・フランス」の収穫を体験する	要	10月中～下	//	120人まで	//	700円 3～6歳幼児 630円 ラ・フランス 2個付	//	//	//
わらび採り体験	素晴らしい景色を眺めながら、新鮮な空気と自然豊かな葉山山麓でわらび採りを体験する	要	5月下旬～6月	幸生わらび園	—	//	入園料 2,000円	幸生山菜組合	—	//

田植え農 作業体験	田植えの今昔について の学び、農家の指導に より田植えを体験す る。(10月中旬に、収 穫したもち米の一部を 送付)	要	5月	加盟 農家	100人 ～	要確認	1,500円	JA さ がえ西 村山周 年観光 農業案 内所	加盟 農家	日帰 り
稲刈り農 作業体験	田植えの今昔について の学び、農家の指導に より稲刈りを体験す る。(10月中旬に、収 穫したもち米の一部を 送付)	要	9～10 月	//	//	//	1,500円	//	//	//
りんごの 花摘みと 摘果作業 体験	りんご農家の指導によ り、真っ白なりんごの 花摘み、または小さな 青いりんごの摘果を体 験する。 (秋には収穫したりん ごを1人分5個をまと めて学校へを送付)	要	5～6 月	//	団体 のみ	//	1,500円	//	//	//
つつる 芋掘り農 作業体験	山形名物芋煮鍋の材料 となる、寒河江特産里 芋「つつり」を収穫体 験する。1株まるごと 持ち帰り(芋1kg保証)	要	9～10 月	//	//	//	1,200円	//	//	//
ごぼう掘 り農作業 体験	農家の指導でごぼう掘 りを体験する	要	10～11 月	//	20人 ～	//	1,000円 試食・ ごぼう付	//	//	//
秘伝豆取 り農作業 体験	香り高く、格別おいし い新品種の枝豆を、豆 畑に入り収穫する	要	9月	//	20人 ～	//	1,000円 試食・ 土産付	//	//	//
春と秋の 草摘み農 作業体験	農家の重要な作業のひ とつである畑に生えて いる草摘みを体験する	要	5～9 月	//	団体 のみ	//	350円	//	//	//
1日ホーム ステイ 農家実習	水稻、果樹(さくらん ぼ、ぶどう、りんご、 ラ・フランス)、花卉(バ ラ、菊、トルコキキョ ウ、鉢物)、野菜(トマ ト、いちご)、畜産(酪 農、肥育)の各農家で、 農作業と昼食を共にし ながら、農家の1日を 体験する	要	5～10 月	//	//	//	2,000円	//	//	//
民泊ホーム ステイ 農家実習	水稻(米)、野菜(カボ チャ、山菜等)、花(カ サブランカ)、乳搾り、 植林、炭焼き、紙すき、 こけし絵付け、あけび つる細工、草木染め等 を農家民泊しながら体 験する。別途料金にて 「キャッチアンドリリ ース(魚釣りと魚の生 態勉強)」	要	//	//	//	//	10,000円 ～	//	//	農家 民泊

原木なめこ菌打ち体験	自然豊かな葉山山麓で、原木なめこ菌打ちを体験する	要	4月下旬～5月上旬	幸生地区	要確認	〃	要確認	幸生ふれあい友遊館	幸生ふれあい友遊館	宿泊
炭焼き体験	自然豊かな葉山山麓で、炭焼きを体験する	要	要確認	要確認	〃	〃	〃	〃	協力講師	〃
そば打ち体験	そば職人の指導を受け、3～4名のグループでそば打ちを体験する。 認定書発行	要	通年	さくらんぼ会館・JA本所	20人～	〃	そば打ち2,000円 試食付	JA さがえ西村山周年観光農業案内所	〃	日帰り
餅つき体験	餅つき、餅切りを体験し、あんこ、納豆、きなこ餅にして、漬物と一緒に試食する	要	〃	さくらんぼ会館・JA本所西川町	100人～	要確認	1,500円 試食付	〃	〃	〃
芋煮鍋づくり体験	芋煮工房のお母さんの指導を受け、山形名物「芋煮鍋」づくりを体験し、味わう	要	〃	チェリーランド・西川町	30人～	〃	1,600円 試食・おにぎり2個付	〃	〃	〃
山菜鍋づくり体験	わらび、みず、うど、筍等の山菜と鶏肉が入ったみそ味仕立ての山菜鍋づくりを学び、味わう	要	5～6月	〃	〃	〃	1,500円 試食・おにぎり2個付	〃	〃	〃
木炭琴づくり工房体験	指導者の元「みすなら」で焼いた白炭を切って、美しい調べを奏でる琴づくりを体験する	要	10～5月	西川町	〃	〃	2,000円	〃	〃	〃
リースづくり体験	漢方薬、香辛料、香草等を使ったキッチンリース、クリスマスリースづくりを体験する	要	通年	さくらんぼ会館	〃	〃	2,000円	〃	〃	〃
つる細工工房体験	山のつるを使って、カゴづくりを体験する	要	〃	〃	〃	〃	1,500円～	〃	〃	〃
ハーブ教室サシェづくり体験	東北一のバラの産地である寒河江のバラを使った匂い袋、卵の殻を使ったお部屋飾りやポプリづくりを体験する	要	〃	〃	〃	〃	1,000円～	〃	〃	〃
江戸凧づくり体験	地元の和紙を使い、絵や文字を書いて凧をつくり、近くの河川敷で凧上げが楽しむ	要	〃	〃	団体のみ	〃	2,000円	〃	〃	〃
紅葉散策と押し絵づくり体験	朝日の山々の野花や落葉を使って、おもいおもいの押し絵づくりを体験する	要	11月	〃	20人～	〃	応談	〃	〃	〃
スノーモービル体験	葉山からの眺望を楽しみながら、スノーモービルを体験する	要	12月下旬～4月上旬	葉山	2人～	〃	3,000円～ モビルレンタル代	葉山スノーモビルランド	葉山スノーモビルランド	〃

	体験メニュー	内容	予約	体験可能時期	体験場所	受入可能人数	所要時間	料金	申込み先	インストラクター	備考
中山町	さくらんぼ狩り	初夏の味覚、山形名物の「赤い宝石」と呼ばれるさくらんぼ狩りを思う存分満喫する（食べ放題）	要	6月～7月中	丹野さくらんぼ園	—	要確認	2,000円 子供 1,500円	山田果樹園	山田果樹園	日帰り
	観光きのこ園	プリプリの栽培なめこやしいたけの他、ハウス内ではしめじ採りができる	要	9月下旬～11月下旬	長崎文新田地区	—	60分	900円 100円 /100g	松田商店	—	〃
	体験メニュー	内容	予約	体験可能時期	体験場所	受入可能人数	所要時間	料金	申込み先	インストラクター	備考
西川町	月山湖カヌースクール	手軽な初心者向けのカヌースクール	要	5～10月 指定日 10回	月山湖	5人	3時間	2,300円 小・中・高 1,800円 カヌーレンタル代含む	月山山麓プレイヤー	月山山麓プレイヤー	日帰り
	スノーシューイング	【一本ブナコース】 約4km スノートレッキングが初めての人や、装備に不安のある方にお勧めの入門体験コース	要	12～4月	月山	2人～	4時間	4,300円 スノーシューレンタル代 500円	月山朝日観光協会	月山朝日ガイド協会	〃
	〃	【ブナ原生林コース】 約5km 水墨画の中にトリップしたような、樹齢300年のブナの原生林を歩くコース	要	12～4月	〃	〃	5時間	〃	〃	〃	〃
	〃	【姥沢展望コース】 約7km 月山の展望スポットから、雄大な冠雪の山々を眺めるコース	要	3～4月	〃	〃	6時間	4,300円 スノーシューレンタル代 500円	〃	〃	〃
	ネイチャースキー	【一本ブナコース】 約5km ふかふかささらの雪を歩くスキー。雪で覆われた別世界の体験する入門コース	要	12～4月	〃	〃	5時間	6人以上 3,000円 2～5人 15,000円 ネイチャースキーレンタル代 2,000円 スキー靴レンタル代 1,000円	〃	〃	〃
	〃	【ブナ原生林コース】 約5km 深い雪をラッセルしながら、誰もいないブナの森を楽しむコース	要	12～4月	〃	〃	5時間	〃	〃	〃	〃

バックカントリー	【姥ヶ岳～原生林コース】 月山スキー場オープンに合わせ、リフトを使うBC入門編。姥ヶ岳のオープンバーンからブナ原生林のツリーランが楽しめる	要	4月	月山	3人～	4時間	4人以上 6,000円 3人 20,000円 ソンデ・ス コップ・ス ノーシュー 各500円 雪崩ビー コン 1,000円	月山朝 日観光 協会	月山朝 日ガイ ド協会	日帰 り
〃	【姥ヶ岳～湯殿山～原生林コース】 姥ヶ岳西斜面と湯殿山の大斜面をアグレッシブに攻める醍醐味と、ブナの原生林で心身を癒すブッキングツアー	要	4月	〃	3人～	5時間	〃	〃	〃	〃
魚釣り体験	自然のままの渓流で釣りの醍醐味を味わう。また、自然に親しみながら河川環境の保全や環境保護についても学ぶことができる	要	3～10月	本道寺地区	70人まで それ以上は応談	2時間～半日	1,500円～	寒河江川本道寺釣り道場	—	〃
〃	釣り人村と称する森の湖で、キャッチ＆リリースのフライフィッシングを体験する。水は透明で小魚も多くコンディション抜群		5月～11月下	大井沢地区	要確認	1日 4時間 2時間	4,000円 2,000円 持ち帰り 2,000円 個人レッスン は別料金	フィッシャー マンズ・ビ レッジ大 井沢釣り 人村	インス トラク ターの 指導も 可能	〃
〃	ニジマスやコイ釣り等を楽しむ	不要	5～10月	月山つり堀	〃	要確認	400円	月山つり堀	—	〃
観光わらび園	宿泊または昼食予約（3,000円以上）した人を対象に、わらび採り体験を提供している	要	6月	大井沢地区	10人程度	〃	1,500円	橋本荘	—	宿泊可
〃	宿泊または昼食3,500円以上予約した人を対象に、わらび採り体験を提供している	要	〃	〃	〃	〃	1kg 200円	朝日山荘	—	〃
自然観察 ブナの森 散策	自然の仕組みや植物の生態を学んだり、ブナ森を散策する	要	5～10月	県立自然博物館	1～500人	1時間	無料	県立自然博物館	県立自然博物館	日帰り
自然観察会	インタープリターの解説、オトシブミやヒメボタル等、ブナの森の不思議な生物の生態を観察する	要	7～10月の 指定日	〃	要確認	要確認	要確認	〃	〃	〃
ネイチャートレイル散策	園内のネイチャートレイル散策し、自然のたずまいを見て歩く	要	11月の 指定日	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

森の保全活動	園内のネイチャートレイルの荒廃の問題を考え、保全活動の補修作業を体験する	要	6～7月の指定日	県立自然博物館	要確認	要確認	要確認	県立自然博物館	県立自然博物館	日帰り
森の教室	「生産の森」の意味を、体験を通して学ぶ	要	6～9月の指定日	町内の人工林	〃	〃	〃	〃 NPO法人エコプロ	協力講師	〃
スケッチクラブの自然観察	草花や木々等をテーマにスケッチを通して、森に親しみ観察する	要	5～10月第3木曜	県立自然博物館	10人前後	〃	実費負担	県立自然博物館	博物館ボランティア指導員	〃
キッズクラブの自然体験	子供達だけの自然体験活動を通して、道具の使い方や森や川でのルールを知り、動植物とのふれあいから自然の豊かさや大事さを学ぶ	要	5～10月の指定日全6回	〃	〃	〃	〃	〃	〃	日帰り及び宿泊
エコプロ自然学校	ティピーで過ごす夏休み1週間子供キャンプや日暮沢小屋1泊林道トレッキングで、自然を体感するプログラム	要	8月12月	西川町周辺	〃	6泊7日1泊2日	プログラム毎の料金	NPO法人エコプロ	NPO法人エコプロ	宿泊
月山ゆとりの週末教室	地元の宿泊施設を使った2泊3日のブナ林トレッキング、月山スノーシューイング、大井沢で田舎暮らし体験、ダムカヌーレッスン&川下り等、たっぷりと地域や自然とふれあうプログラム	要	年数回	〃	プログラム毎の定員	2泊3日	〃	〃	〃	〃
日帰りガイドツアー	月山・湯殿山等の登山、六十里越街道トレッキング、ネイチャースキー、スノーシューイング等、トレッキング主体の日帰りプログラム	要	随時	〃	〃	プログラム毎の所用時間	〃	〃	〃	日帰り
オーダーメイドガイドツアー	ツアー日程に、合わない場合や、自分達だけのグループで楽しみたい人向けの、のんびりと月山の自然にふれあうプログラム	要	〃	〃	3人～	応談	応談	〃	〃	〃
入門教室	スノーシューイングやネイチャースキー・テレマークスキーの入門教室。初心者から中級者対象	要	〃	〃	プログラム毎の定員	1泊2日プログラム毎の所用時間	プログラム毎の料金	〃	〃	日帰りまたは宿泊
ハンドメイド教室	そば打ち、ブナの実スコーン、ピールづくり、ハンモック、ピザ、自然食・手づくりフード、ネイチャークラフト等を楽しむプログラム	要	〃	西川町内	〃	プログラム毎の所用時間	〃	〃	〃	日帰り

農山村生活文化体験	田植え等の農業体験、きのこの菌打ち等の林業体験、山菜採りと缶詰づくり、漬物づくり、そば打ち体験、溪流釣り体験、森の隠れ家づくり、焚き火体験等、大井沢の農山村の生活を体験する	要	要確認	大井沢地区	要確認	要確認	要確認	大井沢旅館民宿組合	地区民	宿泊
田植え体験	田植え体験を通し、食の大切さを実体験から学習する	要	5月	月岡地区	100～300人	5時間	〃	月山朝日観光協会	受入農家	宿泊可
ソーセージ教室	3～6人の班編成で、0.9～1.5kgの美味しいソーセージづくりを体験する	要	3～7月 9～1月	くんせい工房 ぽればれ	6～50人	3時間 6～10人 11～19人 20～29人 30人以上	試食付 3,000円 2,500円 2,000円 1,500円	くんせい工房 ぽればれ	くんせい工房 ぽればれ	〃
つる細工体験	いい蔓だけを選び、皮の表面を削ぎ、色を整え、一定の太さに揃えたものを使って、鍋敷きづくり等を体験する	要	通年	自然と匠の伝承館	5人～ 応談	1時間	800円 釜敷き等 入館料 200円	自然と匠の伝承館	自然と匠の伝承館	日帰り
こけし絵付け体験	「菊麻呂こけし」の愛称で親しまれるこけしに、工人の指導により、絵付け体験をする	要	〃	〃	〃	〃	800円 入館料 200円	〃	〃	〃
草木染め体験	紅花・藍・紫根・茜・黄檗等、四季折々の植物を使って、縫い絞り、板締め絞り等を体験する	要	〃	〃	〃	〃	1,500円 ～ ハンカチ等 入館料 200円	〃	〃	〃
月山メノウ細工体験	大井沢等で取れる良質の月山メノウを切断、研磨し、オリジナルのアクセサリーを制作する	要	〃	〃	1人～ 応談	〃	1,000円 ネックレス等 入館料 200円	〃	〃	〃
リースづくり体験	周辺の木の実や草花、自家栽培のハーブを使ってリースやトピアリーづくりを体験する	要	〃	〃	5～20人	〃	1,200円 ～	〃	〃	〃
土鈴絵付け体験	古代より伝わる土鈴（土を固め、焼いて作った鈴）に絵付けを体験する	要	〃	〃	1人～ 応談	〃	800円 入館料 200円	〃	〃	〃
月山和紙体験	冬場の貴重な収入源として江戸時代より受け継がれてきた純楮手漉き和紙づくりを体験する	要	〃	〃	応談	30分	紅花入り 500円 草花入り 1,000円 入館料 200円	〃	〃	〃

木の実細工・絵手紙づくり体験	木の実を材料に色紙・ブローチ・ペンダント・短冊などオリジナル作品をつくる	要	通年	自然と匠の伝承館	2～15人	1時間	1,000円～ 入館料200円	自然と匠の伝承館	自然と匠の伝承館	日帰り
月山織り体験	綿糸を使って、テーブルセンター等を織る	要	〃	〃	2人～ 応談	〃	テーブルセンター 2,500円 入館料200円	〃	〃	〃
伝承水引折形体験	月山和紙を使って折り祝儀袋づくりを体験する	要	〃	〃	10人～ 応談	〃	1,000円～ 入館料200円	〃	〃	〃
木炭クラフト体験	木炭を使ってクラフトづくりを体験する	要	〃	〃	3人～ 応談	〃	木炭クラフト 1,500円～	〃	〃	〃
かもしか学園ものがたり（教育旅行・体験学習）										
月山山麓の農山村生活文化の宿泊体験学習	何百年も伝承された農山村の日常生活を、生活者の視点で体験し、その生産活動や生活文化を学ぶ。 また、田、畑、山、川に直接ふれ、ブナの原生林や動植物の生態や自然環境の重要性を学ぶ	要	5～10月	志津地区 大井沢地区	5～300人	1泊2日 または 2泊3日	11,000円程度 18,000円程度	月山朝日観光協会	専門ガイド 学芸員 民宿農家 インストラクター指導	宿泊
体験・学習メニュー 【自然観察】 ぶな林ウォーク、魚ウォッチング（溪流釣り体験：キャッチ＆リリース）、石の不思議探し、探鳥会、ホタル狩り、昆虫・蛾採取、雪あそび（かまくらづくり、ソリ滑り等） 【生活・文化交流体験】 キノコの菌打ち作業、山菜採り＆缶詰づくり、漬物等保存食づくり、そば打ち体験、出羽三山 修験者体験、方言による昔語り、狩人と森へゆく、農山村の伝統年中行事体験（病送り、山の神様おんび、雪中田植え等） 【ミュージアム活動】 展示物づくり、動植物標本による観察、生態学習 【表現力をのばす活動】 俳句づくり、絵はがきを書こう 【感性をのばす体験】 ネイチャーゲーム 【人間関係トレーニング】 子ども同士の関わり合いを促進するグループワークや イニシアティブゲーム 【農作業体験】 田植え、稲刈り、畑作業（トラクター等、農業機械操作の体験等も可） 【グループ活動】 森の隠れ家づくり 【森づくり・保全活動】 ネイチャートレイルづくり、植林作業、下草刈りや枝打ち作業、散策マップづくり 【生活工芸体験・学習】 月山メノウ石細工、和紙漉き、あけび蔓細工、木の実細工、炭焼き、こけしの絵付け、土鈴絵付け、草木染め、月山機織り、伝統水引折形、リースづくり、わら細工づくり、森の楽器づくり 【原体験をつくる活動】 たき火体験、ナイトソロ ＊宿泊：大井沢地区各農家民宿、月山志津温泉、姥沢地区ロッジ、弓張平ロッジ（1泊2日）										

地域の人とふれあう1週間滞在プログラム 申込：月山朝日観光協会、地域コンシェルジュ：NP0 法人エコプロ						
宿泊：宿泊施設は、希望の施設を次の4軒からセレクト（いずれも6泊7日の宿泊料金） 【旅館仙台屋】本館：大人一人 29,250 円（食事無し・定員4名） 新館：大人一人 48,150 円（食事無し・定員2名） *オプション：朝食 1,000 円、昼食 800 円、夕食 2,000 円～ 【月山ポレポレファーム】コテージ1棟 80,000 円（食事無し・定員5名） *別途、暖房料1日 1,500 円（使用時） *食事は予約制：朝食 1,000 円、昼食 800 円、夕食 2,500 円 【朝日山の家】大人一人 27,000 円（朝食付、定員2名、税金・サービス料込） *オプション：昼食 500 円～、夕食 1,500 円～ 【つたや】 大人一人 51,000 円（朝食付、定員4名、税金・サービス料込） *オプション：昼食 1,200 円～、夕食 6,300 円						
いにしへの道の歴史と湯殿山信仰を知る	日本の三大山岳信仰の地とされた湯殿山を訪ねながら、自然と人間の関わりを学ぶ。また、信仰の道として栄えた“六十里越街道”を歩き、往時を偲ぶ一週間滞在プログラム	要	5～10月	1日目 2日目 3日目 4日目 5日目 6日目 7日目	入町、オリエンテーション、ウェルカムパーティ 町内案内 （行政機関・医療機関・観光施設・商店等） 六十里越街道“四ッ谷～志津温泉コース”ハイキング ガイド料 10,000 円（参加人数割り） 座学：湯殿山学（1時間程度：無料） 宿坊一泊体験（別途宿泊料）、 寺社見学（10,000 円：人数割り） 六十里越街道“志津温泉～湯殿山コース”トレッキング ガイド料 15,000 円（参加人数割り） オーダープログラム（見学・体験・視察等8,000 円～） 1週間の振り返り、解散	
手業を学ぶ1週間	田舎暮らしでは、自分で何かを作ることが大事。趣味と実益を兼ねた手作りを体験する。実際に西川町で手づくりを生業としている手業師から技術を学んだり、食の手づくりを体験するプログラム	要	12～4月	1日目 2日目 3日目 4日目 5日目 6日目 7日目	入町、オリエンテーション、ウェルカムパーティ 町内案内 （行政機関・医療機関・観光施設・商店等） 紙漉き・和紙のランプシェードづくり 1,000 円（材料費別途） 菊麻呂こけしの絵付 1,000 円（材料費別途） 手づくりソーセージ教室 3,000 円～ 手づくり豆腐教室 指導料 6,000 円（参加人数割り） 蔓細工教室 2,000 円 オーダープログラム（見学・体験・視察等8,000 円～） そば打ち教室、1週間の振り返り、解散	
雪国での遊び“歩くスキー習得”	西川町で暮らすには、雪を楽しみながら、生活に生かすことが大。その一歩として、歩くスキーを習得することがお勧め。スキー場ではなく自由な野山を歩き滑る醍醐味は、雪国での遊びならでは	要	12～4月	1日目 2日目 3日目 4日目 5日目 6日目 7日目	入町、オリエンテーション、ウェルカムパーティ 町内案内 （行政機関・医療機関・観光施設・商店等） 歩くスキー教室 講師料5時間 15,000 円・3時間 8,000 円（参加人数割り）、テレマークスキーレンタル料 2,000 円 弓張平運動公園内の平らなコースでレッスン 歩くスキー教室 講師料5時間 15,000 円・3時間 8,000 円（参加人数割り）、テレマークスキーレンタル料 2,000 円 歩くスキーでブナの森散策 講師料5時間 15,000 円・3時間 8,000 円（参加人数割り）、テレマークスキーレンタル料 2,000 円 オーダープログラム（見学・体験・視察等8,000 円～） 1週間の振り返り、解散	
雪のブナ	専門のガイドと一緒に	要	12～4月	1日目	入町、オリエンテーション、ウェルカムパーティ	

の森を歩く “スノーシューイング教室 &温泉リフレッシュ”	なければ決して行くことの出来ない雪の森に出かけ、雪を楽しむ、雪を遊ぶ術を習得する。 また、ブナの森に直接触れ、ブナの森の貴重さを学ぶ		月	2日目	町内案内 (行政機関・医療機関・観光施設・商店等)
				3日目	スノーシューイング教室+温泉(歩き方のレッスンとツアー) ガイド料6時間 15,000 円・3時間 8,000 円(参加人数割り)、スノーシューレンタル料 1,000 円
				4日目	スノーシューイング教室+温泉(ブナ林ツアー) ガイド料6時間 15,000 円・3時間 8,000 円(参加人数割り)、スノーシューレンタル料 1,000 円
				5日目	スノーシューイング教室+温泉(ブナ林ツアー) ガイド料6時間 15,000 円・3時間 8,000 円(参加人数割り)、スノーシューレンタル料 1,000 円
				6日目	オーダープログラム(見学・体験・視察等8,000 円～)
				7日目	1 週間の振り返り、解散
ブナの森で雪を撮る ～スライドショーづくり～	月山山麓は、日本でも屈指の豪雪地帯。11 月～翌6 月まで山麓の森は雪に覆われる。その雪で覆われた森を歩きながら自分の感性で雪を写真におさめ、スライド・ショーを作成する	要	12～4 月	1日目	入町、オリエンテーション、ウェルカムパーティ
				2日目	午前：デジカメ及びパソコンによるデモ 午後：デジカメによる撮影・スノーシューを使った野外散策 案内人 10,000 円(参加人数割り)
				3日目	デジカメによる撮影・スノーシューを使った野外散策 案内人 10,000 円(参加人数割り)
				4日目	デジカメによる撮影・スノーシューを使った野外散策 案内人 10,000 円(参加人数割り)
				5日目	スライド・ショーづくり 講師料 8,000 円(参加人数割り)
				6日目	オーダープログラム(見学・体験・視察等8,000 円～)
				7日目	1 週間の振り返り、解散
雪国の冬の暮らし体験	約半年間の雪の中での生活と遊びの両面から西川の冬を考え、雪国暮らしを理解するプログラム	要	12～4 月	1日目	入町、オリエンテーション、ウェルカムパーティ
				2日目	町内案内 (行政機関・医療機関・観光施設・商店等)
				3日目	移住者の暮らしを訪ねて&食文化に触れる(伝統食を習う) 講師料 10,000 円(参加人数割り) 材料費別途
				4日目	雪おろし体験(無料) 大井沢地区
				5日目	雪かき体験&スノーシューイング教室(ブナ林ツアー)
				6日目	交流会 テーマ：暮らし・仕事・生き甲斐 等 炭火で食事をしながらフリーディスカッション
				7日目	1 週間の振り返り、解散
伝統の技に習う炭焼き体験	里山と古くから山村で行われてきた炭焼きの関係を理解する1 週間	要	12～4 月	1日目	入町、オリエンテーション、ウェルカムパーティ
				2日目	町内案内 (行政機関・医療機関・観光施設・商店等)
				3日目	炭焼き体験 1. (釜入れと火入れ) 講師料 10,000 円(参加人数割り)
				4日目	炭焼き体験 2 (火の調整) 講師料 10,000 円(参加人数割り)
				5日目	炭焼き体験 3. (釜出し) 講師料 10,000 円(参加人数割り)
				6日目	交流会 テーマ：暮らし・仕事・生き甲斐 等 炭火で食事をしながらフリーディスカッション
				7日目	1 週間の振り返り、解散

資料４：委員会・PT会議・事務局会議の開催状況

１．委員会の開催状況

	開催日	場所	議題
平成 20 年度			
第 1 回	平成 21 年 2 月 5 日	香味庵 まるはち	・「六十里越街道でつながる広域連携・交流促進プロジェクト」の経緯・趣旨・目的について ・本地域に賦存する地域資源の現状等について ・広域連携・交流促進の方向性・方策等について ・今後のスケジュールについて

２．PT会議の開催状況

	開催日	場所	議題
平成 20 年度			
第 1 回	平成 21 年 3 月 23 日	ホテルシン フォニーア ネックス	・方策検討のための課題把握について ・交流プロモーションの連携施策について ・リーディング事業（実証実験）について ・その他

３．事務局会議の開催状況

	開催日	場所	議題
平成 20 年度			
準備会	平成 20 年 12 月 19 日	西川町役場	・本プロジェクトの経緯・趣旨・目的について ・調査内容・スケジュールについて ・推進体制について（委員会・戦略PT・事務局等）について
第 1 回	1 月 27 日	中山町 中央公民館	・委員会・戦略PT・事務局等の構成と今後の進め方について ・本プロジェクトへの各市町の期待や実証実験等について ・第 1 回委員会開催に向けて ・プレスリリースにに向けて
第 2 回	3 月 16 日	山形県村山 総合支庁	・方策検討のための課題把握について ・交流プロモーションの連携施策について ・リーディング事業（実証実験）について ・その他